

会長のページ 進化と退化 .....	河野 雅行	3
日州医談 『かかりつけ医』制度化の報道に思う .....	山村 善教	4
はまゆう随筆 (その2) .....		6
飛松 正樹, 清水 謙祐, 渡部 由美, 村井 幸一, 吉田 尚紀, 長沼弘三郎, 大山 龍介, 弓削 達雄, 高宮 眞樹		
エコー・リレー (564) .....	川添 琢磨, 釜付 弘志	15
メディアの目 アフター・コロナへの期待 .....	阿曾 吉宏	16
身近なお困りごと相談室 .....		18
宮崎大学医学部だより (感覚運動医学講座-皮膚科学分野-) .....	根本利恵子	28
部会だより (学校医部会) .....	高木 純一	29
ニューメンバー .....	岸 昌廣	53
診療メモ 主治医意見書とロコモティブシンドロームと リハビリテーション診療 .....	荒川 英樹	86
宮大医学部学生のページ 音楽祭実行委員長よりご報告 .....	福元 彩乃	88

あなたできますか? (令和3年度医師国家試験問題より) .....	14
宮崎県感染症発生動向 .....	20
各郡市医師会役員等名簿 .....	22
各郡市医師会だより (宮崎市郡医師会, 都城市北諸県郡医師会) .....	24
第175回宮崎県医師会臨時代議員会 (概要) .....	30
第176回宮崎県医師会定例代議員会 (概要) .....	35
第177回宮崎県医師会臨時代議員会 (概要) .....	38
令和4年度第79回宮崎県医師会総会 .....	40
九州医師会連合会第399回常任委員会 .....	43
九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期会長合同会議 .....	44
宮崎県医師会理事業務分担 .....	46
日医インターネットニュースから .....	48
医師協同組合だより .....	50
医師国保組合だより .....	52
会員の異動・変更報告 .....	54
理事会日誌 .....	58
県医の動き .....	66
ドクターバンク情報 .....	67
行事予定 .....	73
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会 .....	77
ベストセラー .....	84
あ と が き .....	94

お知らせ カット・イラストの募集 .....	13
第23回宮崎県医師会医家芸術展 .....	17
『日医かかりつけ医機能研修制度 令和4年度応用研修会』のご案内 .....	47
宮崎県医師会メーリングリストのご案内 .....	53
令和4年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い .....	57
地球温暖化防止対策 (クールビズ) の実施について .....	65
日州医事へのご意見・ご感想 .....	71
第6回生命を見つめるフォト&エッセー作品募集 .....	75
医療勤務環境改善支援センター .....	85
郡市医師会への送付文書 .....	90
医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください! .....	93
ご 案 内 宮崎県医師会親善ゴルフ大会 .....	43

## 医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

【表紙作品：写真】

### 水面散歩 (すいめんさんぽ)

「宮崎神宮の緑を撮影してみたい。」

子どもたちを連れて、ゆったりと散歩に出かけました。目についたのは、池と神社に続く橋。息子が乗るベビーカーを押して、穏やかに歩くじいじとばあば。視線の先では、3歳になる娘が「早く」と急かす声がします。そんな心が暖くなる時間を切り取りました。

宮崎市 あり かわ なつき  
有 川 奈津季

## 会長のページ

## 進化と退化

かわ の まさ ゆき  
河 野 雅 行

あらゆる生物には経時的変化があります。生物のみならず、実感としては感じられませんが、識者によれば不動と思われる地球や宇宙も変化しているそうです。生物においては経時的変化を進化といえばよい意味にとられがちですが、必ずしもそうではないようです。生物界には発展的進化のみではなく、退化した器官や機能もあり、環境について行けずに絶滅した種もあります。スフィンクスの謎かけ「朝は4本足、昼は2本足、夕方は3本足の生き物は？」のように人間では出生から成長した後、老化して終焉を迎えます。

若いころは自分が老人になるとは深刻には考えてもいませんでしたし、今、年をとっても老化している実感はありません。ただし、精神的には喜怒哀楽が少なくなり、肉体的にも機敏な反応動作が鈍くなった感があります。若いころ、年長者は物事に動じず貫禄があるように見えて、将来はそのようにありたいと思っていました。しかし、どうやら勘違いであったようです。

社会にも経時的変化があるようです。封建制度、律令制度、自由主義、資本主義、社会主義、等々。それぞれが当初は理想的と思われた主義や制度も、技術や知識が発展して便利になるにもかかわらず、後にはさまざまな欠陥やひずみが出ています。これも社会の進化なのでしょう。歴史を見れば、古くは社会が行き詰まると、革命や戦争が起こりリセットされていました。新しい体制の元でしばらくは繁栄しても、数十年から長くとも数百年で次の体制に代わっています。

物の本によれば縄文時代は数千年から数万年続いたとされています。その時代にも革命や体制変化はあったのでしょうか。傷のついた人骨が発見されたことから争いはあったようです。もっとも当時の平均寿命は現在に比べれば驚くほど短く、死産や乳幼児の死亡率も格段に高かったそうです。その頃に比べれば現代では寿命は格段に延びています。一方、メンタルまで含めた現代の疾病は多様化してむしろ増えているようです。しかし、医学・医療は日々発展しており、いずれは疾病の克服や老化に逆らったリセットが可能になるかも知れません。

我が国の国民皆保険を中心とする医療制度は度重なるさまざまな圧力や改変が加えられて退化傾向にあるのではないかと感じられます。医療制度も進化させるには何らかのリセットが求められているのかも知れません。

皆様はどのように考えられますか？

(令和4年7月15日)

## 日州医談



## 『かかりつけ医』制度化の報道に思う

宮崎県医師会 副会長 やま むら よし のり  
山 村 善 教

本年5月20日発行の日医ニュース第1457号によると、日本医師会の中川前会長は去る4月22日に『国民の信頼に応えるかかりつけ医として』という文書（4月20日付で会員に配布）を岸田文雄内閣総理大臣に手交するとともに、その内容を説明し、総理は「コロナ禍において、かかりつけ医は大事な役割を果たして下さっている。今後、かかりつけ医はどうあるべきか議論していきたいと考えており、日本医師会の今回の考え方も検討材料の一つとさせていただく」と応じたとある。そのような状況の中、5月7日、日本経済新聞が『かかりつけ医 日医が抵抗首相、コロナ受け制度づくり 医療、再び機能不全の恐れ』という記事を掲載し、同月18日には同紙の論説委員が『責任負わぬ「かかりつけ医」の罪』という時評を掲載した。さらに、6月8日には『骨太の方針・新しい資本主義計画のポイント コロナから経済再生へ』の特集記事を組んで、『政府は7日新たな経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）と、成長戦略を盛り込んだ「新しい資本主義」の実行計画を閣議決定した』と述べ、政府はコロナ禍で顕在化した課題を踏まえ、かかりつけ医機能が発揮される制度整備を行う方針との記事であった。同月20日『デジタル技術 医療再興 医療提供体制の再構築』という一面記事の中で「家庭医養成、患者も節度を」という項で家庭医制度の導入が必要と言及している。さらに翌21日には一面の特集記事で『医療再建 開業医の統治不全 風穴を』と銘打って、あたかも英国の国民医療制度（NHS）が日本の医療制度より優れているような記事を掲載した。果た

してそうなのか？ 医師免許を取得して43年、開業して30年の経験から日本で『かかりつけ医』を制度化することの是非を論じてみたい。

手持ちの資料では、政府は英国をモデルとした包括払いの家庭医制度導入を提案したが、当時の村瀬日本医師会長が医療国営につながりかねない家庭医構想に猛反対をして『かかりつけ医』という造語で対抗し、制度化を回避したとある。以来、かかりつけ医の制度化の是非については、現在まで繰り返し日本医師会内で論じられてきているが、ここでは、過去の議論はさておき、自らの診療経験から制度化について考えてみた。

1974年3月に医学部卒業後間もなく熊本大学医学部附属病院第一内科に入局して研修を開始した。第一内科は神経内科、呼吸器内科、循環器内科と消化器内科の診療を行っていて、それぞれの領域の患者さんを担当した。以後、1979年4月に神経内科と、内分泌・糖尿病・代謝学を専門とする宮崎医科大学第三内科に9年間籍を置き、脳血管障害やリハビリを専門とする民間病院に3年間籍を置き、1992年に当地に開業した。この間に神経内科、内科とリハ学会から認定を受けて、多岐にわたる疾患に遭遇し、自分の診療能力で可能と判断すればできる範囲内で診療し、そうでない場合は患者本人や家族の希望する医療機関に紹介して、医師としての責任を果たしてきたつもりである。

自分が『かかりつけ医』と『家庭医』のいずれの呼称がふさわしいのかを考えると、日頃、慢性疾患で数か月以上にわたって通院されている患者さんからは前者と認識されたいと思う

が、家族全員の『家庭医』になることにはかなりの抵抗がある。なぜなら、小児科、外科や産婦人科疾患の診療には不慣れであり、今年で73歳になる身には、今さら研修を受けてまで診療しようという気持ちはまったくないからである。

日頃は腰痛、頭痛、脳血管疾患や前立腺疾患などで整形外科、脳外科、泌尿器科などを標榜している医療機関に通院していて、そこで高血圧や脂質異常症の治療薬を処方してもらっている患者さんが、発熱や内科的疾患の症状になるとかかりつけではない本院を受診することは稀ならずある。コロナ禍中においてもしかりである。高血圧や脂質異常症などの慢性疾患の薬剤ならば似たような薬を処方されることが多いのだから、通院している医療機関で診てもらえば事足りると考えるのもやむを得ないと思う。制度化された際にはこれらの患者たちは、まず『かかりつけ医』を受診しなければならなくなる。最近では、高齢者が運転免許を返納したので、より近い本院に通院したいと来院する向きもあるが、『かかりつけ医』の変更手続きが完了しないと対応はできなくなる。日頃元気な現代の若者たち（高齢者も）が罹患した際はインターネット検索をして、より良さそうな医療機関を探して受診するのは当たり前になっているが、登録していなければすぐに受診できないとすれば、また、登録していても英国のように予約して待たされるようになるのは問題である。

そもそも、『かかりつけ医』の資格取得のための必要要件は何か？総合診療専門医・プライマリケア医として認定されている医師が有資格者であるならば、そもそも、全国で何人いるのか？日本医師会では『日医かかりつけ医機能研修制度』と銘打って制度をスタートし、日医や各地の医師会で研修会を開催しているが、『かかりつけ医』としての自信がなければ、これらの研修会に出席して学ぶとよい。

万が一制度化されたときに思いを馳せると、その他にも危惧されることがいくつかある。一つは、医師が迷惑患者と認識している場合や医師の提案を受け入れない患者の場合には、『か

かりつけ医』になることを拒否できるのかという医師側の選択権と応召義務の問題。病院の勤務医もかかりつけ医になれるのか？開業医の専売特許なのか？そうであれば、勤務医が開業するには高いハードルとなり新規開業は困難になると思われる。その前に、最近の急性期を担う病院は外来患者の診療をしても診療報酬上は貢献が乏しいために、患者を開業医に紹介して減らそうとする傾向にあり、勤務医がかかりつけ医として活躍する環境からは遠ざかっており、悩ましい問題と思われる。そもそも、開業を決意するきっかけは何であろうか？勤務医としてのキャリアを継続する理由は何であろうか？このあたりにも考えをめぐらさねば『かかりつけ医』問題は解決できないのではないかと？

政府が『かかりつけ医』についての制度設計をどのように考えているのか、寡聞にして知らない。厚労省は1997年に「主たる1医療機関のみが老人慢性疾患外来総合診療料を算定可能」とし、5年後の2002年10月にはあっさり廃止したが、これこそ『かかりつけ医』制度に類似したものだと考えている。なぜ5年で廃止したのか？目指した医療費削減効果が見られなかったと思うが、果たして制度設計にあたっては、この経験が生かされてくるのか？

病を得たときに受診先を選ぶのは患者であり、少しでも早く最善と思う医療機関を受診したいはずだが、必ず『かかりつけ医』を経由しなければ専門医療機関に受診できない制度の理不尽さを許容できる国民はいかほどいるのか？

疑問は尽きない。

なお、今後この議論の本格化が見込まれることから、日医の新執行部は会内の『医療政策会議』のもとにワーキンググループを設置し、検討を行う予定との情報があり期待したい。

かかりつけ 制度化するか

財務省 現場無視なら 混乱必至

参考資料

誰も書かなかった日本医師会 水野肇著 草思社、東京、2003年

## はまゆう随筆

その2

(7, 8月号に分けて掲載しております)

## 初心者のデイキャンプ

日南市 ちなんファミリークリニック <sup>とび</sup>飛 <sup>まつ</sup>松 <sup>まさ</sup>正 <sup>き</sup>樹

新型コロナウイルスが流行するようになり、密を避けられるとキャンプをする人が増えている。書店に行くとキャンプ関連雑誌が並んでいる。ホームセンターにもキャンプ用品コーナーが大きく設けられている。私ももともとアウトドアが好きなこともあり、キャンプをしてみたくなった。昨年から家族となった愛犬とも一緒に行けるところもいい点であった。

私の楽しみ方のコツは、あまり無理をしないこと、とりあえずデイキャンプから。もっている調理器具は、アウトドア用のイワタニカセットコンロとスキレット（鉄製のフライパンのようなもの）だ。メニューは、たいていレトルトカレーとスキレットでお肉や野菜を焼いて食べる。これだけで自然の中ではごちそうとなる。レトルトカレーは、スーパーにもドラッグストアにもたくさん種類があるので、前とは違う味にしたり、変わり種に挑戦したりで結構楽しめる。スキレットは熱が伝わりやすく、安い輸入肉でも、かなりおいしく食べられる。そして、ドリップバックのコーヒーをもっていくと、お手軽に食後の美味しいコーヒーが楽しめる。

調理器具以外のキャンプグッズは、テーブル、いす、食料品を入れるクーラーに日よけ用

のタープがあれば十分だ。タープはいかにもキャンプという感じで懂れて買ったが、はじめは立てるのに少し苦勞した。しかし、手間取っていたら隣の人たちが親切に手伝ってくれることもあったし、やりながらだんだん慣れてくる。準備や片付けが面倒にも感じる人もいるかもしれないが、キャンプなので多少は手間があるほうがいいし、作業に没頭することで日常を忘れることもいいところではないか。

キャンプブームでキャンプ場も設備が整い、きれいで快適なところが増えている。休みの日の数時間を、自然の中で食を楽しむ、食後はイスにゆったりともたれ、コーヒーを飲みながら海や山の景色を眺める。少し日常から離れたら、お気軽なデイキャンプはおすすめ。自分のアウトドアスキルに合わせて、無理をしないことと適度な手間とのバランスが楽しむポイントだと思う。



## 自己紹介・Web国際学会参加記・ ピアノYouTuber

延岡市 吉田病院 <sup>きよ</sup> <sup>みづ</sup> <sup>けん</sup> <sup>すけ</sup>  
清 水 謙 祐

吉田病院に2005年3月より勤務しております。それまで宮崎大学耳鼻咽喉科に1994年から10年ほど在籍し、クローン病という難病もあって、めまい疾患を中心に診療をしておりました。耳鼻咽喉科の研究棟は精神科の隣だったこともあり、吉田病院に移ってからは、耳鼻咽喉科と精神科の同時診療に励んでまいりました。18年目になります。精神保健指定医だけでなく、2011年に医学博士、2018年に精神科専門医、2019年指導医を取得でき、学会の方は2006年に日本めまい平衡医学会の代議員・専門会員、2013年にBarany学会（国際平衡学会）正会員、2021年にNeurootological and Equilibriumetric Society (NES) の正会員になりました。2021年NES学会にWeb参加し英文4演題、今年5月27日には英文1演題出しました。県外現地学会には行けておりません。

当院のコロナ対策は、吉田建世理事長が県医師会へのコロナ対策担当事務なので厳しい対策をしており、外来は保護服着用で、夏は猛暑・ミンミンゼミの騒音の元での屋外補聴器外来（通常は防音環境で行うが・・・）、冬は屋外テントでの極寒外来！などしており、Web学会ではこのことを英語でプレゼンいたしました。時差7時間というのは、学会開始が16時半ごろになりますので、仕事がお終わったあと、23時くらいまで参加することになります。むこうのランチブレイクがこちらは19時半ごろで、弁当持参

で討論に加わりました。1日がとても長く感じました。地球は丸いと認識できました。

コロナ制限前に比べて生活は激変しましたが、ストレス解消には皆様どのようにお過ごしでしょうか？ 私は旅行が大好きだったので、まずは健康のため、病院まで徒歩、もしくは自転車で行くようにしました。老人ホームにも片道4km週1回行っております。延岡保健所には片道8kmでしたが、自転車で行ってみました。もう55歳ですので、老後のために老化は足からなのでがんばってみます。徒歩と自転車ではどんなにがんばっても延岡市外に行くのも難しいです。そうやって旅行したい気持ちを徒歩や自転車で補っております。

ピアノもストレス解消に有用です。自分でもショパンをがんばって弾いております。高鍋駅にグランドピアノのストリートピアノがあり、弾きに行っております。2か月に1回の宮崎市にある病院受診の際は、必ず高鍋駅に寄っております。私のYouTubeチャンネル (<https://www.youtube.com/user/Drkiyochan319>) に、つたない私のピアノ演奏を投稿しております。死ぬまでに弾きたい曲を中心に弾いていきます。アンダンテスピナートと華麗なる大ポロネーズ、ラ・カンパネラ、バラード第1番・第4番、スケルツォ第2番・第3番、木枯らしのエチュード……。

これからもコロナに負けない生き方、楽しく前向きにできることをやっていきたいです。

## 会津郷愁

宮崎市 わたなべ整形外科 わた なべ ゆ み  
渡 部 由 美

コロナが世を席卷する前の話です。私は令和の初日を、亡き母の生まれ故郷である福島県会津若松市で迎えました。頑固な母は生涯東北弁を話し、会津の風土をこよなく愛しました。そんな母の不在に我知らず郷愁を抱いたのか、私が会津を訪問するのは実に20年ぶりでした。

上野から東北新幹線やまびこで北上し、福島の玄関口の郡山駅に到着。そこで磐越西線に乗り換え西へ。五月晴れの車窓に映る桜は満開でした。やがて右手に磐梯山が現れ、列車は猪苗代湖沿いを弧を描くように進み、盆地の中央にある会津若松駅に到着しました。出迎えてくれた総勢10名の叔母や従妹たちと再会を喜びあい、まずは腹ごしらえと城下の食事処へ。海のない会津で魚といえば身欠きにしん！というのは母からの受け売りですが、その「にしんの山椒漬け」に始まり、干し貝柱でだしをとり豆麩をうかべた「こづゆ」、「西の熊本、東の会津」と言われる馬刺し、母も好きだった十割蕎麦、数々の山菜、胡桃をまとったつきたてのお餅など、郷土の味はどこか懐かしい味でした。食事を終えるころには20年の歳月はどこへやら、東北弁も耳に慣れました。

その後は皆で会津のシンボルである鶴ヶ城へ。戊辰150年という節目を迎えた鶴ヶ城は幕末の悲劇の象徴である一方、今では多くの会津人が集う場所で、この日も令和の始まりと満開の桜をめぐる催事に賑わいをみせていました。戊辰120年目には「まだ長州を許せない」と言

ったとか、その頑固さはまさに会津の風土が生んだもの。しかし、いま時は令和となり、殿様も農民もなく白虎隊の悲劇もさておいて、満開の桜が咲くこの春の日に新しい時代の始まりを皆で祝う。そんな会津の歴史的一幕に自分が立ち会えたことに胸があつくなり、それこそが私が母から受け継いだDNAだと感じました。

あれから3年、コロナ禍で旅とは無縁の日々でしたが、いつか再び、彼の地に足を運びたいと思う今日このごろです。

## 若者は幻を見、老人は夢を見る

宮崎市 むらい内科クリニック むら い こう いち  
村 井 幸 一

ついこの前、還暦を迎えたかと思ったら、あと1年あまりで65歳、社会制度上「高齢者」と呼ばれるようになる。還暦を過ぎての1年は早く、あっという間に誕生日がやってくる。それ以上に、年齢を感じるのが体力や知力の衰えである。還暦までは、どんなに忙しくても、昼休みに5分ほど仮眠をとれば、一日仕事を続けられ、夜、疲れを感じることもなかった。ところが、還暦を過ぎて、午前11時ごろになると診察室で患者さんを診ては、1～2分休むというのを2～3回繰り返すようになった。昼休みも30分ほど休まないで午後がきつい。夜もベッドに入ればすぐに入眠し、朝までぐっすりだったが、最近、寝つきが悪く、途中で目が覚める。以前は、1～2回診察すれば患者さん

の顔と名前を覚えていたが、最近は何度診察しても、顔と名前が一致しない。還暦が人生の節目であることがよくわかった。定年が60歳というのも納得である。

今のところ、高血圧や糖尿病といった成人病もなく、幸い薬の世話にもならず済んでいるが、これから病気がでてくる確率は高くなる。体力も衰え、物覚えも悪くなったし、そろそろ診療を縮小し、ゆっくりとした時間を過ごしたいという思いもある。しかし、「まだ60代半ば、もう一つ、社会に貢献できる仕事をしなくていいのか」とささやくもう一人の自分がある。タイトルは、聖書の言葉であり、「幻」の意味は宗教的なものであるが、最近、この言葉が自分に迫ってくるようになった。若いころは、こういう人生を送りたい、こういうことをしたいという「夢」があった。年を取ると現実的になり、夢を語ることもなくなってきたが、もう一度、「夢」を見たい、追いかけていたいと思う今日このごろである。

## 私のジム事情

都城市 橋病院 吉 田 尚 紀

現在ほぼ毎日ジムに行き、汗を流すようにしている。下手すれば土曜、日曜は2回行くこともある。大体やることは、ほぼ決まっています。エアロバイク、ランニングマシン、ベンチプレス、腹筋を主に約1時間程度こなしている。

気分がよい日は1時間30分になることもあるが、稀である。

約4年前から始めたジム運動は今では2軒目で、1軒目はシャワー室が少なく待っているのが苦痛で、現在のジムに移籍して3年経過している。

まずジムに入場すると、検温から始まる。コロナが都城市でも流行りだした1年半前より始まったシステムである。大体36.2度から36.4度である。紙に記入してロッカーへ移動する。着替えて運動を始める。ランニングマシンはほぼウォーキングだが、マスク着用は必須で、鼻出しはOKとなっているが、やはりきつく感じるときがある。そのときは頑張らずに、すぐ止めてベンチプレスを始める。iPhoneの音楽をかけながらやるので（ボン・ジョヴィ、マドンナ、宇多田ヒカル、矢沢永吉）楽しみながらやっている。次に、腹筋を始める。ストレッチを兼ねてやっていて、回数は適当、飽きるまでとしている。最後にエアロバイクをやるのだが、YouTubeを見ながらやっているのでも、約30分がすぐ終わる。今は、「マリマリマリー」か「パイセンの競馬シリーズ」を見てやっている。シャワーを浴びて終了。

このジム通いをしてから、体力は格段にアップした感がある。以前は階段昇りも息切れしていたのが楽に昇れるようになった。体重も最初に比べて約5kg減に成功した。最近はそれ以上減らなくなってきているが、まあいいかと気楽にやっているのが現状で、頑張りすぎずにそのときの気分に応じて今後もやっていこうと思っている。

## 深島まで

延岡市 長沼医院 <sup>なが</sup>長 <sup>ぬま</sup>沼 <sup>こうぞぶろう</sup>弘三郎

愛宕山から東を望むと、長浜海岸が弧を描いて方財まで延びている。3月の馬鹿陽気のある日、7kmの砂浜を沖田川から方財まで歩いた。そこから先、東海の対岸は指呼の間でも橋がかかっておらず行き止まりだ。川面の照り返しを見ていて、“はっと”ロングトレイルを思いついた。歩き出しの道路脇に車を止め、数km歩いては元の所に戻るのをくりかえし、尺取り虫のように距離をかせぐのだ。

別の日、自宅から足早に歩いて対岸に着き、県道122号（旧道）をたどって独り歩きを始めた。この道は“日豊リアスライン”で古江に通じている。神戸、安井、浦城へと峠を上り下りするたびに、青い海原と沖に点在する岩礁、眼下の岸に打ちつける白波や緑の灌木の織り成す眺めに高揚した。その後歩いた先でそうした格別の絶景を何度目にしたことか。

浦尻湾で海沿いの道をたどり峠道を回り回って須美江、熊野江、下阿蘇の海水浴場の浜を踏みしめ、今盛んな古江、市振、直海の漁港を横目に見て県境に向かった。この旧道は蒲江に延びて日豊海岸“シーニック バイウェイ”のルートでもある。県境から蒲江道の駅まで20km足らず。たいした距離でなく足を延ばした。波当<sup>はとう</sup>津浦<sup>かつらはら</sup>、葛原浦<sup>まるとちび</sup>、丸市尾浦<sup>こえた お</sup>、越田尾トンネル、森崎浦<sup>いのくし</sup>、猪串浦<sup>おかまえ</sup>、小蒲江、小向トンネルを越え目的地に近づいて行く。そうした津々浦々の地名にも詩情をかきたてられた。

さも吉丸一昌（白杵出身）の詩の一節

「浦のあけくれ」

“海は今さめて 夢路の闇を出でぬ

一寄り来る波 返る波

さらり さらと響き

一のどかなる 今日海や”

のよう。

深島は道の駅からは海上の道で、船（えばあぐりいん）で渡る。直海からは真東5kmに位置し、ネコだらけで他になんにもない島だそう。とんでもない。岩場には釣人が立ち、浜ではサンゴを手に島人が語らう。北の旧分校と南の灯台間は往復3kmもあり“歩きで”もあった。集落の突き当りに苔むし葛のからんだ無縁墓。“天保”と読める。いわば“秘すれば花”の島だ。

トレイルの途中で多くの所に寄り道をした。手つかずの浦城の白浜海岸や直海の波瀬川原海岸。島の浦西国三十三観音巡り。宮野浦八十八所遍路道。県境の遠見山、小蒲江の赤石山など。家から蒲江道の駅まで片道78kmを12万歩20時間かけて歩いたが、寄り道を加えれば優に110kmを越す。よく歩けたものだ。道すがら多くの廃船、廃校、廃屋、墓じまいを目にした。いつか亡びる自分の一生とかさねて、「行く末には何も残らないし、人生はしょせん“うつろ”なもの」（色即是空）ではないかと心底思えた。またある夜、直海の横島展望台に出かけたが、暗闇のなか深島灯台の灯光が海の上にゆらいで、心もち“西方浄土”にいざなわれるような気がした。さもあれ、元気を出してこれからも蒲江を越え白杵を目ざして歩こう。

## AIに仕事を奪われる

新富町 おおやまこどもクリニック おおやま りゅう すけ  
大 山 龍 介

一人娘が高校受験を控えている。彼女の将来を考えると、今後どのような能力が必要とされるのか、どのような道に進むのが安泰なのか悩む。「好きなことをさせればよい」というのはなんだか親として無責任に感じる。10代で完璧に人生設計を立てられる子は多くない。今できるのは教養を付けることだけで、教養が人生の邪魔になることはない。

AIが人間からいろいろな仕事を奪うと言われて久しい。これから進む学部や仕事を決める若者は一か八かの気分だろう。

医師の仕事もAIが診断や治療に関わる時代が来るだろう。それでも我々医師が生身の人間として何ができるか？我々は病気だけでなく患者背景を常に考慮し、説明をしながら微妙な表情の変化などにも注意を払う。例えば小児科では医院からの距離や、両親が共働きかどうかなどは通院頻度に関わるため、検査のタイミングや処方日数に配慮が必要になる。RSウイルスなど急変が想定される場合は、例え全く同じ症状でも平日と連休前では入院紹介の判断は変わる。地域に相談できる他科医院があるかどうか、それらの休診日が何曜日かも重要だ。また保護者の個性により、説明の仕方や説明にかかる時間が変わることもある。AIにとっては考慮すべき変数が多すぎるし、患者の表情や個性の数値化は難しいのではないか。すべてを任せると、AIによるパターンリズムが横行しそうだ。

AIの診断と治療の場合、責任の所在が曖昧になる可能性もある。AIの管理者がいたとして、トラブル時には「エラー」で済ませてしまいたいそうだが。研修医のときの上司に「小児科はアンマンを売る仕事である」と教えられた。アンマンは安心と満足である。責任のない診断や治療では患者はアンマンを得られない。

こうして考えると我々の仕事がすぐにAIに取って代わられるということはなさそうだが、負けぬように謙虚な気持ちで日々知識のアップデートをして、患者に寄り添う気持ちを忘れないようにしたい。



## ジャカランダの森で太陽の日暈 (ハロ) を見る

宮崎市 <sup>ゆ</sup>弓 <sup>げ</sup>削 <sup>たつ</sup>達 <sup>お</sup>雄

今年も5月下旬になり、南郷道の駅の満開となったジャカランダの美しい紫色の花が何度もテレビで放映され、私はそれを見てジャカランダの森の美しい風景が目の前に浮んできた。

この数年この時期南郷道の駅の「ジャカランダの森」へ行くのが私たち夫婦の年中行事となっており、6月3日の晴天の日の朝、乗用車で日南海岸経由でこの地に向った。海は凧、海岸線の美しい風景を楽しみながら約1時間半で南郷道の駅に到着。広い駐車場（50～60台の駐車可）はすでに満車に近い状態であったが2～3台の空きがあり、なんとか駐車し例年のように「ジャカランダの森へ」の標示に従って車道から離れた坂道や階段の狭い道を丘の上のジャカランダの森へ上がって行った（車道もジャカランダの森へ通じており、丘の上には数台の駐車場もあるが）。家内は4～5年前両股関節の人工関節置換術を受けており、本人よりも私の方がこの坂道階段歩行を気にして「ゆっくり、ゆっくり」と云いながら上がって行ったが、家内は「大丈夫、大丈夫」の返事であった。

約40～50分で丘の上のジャカランダの森へ到着し、満開となった美しいジャカランダの紫色の花を楽しんでいると、一人の中年の男性が丘の上の方にカメラを向け何かを撮影していた。私が「何を撮影しているのですか」とたずねると、「太陽のカサ、リングを撮影しています」との返事。正午近くの真上に上がった太陽

を見ると、なんと太陽は虹色の小さな丸いカサを被ってぼんやりした光となっていた。私も家内も初めて見るこの現象にびっくり感動。教えてくれた男性に「ありがとうございました」の挨拶後、何度もカメラに納め近くにいた人たちにこの不思議な現象を知らせながら車道を歩いて降って行った。

食堂でカレーライスの昼食後帰途についたが、帰宅は午後3時。庭に出て空を見たが太陽はそのままで暈はなくなっていた。スマホには「太陽の周りに現れる虹のような光の輪を日暈（ひがさ）と云う。日暈は雲の中にある氷の粒に太陽の光が屈折してできる現象、天気下り坂のサイン」と出ていた。



## 宮崎いのちの電話とコロナ禍

宮崎市 高宮病院 <sup>たか</sup>高 <sup>みや</sup>宮 <sup>ま</sup>真 <sup>き</sup>樹

宮崎いのちの電話は県医師会を筆頭に県薬剤師会、県看護協会、県弁護士会などの17団体の支援・協力で平成30年10月9日に設立され、翌年1月より9か月の養成研修を受講した相談員56名で令和1年9月10日（自殺予防デ

一) 午後9時に開局しました。そして、その4か月後に新型コロナ感染拡大が始まり、現在まで幾多の波を繰り返しています。その影響は甚大で、経済のみならず私たちの心にも不満・不安が充満しています。

去年9月末にデルタ株が急速に収束した後、にそれまで280件/月で推移していた相談件数が10月・200件、11月・188件と減少したのも束の間で、オミクロン株の出現とこれまでにない感染拡大で12月以降は増加に転じ、今年の3月からは300件で高止まりしています。県内の不満・不安もピークに達しているのかもしれませんが。しかも直接コロナに関係した相談は毎月10件以下なので、コロナに触発された他の不満・不安が出ているものだと思います。

相談員は2期生、3期生を加えて88名となり、現在4期生10名の養成研修が進行中です。彼らは仕事も家族もありながら午後9時から午

前4時まで相談ブースで電話を待っておられます。電話の内容も多岐に渡りますが中にはただ怒りをぶつけるだけの電話もあるようで、相談員の方々の心労もなみ大底ではないと思います。しかもそれをボランティアでやっておられることに事務局長として感謝の言葉しかありません。

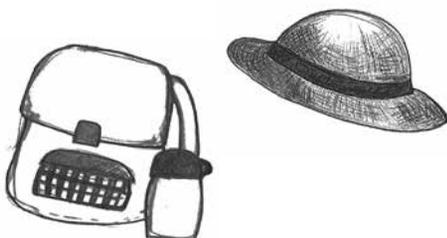
この活動がより充実していくことを期待し、また医師会員の皆さんにより広い支援をお願いします。賛助会員についての問い合わせは、宮崎いのちの電話事務局(0985-33-9557)もしくは宮崎いのちの電話のホームページからよろしくお願いします。でも、10代前半の子どもが深夜に自死の相談をする社会はおかしいですよ。私が10代前半のころ(もう50年以上前ですが)には考えられませんでした。何がこうしてしまったのか不思議です。

## お知らせ

## カット、イラストの募集

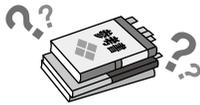
日州医事のページを飾るカットやイラストを募集しております。ぜひ、作品をお寄せください。

なお、白黒での掲載になります。採否は広報委員会にお任せください。



原稿宛先

宮崎県医師会広報委員会  
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101  
genko@miyazaki.med.or.jp



## あなたできますか？

—令和3年度 医師国家試験問題より—

(解答は37ページ)

- 逆流性食道炎の誘因とならないのはどれか。
  - 肥満
  - 高齢
  - 亀背
  - 萎縮性胃炎
  - カルシウム拮抗薬
- 急激な血圧上昇を認める患者で、高血圧緊急症の病態として考えにくいのはどれか。
  - 急性大動脈解離
  - 褐色細胞腫クリーゼ
  - 乳頭浮腫を伴う脳浮腫
  - 肺水腫を生じた急性心不全
  - 肺動脈性肺高血圧症を伴う呼吸不全
- 急性腎障害の診断に用いられる指標はどれか。  
2つ選べ。
  - 尿蛋白量
  - 腎の長径
  - 時間尿量
  - 尿潜血の程度
  - 血清クレアチニン値の上昇速度
- 23歳の男性。工作中居眠りが多く、重要な商談や会議中でも発作的に眠ってしまうことが多いため来院した。数年前から夜間十分に眠っても日中に何回も急に強い眠気を認めるようになり、最近は大笑いや驚いた後に急に全身の力が抜けることが増えてきたという。神経診察に異常を認めない。  
この患者にみられる可能性が高い特徴はどれか。
  - 入眠時に金縛りにあう。
  - 夜間せん妄を合併する。
  - 睡眠発作後にも眠気が残る。
  - 睡眠中にパニック発作を認める。
  - 睡眠中に脚を動かしたいという欲求が強まる。
- 妊娠後期に比べ妊娠初期に高値を示すのはどれか。
  - エストロゲン
  - プロラクチン
  - プロゲステロン
  - ヒト胎盤性ラクトゲン〈hPL〉
  - ヒト絨毛性ゴナドトロピン〈hCG〉
- 疾患・状態とそのリスクとなる行動との組合せについて誤っているのはどれか。
  - 乳癌——飲酒習慣
  - 肥満——速い摂食速度
  - 食道癌——高温物の飲食嗜好
  - フレイル——高齢者の強い咀嚼力
  - 骨粗鬆症——若年女性の過度の食事制限
- 35歳の男性。登山道脇で動けなくなっているところを発見された。ドクターカーで出動した医師が登山口で待機していた。現地の天候は雨、気温は10°C。医師がこの男性に接触した時、意識レベルはJCS II-30。体温（直腸温）31.4°C。脈拍58/分、整。血圧102/62mmHg。呼吸数30/分。SpO<sub>2</sub>は測定できず、末梢循環不全によるものと考えられた。  
病院前救護として誤っているのはどれか。
  - 全身を毛布で覆う。
  - 濡れた衣服を脱がせる。
  - アドレナリンを静注する。
  - 加温した輸液を投与する。
  - 清拭して外傷を確認する。
- 低栄養が疑われる高齢者（BMI18kg/m<sup>2</sup>、6か月で3kgの体重減少）で腎障害がない場合の栄養管理として適切でないのはどれか。
  - 水分：30mL/kg/日
  - 脂肪：総エネルギーの25%
  - 糖質：総エネルギーの55%
  - タンパク質：0.8g/kg/日
  - 総エネルギー：30kcal/kg/日
- 医療施設における感染制御チームが行わないのはどれか。
  - 職員の感染防止
  - 定期的な院内の巡回
  - 輸入感染症患者の検疫
  - 適正な微生物検査の推進
  - 院内感染発生に関するサーベイランス
- ノロウイルスの不活化に有効なのはどれか。
  - 逆性石鹼
  - 40°Cの温水
  - 40%アルコール
  - 1分間の赤外線照射
  - 1,000 ppm (0.1%) 次亜塩素酸ナトリウム

## エコー・リレー

(564回)

(南から北へ北から南へ)

## 浪 漫

宮崎市 脳神経外科かわそクリニック かわ そえ たく ま  
川 添 琢 磨

しばらく前の事だが父親から壊れたフィルムカメラを譲ってもらった。彼が教員になって2年目で購入したものらしく、もう50年以上前のもの。私の幼き日々の写真はそのカメラで残されたものだ。ある時、唐突にそのカメラの事を思い出し尋ねたところ、なんと捨てていなかった。古風な“Canon”のフォントが超クール。巻き上げレバーは動かずシャッターはもうきれない。露出計もダメ。ただ、レンズにはカビがみられるものはこちらは見えそうだった。分解清掃…できるか？検索するとさすがはYouTube、レンズ分解動画をアップする方もちゃんとおられます。ちょっとした道具があればできそう。汎用機で玉数も多かったのでしょう、昨今のオールドレンズブームにおいてもそのレンズは数千円程度です。そこでまず同型レンズをネット購入、一度バラして再度組み立て…できるものです(笑)。さあ次は意を決して父親のレンズにとりかかります。この時代にコーティングってあるのかな？などと思いつつレンズをゴシゴシ。グリス?…まあ適当でいいです。無事元どおりになりました。近年のミラーレスカメラは、古いレンズもアダプターを介し容易に取り付けできます。いやはや……解像は想像以上でしっかり写真になっています。薄いペールを一枚まとったようなやわらかさがとても印象的。父親が使ったレンズを通して、今度は私が子どもたちの日々を垣間見ている。これもまた浪漫だなあと。次はカメラもバラしてみますか…？

[次回は、宮崎市の高橋 稔之先生にお願いします]

## 60すぎの手習い

宮崎市 ひろしま通りウイミンスクリニック かま つき ひろ し  
釜 付 弘 志

椅子に座りっぱなしの日常診療に忙殺され、運動らしいことをしてこなかった報いで身体のアちこちから悲鳴があがるようになりました。そんな折にT先生からボウリング(ボーリングではない)のお誘いをいただき、始めてから約4年になります。ボールを投げて10本のピンを倒しスコアをつける単純なスポーツですが奥が深い!私のボールは15ポンド(6.75kg)。レーンはアプローチから1番ピンまで18.28m。1.066mのレーン幅に39枚の板目があり、5枚ごとにマーク(スパット)がついています。またサラサラのオイルがレーンの手前から2/3程までにたっぷり塗られていてオイルの量や範囲によりボールの動きに変化を及ぼし、オイルのあるところではまっすぐ走り(滑り)、オイルが切れてからはグッと曲がってきます。そのオイルも朝と夕方以降ではコンディションが変わります。ボールにも素材や表面仕上げによりオイルに強い(曲がりやすい)、弱いがあり、コアの形によりグッと曲がるか、なだらかなカーブを描いて曲るか、また素材とコアの組み合わせでもボールの性格が全く異なるものになるし、指穴を開ける位置によりこれまた違った走りになります。スパットを参考にしながら立ち位置、角度、投げる強さを考えていかにスイートスポットにボールを集めるかが勝負です。誰でもたまたまスポットに入ればストライクは出ます。が、連続12回ストライクをだす(パーフェクト)ことが至難の業です。ボウリングは再現性のスポーツといわれていて皆そこを目指して四苦八苦して楽しんでいます。室内スポーツなので荒天でもできます。悩んでいた肩こり、腰痛はなくなりました。体も軽いです。皆さんいかがですか?ちなみに今年百寿(100歳)を迎えられたホームレーンの会長さんは昨年まで投げられていました。年齢は関係ありません。

[次回は、都城市の義川剛太郎先生にお願いします]

## メディアの目



## アフター・コロナへの期待

共同通信社 宮崎支局長  
あ そ よし ひろ  
阿 曾 吉 宏

北海道で暮らす一人息子が大学4年となり、就職活動やら何やらの相談あるいは愚痴を電話で聞きながら、彼が少し気の毒に思えてきた。就活については、今年は人手不足もあって企業の採用意欲が堅調らしく、要は本人次第なので放っておくとしても、楽しいはずの学生生活が制約に満ちたまま終わりかけている現実が妙に切なかったからだ。原因は言うまでもなく新型コロナウイルス。好奇心にも意欲にもあふれた時期、彼らは旅行はおろか、友人と飲み明かすことさえもままならなかったのだ。

わが身を振り返ると、学生時代にはよく飲み、あちこちをほっつき歩いたものだった。そうしてさまざまな人と出会い、語り合い、時には議論を戦わせて得意になってみたり、逆にやり込められて己の未熟や不見識を痛感したりしていた。世間での立ち位置のようなものを求めて焦燥感に駆られ、アルバイトでため込んでいた十数万円を頼りに、物価の安い東南アジアや東アジアまでいわゆる「自分探しの旅」へと唐突に飛び出し、何か月間か音信不通になって家族を心配させたこともあった。

今にしてみれば実に青臭く、無分別で身勝手な若造であり、お恥ずかしい限りだ。もちろん楽しく充実した日々ばかりを送っていたわけでは決してなく、ただだらと無為に過ごす時間の方がよほど長かった。ただ、気兼ねなく自由に

動き回れた当時の環境が、その後の人格形成に大きく影響したのは間違いない。社会の見方、人との関わり方、無知を自覚することの大切さなどを触れ合いの中で学び、海外では民族や風土、文化の多様さ、世界の複雑さや面白さ、相互理解の重要性を肌で感じ、日本についてより深く考えるようにもなった。人々の往来を途絶させた新型コロナは経済的な打撃をもたらした一方で、未来を担う若者から貴重な経験を積む時間も奪ったのだと、つくづく思う。

先日、ある人気グループのコンサートを宮崎市民文化ホールまで見に行った。若者を中心に熱烈なファンが集まった会場は満席で、心配になるほどの密度と熱気。だが、マスクを外す人はなく、入場時は誰もが検温や消毒スプレーをいとわず、公演中も歓声は控えてペンライトと拍手で応援していた。新型コロナとの付き合い方がうまくなったものだと感心しつつ、粛々とマナーや作法を守る姿が頼もしくも思えた。

新型コロナとは今後も長く共生していかざるを得ず、以前のようには戻れないとも覚悟している。とはいえ、分断と不寛容が拡大する風潮に歯止めをかけるためにも、個々の地道な努力の成果として、制約にとらわれ過ぎず、盛んに交流し合えるアフター・コロナの社会ができるだけ早く到来することを期待している。

## お知らせ

## 第23回 宮崎県医師会医家芸術展

会員先生方並びにご家族の優秀な作品を一堂に展示した、医家芸術展がいよいよ8月10日(水)、11日(木)、13日(土)、14日(日)の4日間、宮崎県立美術館にて開催されます。

今年は96点の作品が展示される予定となっております。

多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

展示期間：8月10日(水)～14日(日) 10時～18時(14日のみ15時まで)  
※12日(金)は休館日

場 所：宮崎県立美術館 2F 県民ギャラリー  
(宮崎市船塚3-210 県総合文化公園内)

部 門：写真，書道，絵画，その他

出 展 者：宮崎県医師会員・ご家族(高校生以上)

問合せ先：宮崎県医師会 医家芸術展事務局

(TEL：0985-22-5118 FAX：0985-27-6550)

## 写真部門

木佐貫 冬星 (宮崎市)	楠元 正輝 (宮崎市)	酒井 桂子 (都城市)
佐々木 究 (宮崎市)	末岡 常昌 (延岡市)	田中 宏幸 (宮崎市)
谷口 二郎 (宮崎市)	玉置 昇 (綾 町)	長沼 弘三郎 (延岡市)
藤浦 富子 (日南市)	松本 健吾 (宮崎市)	山路 健 (都城市)
(故)竹尾 康男 (宮崎市)		

## 書道部門

大迫 文子 (宮崎市)	岡村 公子 (延岡市)	山内 励 (宮崎市)
弓削 和子 (宮崎市)	弓削 三重子 (宮崎市)	

## 絵画部門

浅見 鳴子 (宮崎市)	安藤 宣 (西都市)	石川 万佐子 (宮崎市)
内田 攻 (宮崎市)	大迫 文子 (宮崎市)	大塚 早智 (宮崎市)
大西 敦子 (宮崎市)	木佐貫 朋音 (宮崎市)	黒川 基樹 (宮崎市)
酒井 和彦 (都城市)	酒井 美絵子 (都城市)	竹村 龍之助 (宮崎市)
谷口 二郎 (宮崎市)	長沼 弘三郎 (延岡市)	野崎 藤子 (宮崎市)
松本 健吾 (宮崎市)		

## その他部門

大迫 文子 (宮崎市)	津曲 千代 (日南市)
-------------	-------------

(敬称略・各部門50音順・令和4年7月26日現在)

## 身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

### 第10回 職員の解雇について



Q.

昨年新規で雇用した50代の看護師ですが、勤務中に私語が多く、患者さんに対する言葉遣いもよくありません。私自身や他の職員を通じて複数回注意をしたのですが、あまり改善がありません。また他の職員を扇動したり、自分に対しても反抗的な態度も目につきます。

退職していただきたいと考えていますが、やめてもらう場合の注意点、特に金銭面や誓約書などについて教えてください。

まずは、本人と話し合いのうえで自己都合による退職とできないか、または、退職勧奨（退職してもらえないかを勧めて同意を得る）の方法がよろしいかと思えます。その際は退職金の上乗せをするなどの処置をした方が同意を得やすいようです。

解雇となる場合は、労働契約法第16条に「解雇は、客観的に合理的な理由を欠き、社会通念上相当であると認められない場合は、その権利を濫用したものとして、無効とする」と定められており、勤務成績不良を理由とする解雇は、なかなか有効とされません。

勤務成績不良が著しいことを立証するためには客観的、具体的な事実を相当用意する必要があり、他の従業員と比較してどのような状況なのか、いつ、どのようなことがあったのか、業務にいかなる影響があったのかを整理しておく必要があります。

また、解雇の前提として本人に改善の機会を与えることが必要であり、解雇する前に注意・指導を再三行い、懲戒処分や降格などにより本人が自ら改める機会を与え、勤務成績が改善されるかどうかを見極めなければなりません。

なお、解雇の法的要件として、労働基準法第20条に基づき30日前に解雇の予告をするか平均賃金の30日分の解雇予告手当金を支払う必要があります。

以上のように解雇する場合は慎重な判断が求められます。

（回答 社会保険労務士法人オフィスCOA 特定社会保険労務士 大崎邦彦）

A.



## 第11回 ネット上の悪質な書き込みや誹謗中傷について



Q.

近ごろ、自己の思いどおりにならないことなどの不満について、患者がネット上に書き込んでいるところを散見します。私たちは、このような悪質な書き込みや誹謗中傷について、どのように対処すればよいのでしょうか。

昨今、インターネット上の誹謗中傷は悪質化しています。特に、医療機関では、Googleマップによる口コミを中心に、患者や第三者による悪質な書き込みや誹謗中傷の数が増加していることから、適切な対処方法を知っておくことは重要です。

まず、悪質な書き込みに対する対処として、大きく①削除を求める方法と②書き込み者を特定して賠償請求を行う2つの方法が考えられます。

書き込みの削除を求める場合、当該書き込みの行われたSNSやHPの管理者に対して、所定のプラットフォームに基づき任意の削除要請を行います。しかし、内部基準に該当しないなどの理由で削除要請に応じない場合もあり、この場合には強制的な削除を求めるために裁判手続を利用することになります。

次に、書き込み者を特定して損害賠償を請求する場合、書き込み者のIPアドレスを特定のうえ、書き込みを行った者が利用しているプロバイダーに対して書き込み者の情報開示を求めていくことになります。もっとも、プロバイダーは任意開示を拒絶することが多く、この場合には発信者情報開示を求めて裁判手続を行うことになります。

しかし、裁判手続を行う場合には負担も重く、全てに対して裁判手続を行うことは現実的ではありません。そのため、悪質な書き込みに対しては、事実無根である旨を明示した反論を記載することや、悪質な書き込みに対しては厳粛な対応を取る旨明言するなど、そもそもそのような書き込みをさせないような対策を取ることが重要です。

また、脅迫や事実無根のデマを記載するなど、極めて悪質と判断される場合には、警察に対して被害届や告訴状を提出し、刑事事件として捜査を行ってもらうことも考えられます。

(回答 弁護士法人きさらぎ 弁護士 高山 桂)

A.



### <医療機関での身近な疑問、質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール (genko@miyazaki.med.or.jp), FAX, 郵送などでお送りください。  
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

## 宮崎県感染症発生動向 ～6月～

令和4年5月30日～令和4年7月3日（第22週～第26週）

### ■全数報告の感染症

- 1類：報告なし。
- 2類：○結核16例（男性10例・女性6例）：保健所別報告数は【図1】、病型別報告数は【表1】、年齢別報告数は【表2】のとおりであった。
- 3類：○腸管出血性大腸菌感染症2例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は30歳代と80歳代で、1例は無症状病原体保有者であった。もう1例の主な症状として腹痛、水様性下痢、血便がみられた。原因菌のO血清型はO26（VT1）とO血清型不明（VT1）であった。
- 4類：○重症熱性血小板減少症候群（SFTS）3例：宮崎市（2例）、都城（1例）保健所管内から報告があった。年齢は80歳代が2例、60歳代が1例で、1例でダニの刺し口が確認できた。主な症状として発熱、神経症状、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹、紫斑等がみられた。
  - 日本紅斑熱2例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は70歳代と80歳代で、1例でダニの刺し口が確認できた。主な症状として発熱、発疹、肝機能異常等がみられた。
- 5類：○ウイルス性肝炎1例：宮崎市保健所管内から報告があった。40歳代の男性で、病型はB型であった。主な症状として全身倦怠感がみられた。
  - カルバペネム耐性腸内細菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は90歳代で、主な症状として菌血症、胆管炎がみられた。
  - 急性脳炎2例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は0～4歳で、病原体は1例がHHV-6で、もう1例がHHV-6疑いであった。主な症状として発熱、痙攣、意識障害がみられた。
  - クリプトスポリジウム症2例：高鍋保健所管内から報告があった。年齢は10歳代と20歳代で、主な症状として腹痛、下痢、発熱等がみられた。
  - クロイツフェルト・ヤコブ病1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は80歳代で、病型は古典型クロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）であった。診断の確実度は、ほぼ確実で、主な症状として進行性認知症、ミオクロームス、無動性無言状態がみられた。
  - 侵襲性肺炎球菌感染症3例：宮崎市（2例）、延岡（1例）保健所管内から報告があった。年齢は60歳代が2例と70歳代が1例で、主な症状として発熱、菌血症がみられた。ワクチン接種歴は有りが1例、不明が2例であった。
  - 梅毒7例（男性3例・女性4例）：宮崎市（6例）、都城（1例）保健所管内から報告があった。年齢は20歳代が5例、30歳代と60歳代が各1例であった。病型は早期顕症梅毒Ⅱ期が4例、無症状病原体保有者が3例であった。主な症状として梅毒性パラ疹、鼠径部リンパ節腫脹、紅斑がみられた。
  - 破傷風2例：宮崎市、日南保健所管内から報告があった。年齢は40歳代と80歳代で、主な症状として筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、発語障害、易興奮性、反弓緊張がみられた。

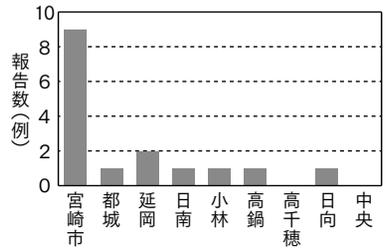


図1 結核 保健所別報告数(例)

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	8
その他の結核 (結核性胸膜炎、腸結核)	2
疑似症患者	1
無症状病原体保有者	5

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
30歳代	1
50歳代	2
60歳代	3
70歳代	2
80歳代	5
90歳代	3

### ■新型コロナウイルス等感染症

- 新型コロナウイルス感染症7,061例：保健所別、年齢別は【表3】のとおりで、主な症状として発熱、咳、頭痛、全身倦怠感、咽頭痛等がみられた。

### ■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は1,591人（定点あたり44.5）で、前月の155%、例年の60%であった。前月に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は特になかった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はRSウイルス感染症であった。RSウイルス感染症の報告数は183人（5.1）で前月及び例年の約1.4倍であった。延岡（19.0）、日向（10.0）、高千穂（9.0）保健所からの報告

### ■病原体検出情報（微生物部）

		検出病原体	件
細菌		EHEC (O157:H7 VT2)	1
		EPEC (OUT:H21)	2
		Salmonella Thompson (O7:k:1,5)	1
		EPEC (OUT:H40)	1
		EPEC (O128:H2)	1
ウイルス		ヒトヘルペスウイルス6	2
		サイトメガロウイルス	1
		ライノウイルス	1

表3 新型コロナウイルス感染症 報告数(例)

居住地 保健所	報告数	年 齢 群										
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代
宮崎市	2,830例	565	622	276	478	447	171	124	87	47	12	1
都 城	1,590例	410	292	180	284	206	86	72	36	17	6	1
延 岡	636例	112	124	88	105	82	51	40	28	4	2	
日 南	419例	51	93	42	56	77	33	30	21	10	6	
小 林	344例	100	56	37	62	41	10	16	13	7	2	
高 鍋	557例	148	126	36	75	68	31	27	25	15	5	1
高千穂	40例	1	1	1	2	1	4	12	12	4	2	
日 向	501例	121	118	36	73	82	31	21	12	4	3	
中 央	98例	25	15	9	14	13	9	9	1	2	1	
県 外	46例	8	7	7	10	5	3	2	4			

が多く、6ヵ月から3歳が全体の約8割を占めた。  
手足口病の報告数は142人(3.9)で前月の約8.4倍、例年の約0.3倍であった。都城(10.5)、日南(9.0)、中央(7.0)保健所からの報告が多く、1歳から3歳が全体の約8割を占めた。

前月との比較

	2022年6月		2022年5月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	0	0.0	0	0.0	
RSウイルス感染症	183	5.1	129	3.6	★
咽頭結膜熱	78	2.2	33	0.9	
※溶レン菌咽頭炎	50	1.4	28	0.8	
感染性胃腸炎	966	26.8	684	19.0	
水 痘	19	0.5	12	0.3	
手 足 口 病	142	3.9	17	0.5	
伝 染 性 紅 斑	1	0.0	1	0.0	
突 発 性 発 し ん	128	3.6	91	2.5	
ヘルパンギーナ	16	0.4	2	0.1	
流行性耳下腺炎	6	0.2	6	0.2	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	2	0.3	5	0.8	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	

■月報告対象疾患の発生動向(2022年6月)

□性感染症

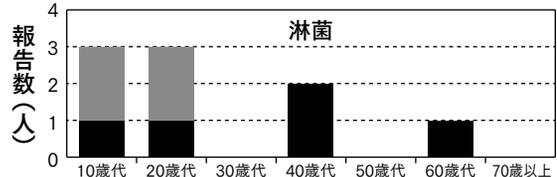
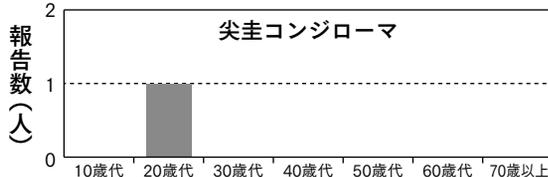
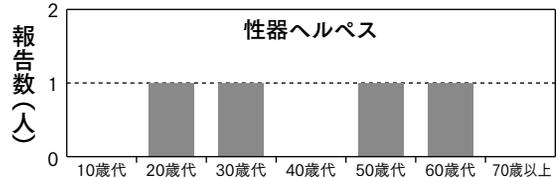
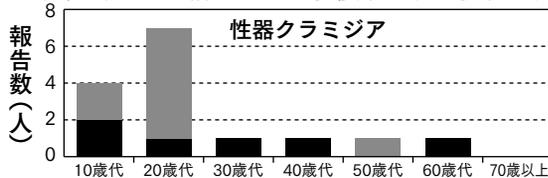
【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は29人(2.2)で、前月比73%と減少した。また、昨年6月(4.4)の約0.5倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数15人(1.2)で、前月の約0.9倍、昨年6月の約0.4倍であった。20歳代が全体の約半数を占めた。(男性6人・女性9人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数4人(0.31)で、前月の約0.6倍、昨年6月の約0.4倍であった。(女性4人)
- 尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月及び昨年6月の0.5倍であった。(女性1人)
- 淋菌感染症：報告数9人(0.69)で前月の約0.6倍、昨年6月の1.5倍であった。(男性5人・女性4人)

★例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い  
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は20人(2.9)で、前月比143%と増加した。また、昨年6月(3.6)の0.8倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数20人(2.9)で、前月の約1.4倍、昨年6月の約0.8倍であった。70歳以上が全体の7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

(宮崎県衛生環境研究所)



### 児 湯 医 師 会

(令和4年6月16日定時総会終結後～  
令和6年6月定時総会終結時)

- 会 長 永 友 和 之
- 副 会 長 蟻 塚 高 生
- 理 事 大 森 史 彦
- ” 高 山 修 二
- ” 糸 井 仁
- ” 永 友 淳 司
- ” 押 川 克 久
- ” 山 口 政 一 朗
- ” 永 友 研 一
- ” 谷 畠 満
- ” 野 津 手 大 輔
- ” 山 中 聡
- ” 鳥 原 康 治
- ” 山 口 真 太 朗
- 監 事 崎 浜 国 治
- ” 内 田 俊 浩
- 議 長 北 村 洋
- 副 議 長 吹 井 聖 継

### 西 都 市 西 児 湯 医 師 会

(令和4年6月27日定時総会終結後～  
令和6年6月定時総会終結時)

- 会 長 松 本 英 裕
- 副 会 長 大 塚 康 二 朗
- ” 黒 木 重 晶
- ” 鶴 田 明 土
- 理 事 上 山 裕 史
- ” 上 野 尚 美
- ” 片 山 陽 平
- ” 杉 尾 克 徳
- 監 事 岩 見 晶 臣

- 監 事 濱 砂 重 仁
- 議 長 大 塚 和 子
- 副 議 長 河 野 立

### 南 那 珂 医 師 会

(令和4年6月3日定例総会終結後～  
令和6年6月定例総会終結時)

- 会 長 中 村 彰 伸
- 副 会 長 河 野 秀 一
- ” 川 西 昭 人
- 理 事 福 岡 周 司
- ” 黒 木 和 男
- ” 河 野 清 秀
- ” 山 田 孝 俊
- ” 中 津 留 邦 展
- ” 峰 松 俊 夫
- ” 木 佐 貫 篤
- ” 飛 松 正 樹
- 監 事 津 曲 俊 郎
- ” 満 留 武 宣
- 議 長 百 瀬 文 教
- 副 議 長 井 手 秀 幸

### 西 諸 医 師 会

(令和4年6月24日定時総会終結後～  
令和6年6月定時総会終結時)

- 会 長 内 村 大 介
- 副 会 長 園 田 定 彦
- ” 井 尻 裕 司
- 理 事 吉 村 雄 樹
- ” 坪 内 斉 志
- ” 河 内 謙 介
- ” 堀 英 昭
- ” 石 澤 宗 純

- 理 事 竹 之 内 剛
- ” 寺 谷 威
- ” 川 井 田 望
- ” 楠 元 規 生
- 監 事 高 崎 直 哉
- ” 杉 原 純 次
- 議 長 志 戸 本 宗 徳
- 副 議 長 榎 健 一 郎

### 西 白 杵 郡 医 師 会

(令和4年6月1日定時総会終結後～  
令和6年6月定例総会終結時)

- 会 長 植 松 昌 俊
- 副 会 長 佐 藤 元 二 郎
- 議 長
- 理 事 久 米 修 一
- ” 古 賀 志 朗
- ” 塩 月 康 弘
- ” 崔 林 承
- ” 押 方 慎 弥
- ” 佐 藤 祐 二
- 監 事 興 梶 知 子

### 宮 崎 大 学 医 学 部 医 師 会

(令和4年6月1日～  
令和6年6月教授会まで)

- 会 長 帖 佐 悦 男
- 副 会 長 賀 本 敏 行
- 理 事 落 合 秀 信
- ” 鈴 木 斎 王
- ” 七 島 篤 志
- ” 盛 武 浩
- 監 事 竹 島 秀 雄
- ” 恒 吉 勇 男

## 各郡市医師会だより

### 宮崎市郡医師会

会長 <sup>たか</sup>高 <sup>むら</sup>村 <sup>かず</sup>一 <sup>し</sup>志

5期10年間に渡り会長を続けられていた川名隆司会長の後任として宮崎市郡医師会会長の重責を担うことになりました。私は副会長として川名前会長に仕えた経験から、医師会運営についてある程度のことは理解していますが、医師会病院の運営についてはほとんど知識がなく、一から勉強することになります。医師会病院の管理総括部長には山村善教副会長の後任として市来能成副会長が就任し、尾田朋樹理事が診療総括部長に、診療副部長には新理事の増田好成先生が就任します。川名会長、山村副会長以外には原田雄一副会長、菊池郁夫理事、神尊敏彦理事、首藤謙二理事、弘野修一理事がご勇退となり、新しく遠藤豊理事、眞柴晃一理事、中村究理事、上山貴子理事、菊池安剛理事、増田好成理事、佐藤潤一郎理事が就任しました。また、桑原正知監事の後任として名越敏郎監事が就任しています。

牛谷義秀副会長には引き続き地域包括ケア推進センターを内野竜二理事、増田好成理事とともに運営し、在宅医療・介護の連携を図るとともに、まだ収束しきっていない新型コロナウイルス感染症患者の自宅療養者を医療機関と訪問看護ステーションとともに管理してもらいます。

宮崎看護専門学校については定員割れや多額の赤字決算が続いたため、6月25日の定時総会において医療高等課程・専門課程を廃止し、看護師養成3年課程の定時制（4年修業）へ移行することが認められました。この大胆な移行は今後、弘野修一前理事から白尾一定副会長と玉置昇理事に委ねられることとなります。

コロナの診療体制はもうすぐ新しいステージに移行すると思われまます。新しい執行部は「withコロナの新しい診療体制」に対応できるよう弛まず邁進いたします。今後ともご協力とご指導をよろしくお願いいたします。



宮崎市郡医師会新役員

## 役員等名簿 (任期 令和4年6月25日定時総会終結後～令和6年6月定時総会終結時)

役職名	氏名	診療科	所属医療機関	担当業務
会長	高村 一志	小児科	たかむら小児クリニック	総括
副会長	牛谷 義秀	外科, 内科, 消化器内科, 消化器外科, 肛門外科, 整形外科, リハビリテーション科, 放射線科	クリニックうしたに	検査センター, 地域包括ケア推進センター, 産業医, 地域医療Ⅲ(救急・災害), 地域保健Ⅰ(成人・介護)・地域医療Ⅰ(成人) 医師連盟, 会計
〃	市来 能成	内科, 循環器内科, 消化器内科, 神経内科	市来内科・外科医院	庶務, 医事紛争, 会員福祉, 労務, 医師会病院, 夜間急病センター(小児科), 会員広報・情報システム, 学校保健, 地域保健Ⅱ・地域医療Ⅱ, 県医師会(常任理事)
〃	白尾 一定	外科, 消化器外科, 乳腺外科, 呼吸器外科, 気管食道外科	JCHO宮崎江南病院	看護専門学校, 夜間急病センター内科・外科, 勤務医, 新臨床研修医制度(医師確保), 学術・健康教育・生涯教育, 社保・国保, 審査基準公開, 醫友しののめ
理事	尾田 朋樹	整形外科, リウマチ科, リハビリテーション科	尾田整形外科医院	医師会病院, 医師連盟, 地域医療Ⅲ(災害医療), 会員広報・情報システム
〃	田中 宏幸	内科, 呼吸器内科, 消化器内科, 循環器内科, 小児科	神宮医院	検査センター, 社保・国保, 審査基準公開, 夜間急病センター内科・外科, 産業医
〃	玉置 昇	内科	たまきクリニック	看護専門学校, 会計, 学校保健, 夜間急病センター(小児科), 社保・国保, 審査基準公開, 県医師会(理事)
〃	内野 竜二	外科, 内科, 消化器外科, 消化器内科, 放射線科, 肛門外科	猪島医院	庶務・在宅医・開業相談・労働保険, 地域包括ケア推進センター, 地域保健Ⅰ(成人・介護)・地域医療Ⅰ(成人)
〃	遠藤 豊	内科, 循環器内科	宮崎生協病院	会報, 新臨床研修医制度(医師確保), 勤務医, 学術・健康教育・生涯教育, 庶務・在宅医・開業相談・労働保険
〃	眞柴 晃一	内科, 感染症内科 リウマチ科	県立宮崎病院	医事紛争, 学術・健康教育・生涯教育, 勤務医, 新臨床研修医制度(医師確保)
〃	中村 究	心療内科, 精神科, 内科, アレルギー科	中村クリニック	産業医, 会員福祉・共済会・慶弔, 醫友しののめ, 労務
〃	上山 貴子	婦人科, 産科	うえやま貴子クリニック	地域保健Ⅱ(母子), 醫友しののめ, 医事紛争, 会計, 県医師会(理事)
〃	菊池 安剛	耳鼻咽喉科	菊池耳鼻咽喉科医院	労務, 会員広報・情報システム, 検査センター, 医師連盟
〃	増田 好成	外科, 消化器外科, 整形外科, 内科, 肛門外科, 泌尿器科, 呼吸器内科, リハビリテーション科, 放射線科, 消化器内科	増田病院	地域医療Ⅲ(救急医療), 地域保健Ⅰ(成人・介護)・地域医療Ⅰ(成人), 医師会病院, 地域包括ケア推進センター
〃	佐藤潤一郎	小児科	佐藤小児科	学校保健, 夜間急病センター(小児科), 地域保健Ⅱ(小児)・地域医療Ⅱ(小児), 会員福祉・共済会・慶弔
監事	中山 健	泌尿器科, 皮膚科 アレルギー科	中山医院	理事の職務執行の監査
〃	楠元 直	胃腸科, 内科, 放射線科	楠元内科胃腸科医院	理事の職務執行の監査
〃	名越 敏郎	内科, 循環器内科	名越内科	理事の職務執行の監査
議長	丸田 眞一	胃腸科, 外科, 内科, 整形外科 リハビリテーション科, 肛門科	丸田医院	
副議長	前野 正和	内科, 循環器内科	まえのクリニック	
顧問	綾部 隆夫	内科, 循環器内科	綾部医院	
〃	中村 典生	外科, 内科, 消化器内科, 肛門外科	加納中央医院	
〃	川名 隆司	外科, 消化器外科, 小児外科, 内科, 消化器内科, リハビリテーション科	川名クリニック	

## 各都市医師会だより

### 都城市北諸県郡医師会

会 長 田 口 利 文

5月の社員総会において、会員の先生方の承認が得られ、引き続き会長をさせていただくことになりました。副会長は榎原進一郎先生、伊達晴彦先生、新しく副会長に義川剛太郎先生、総務理事に瀬ノ口洋史先生に就任いただきました。新型コロナウイルス感染症の完全な鎮静化はまだませんが、重症化率は確実に低下してきております。発熱患者さんにつきましても各医療機関の努力により、感染対策を行いながら検査・診療がスムーズに行われるようになってまいりました。高齢者に対する4回目のワクチン接種は市と協力して施行予定です。

2025年地域医療構想で指摘されていた都城市北諸県郡圏域における高度急性期病床不足の解消に向けての取組みを行っております。2022年6月の地域医療構想調整会議において、多くの委員の先生からご意見を頂戴し、計画を進めることをご了承いただきました。なかでも脳卒中集中治療室の新設は、脳神経血管内治療学会の専門医がいる特性を生かし、夜間を含めた超急性期における治療がサポートできるようになります。心臓血管疾患につきましても、ハイブリッド手術室の増設を計画しており、体制の強化をしていきたいと考えております。問題になっておりますリフィル処方箋やリモート診療の拡大については、患者さんの状態の十分な把握ができないままに処方を継続することに問題が多く、今後慎重に対応していく必要があります。医師の働き方改革では、宿日直が時間外となれば、28時間以上連続勤務に該当し、翌日の検査・手術に支障がでることになります。となれば人員に余裕のない医師会病院、救急医療は破綻する可能性があります。

本年度は当医師会の看護専門学校が70周年を、健康サービスセンターが50周年を迎える節目の年になります。医師会の看護師育成の役割と必要性を考えながら、今後も健全な運営ができるよう頑張っております。

今後とも当医師会に対するご支援、ご協力よろしくお願い申し上げます。



都城市北諸県郡医師会新役員

## 役員等名簿 (任期 令和4年5月25日の定時社員総会終結後～令和6年5月定時社員総会終結時まで)

役職名	氏名	診療科	所属医療機関	担当業務
会長	田口 利文	循環器科・内科	田口循環器科・内科クリニック	会務総括, 全施設総括, 医師会病院総病院長(兼病院長), 渉外
副会長	榎原進一郎	皮膚科	ならはら皮膚科医院	会務総括補佐, 担当副会長(医師会病院・管理), 看護専門学校校長, 渉外
〃	伊達 晴彦	循環器内科・内科	伊達クリニック	会務総括補佐, 担当副会長(医師会病院・診療), 夜間急病センター所長
*	〃	麻酔科・整形外科・内科	よしかわクリニック	会務総括補佐, 健康サービスセンター所長, すこやか苑副施設長
*	総務理事	内科・消化器科	瀬ノ口醫院	総務, 労務管理, 医師連盟, 自賠責, 広報, 開業相談, 定款諸規程, 医事紛争
理事	濱田 圭一	外科・内科・消化器科	はまだクリニック	訪問看護ステーション所長, 総務(副), 介護保険(副)
〃	丸山 浩一	小児科	沖水こどもクリニック	学校保健・検診, 乳幼児保健, 学校医部会, 救急医療(副), 夜間急病センター副担当理事
〃	森山 拓造	脳神経外科	もりやま脳神経外科	夜間急病センター担当理事, 災害・感染症対策, 救急医療(主), 医師会病院副担当理事
〃	福島 義隆	内科・消化器内科・小児科	ふくしまクリニック	すこやか苑担当理事, 夜間急病センター副担当理事, 救急医療(副), 福祉施設
〃	江夏 剛	整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科	江夏整形外科クリニック	医師会病院担当理事, 医療保険, レセプト査定対策, スポーツ医学
*	〃	内科・循環器内科	みしま内科クリニック	医療情報システム, 学術生涯教育(主), 健康教育(主), 保険診療(主), 医師会病院副担当理事, 医苑(副)
*	〃	消化器外科・肛門外科	横山病院	健康サービスセンター担当理事, 公衆衛生, 成人病検診, 病院部会
*	〃	内科・腎臓内科・循環器内科・糖尿病内科	西浦病院	看護専門学校副校長(管理部長), 会員福祉, 苦情処理, 勤務医部会, 保険診療(副)
*	〃	内科・循環器内科	すみクリニック内科・循環器内科・小児科	訪問看護ステーション担当理事, 地域医療マスタープラン, 介護保険(主), 救急医療(副)
*	〃	外科	吉見病院	県医師会常任理事, 産業医部会, 労災医部会, 地域産業保健センター
*	〃	耳鼻咽喉科	西浦医院	会計管理(総括), 医苑(主), 労務福祉, 介護保険(副), 健康教育(副), 学術生涯教育(副)
監事	坂元 一久	胃腸科・内科	坂元医院	
〃	木村 健	内科・外科・小児科	原田医院	
*	〃	一般外科・消化器科	吉松病院	
議長	三浦まり子	内科・小児科	共立医院	
副議長	田中 穰三	内科・胃腸科・小児科	久保原田中医院	

\* は新任

## 宮崎大学医学部だより

### 感覚運動医学講座 －皮膚科学分野－



あまの まさひろ  
天野 正宏 教授

初代教授 井上勝平先生  
退任後、2代目教授 瀬戸  
山充先生に続き、2015年  
5月1日に3代目教授と  
して天野正宏先生が就任  
し8年目を迎えました。

現在、医局員は男性14名、  
女性11名、計25名で構成され、大学は天野正  
宏教授（科長）、持田耕介講師（副科長）、助  
教として根本利恵子（医局長）、成田幸代（副  
外来医長）、江藤博文（教育医長）、西川陽太  
郎（病棟医長）、野上京子（外来医長）がおり  
ます。医員として江良幸三、金丸志保、西元順  
子、田中（旧姓 長野）愛実、榎原亮、川野正人、  
久保致子、福良拓也、黒木進、西原桃子、長友  
京がおります。また新専門医制度連携施設であ  
る県立宮崎病院には久保環（医長）、黒木脩矢  
（副医長）、千代田病院には小田裕次郎（皮膚  
科部長）、森愛菜が、新専門医制度準連携施設  
である県立延岡病院には後田優香（副医長）と  
中村俊央（医員）、国民健康保険西米良診療所  
には塚本智大がそれぞれ出向しております。

当教室では開講当初から慢性砒素中毒患者の  
医学的調査・診療として、宮崎県の土呂久地区  
住民検診に参加してきましたが、今年も天野正  
宏教授が検診に帯同しています。この関連から  
アジア地域での砒素汚染状況調査にも同行し、  
過去には内モンゴル、バングラデシュ、ネパ  
ール、インドに教室から医師を派遣してきました。  
2015年8月～2018年7月の3年間、宮崎大学  
のプロジェクト「ミャンマー国ヒ素汚染地域に

おける衛生保健の実施体制強化プロジェクト」  
（JICA草の根技術協力事業）に参加し、工学部  
が安全な飲料水供給を、医学部が住民の衛生保  
健の実施体制向上を担当しました。皮膚科では  
古結英樹と天野正宏がミャンマー国の住民皮膚  
検診を行いました。更に宮崎県の地域医療に貢  
献すべく、医学部学生を帯同し皮膚科専門医の  
いない県内地域に赴き、「皮膚病に関する講演  
会」と「住民に対する無料の皮膚病医療相談  
会」を行っています。今後も皮膚科医として地  
域はもちろん、アジアから世界に向けて発信し、  
貢献していきたいと考えています。

診療面では当教室は皮膚悪性腫瘍や熱傷・外  
傷などの外科的手術が必要な患者さんが多いこ  
とが特徴ですが、アレルギー性疾患、感染症、  
水疱症、膠原病などの患者さんも多く、宮崎県  
の皮膚科基幹病院としての役割も担っていま  
す。医学生や研修医にとってさまざまな皮膚科  
領域の疾患に接するチャンスがあり、将来、バ  
ランスのよい実力も兼ね備えた皮膚科専門医を  
目指すことができるため、教育面でもすばらし  
い環境を提供していると自負しています。

2019年度より始まった新専門医制度につ  
きましては、宮崎県の皮膚科専門研修プログラ  
ムを選択し入局した医局員は合計11人となり  
ました。宮崎大学病院を研修基幹病院として、研  
修連携施設に千代田病院、古賀総合病院、県立  
宮崎病院が認定され、研修プログラムも充実し  
ています。皮膚科専攻医は研修基幹病院を主と  
するコース、また連携病院を主とするコースな  
ど専攻医の希望に沿った研修プログラムを選  
択することが可能であり、この5年間の研修プ  
ログラムで臨床力のある皮膚科専門医を育成  
することを目指しています。

（医局長 根本利恵子）

## 部会だより

## 学校医部会

かわの まさゆき  
河野 雅行 部会長

宮崎県医師会学校医部会は508名の会員からなり、県医師会の河野会長が部会長を務めています。役員は各郡市医師会から選出された理事を中心に構成されており、児童生徒の健康診断、心臓

・腎臓・小児生活習慣病・運動器検診、精神保健などのさまざまな活動を行っています。

令和3年度の主な事業として、コロナ感染予防を配慮したうえで6月3日に学校医部会理事・評議員会を現地プラスWebにて開催しました。8月30日には学校医部会総会・医学会をWebにて開催し、医学会では次の2名の先生に講演いただき、53名の先生方のご参加がありました。

## 学校医部会医学会

講演1 「学校にて新型コロナウイルス感染者が発生した際の保健所の役割」

講師 宮崎県 福祉保健部 健康増進課  
感染症対策室

主幹 蛭原夕起子 様

講演2 「子どもの運動器が危ない

ー運動器検診：コロナ禍の影響と関係者各位へのお願い」

講師 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座  
整形外科学分野

教授 帖佐 悦男 先生

九州関連では、8月7日・8日の両日、沖縄県において「みつめよう子どもを、育もう未来を～今こそ発揮しよう“ちむぐくる”～」をメインテーマに九州ブロック学校保健・学校医大会関連行事がWebにて開催され、心臓・腎臓・小児生活習慣病・運動器の部門ごとの教育講演、眼科・耳鼻科の各分科会が行われました。また、九州学校検診協議会専門委員会が7月はWeb、11月は現地で開催され、心臓・腎臓・小児生活習慣病の4つの部門に分かれ協議を行い、健診内容や集計の標準化に取り組みました。

全国関連では、4月11日に日医学校保健講習会がWebにて開催され、担当理事が参加しました。また、10月30日には全国学校保健・学校医大会が「明るく強く育むために～コロナや災害に取り組む医療～」をメインテーマに岡山県担当にてWeb開催され、本会役員および各郡市の担当理事が参加しました。

コロナ感染拡大の中、各事業を中止することなく執り行ってこられたことは、会員の先生方のお陰だと感謝しております。これからも子どもたちの健康増進のため頑張りたいと考えております。ご協力よろしく願いいたします。

(理事 高木 純一)

## 第175回宮崎県医師会臨時代議員会（概要）

と き 令和4年5月24日(火)

ところ 県 医 師 会 館

### 1 開 会

新しい代議員が選出され最初の代議員会となることから、本会定款施行細則第17条の規定により中山健代議員が仮議長に選出され、出席代議員を確認したうえで代議員会の成立を宣言した。

続いて、議事録署名人に尾田朋樹代議員と原田一道代議員を指名し、議長、副議長の選挙に入った。



### 2 議長及び副議長選挙

候補者が定数と同数のため、選挙細則により投票を行わずに挙手で決議することを決定し、いずれも賛成多数により以下の2名を当選者と決定した。

議長選挙 当選者 内村 大介（西諸）

副議長選挙 当選者 千代反田晋（日向）

### 3 河野県医師会長挨拶

（要旨）お忙しい中、また、コロナ対策でご苦労されている中、お集まりいただき感謝申し上げます。宮崎県内の感染状況は第6波が収束しないうちに第7波に突入しており、10万人当たりの感染者は全国ワースト10位に入

っている。長期にわたり国中のあらゆる面で深刻な影響が出ており、更にウクライナ侵攻も物価などに影響を及ぼしている。このような情勢の中での本日の会合であるが、どうしても必要な会であるので、スペースを広く取り、短時間開催の予定でお集まりいただいた。本事情のご理解をよろしくお願ひしたい。

私どもは令和2年6月より2年間県医師会執行部をお任せいただいた。その間大きな行事としては、九州医師会医学会の担当があった。その医学会をはじめとして事業実施にはコロナ感染症のために例年とは違った対応を余儀なくさせられたが、何とか大過なく運営できたのもひとえに先生方のご協力の賜物であると感謝申し上げる。

本日は令和4年度の事業計画、予算についてご報告させていただく。その後次期の理事定数を決めていただき、定数内での理事および役員を選んでいただくのでよろしくお願ひいたしたい。

なお、役員に関して、瀬ノ口洋史先生、帖佐悦男先生、園田定彦先生の3名の先生方が、県医師会代議員に選出されたことにより、4月末日付けで「理事の辞任届」が提出され、受理していることをご報告する。本日はよろしくお願ひ申し上げます。

### 4 報 告

1) 令和4年度宮崎県医師会事業計画について  
山村副会長から、事前送付資料を基に、次のとおり報告があった。

（要旨）令和4年度の事業計画は、3月8日に開催された県医師会の理事会で承認されている。県医師会の事業は、公益法人

として、事業計画は基本的には大きく変えることなく、継続することが前提となっている。

その中で、昨年、一昨年に引き続き、一番大きな課題は、新型コロナウイルス感染症である。資料1 ページ目の下半分が重点項目であるが、その一番目に「新型コロナウイルス感染症への対応」を掲げている。また、序文の冒頭の方では「県医師会として総力を挙げて県民の命と健康を守り抜き、新型コロナウイルス感染症発生以前のように人々が自由に活動できる社会を取り戻したい」と記載している。今後も各地域や医療機関の要望を適切に把握し、各郡市医師会の皆様や県行政などと連携して、迅速に対応してまいりたい。

次のページ以降に具体的事項を記載している。具体的事項に関しては、国や県の方針や制度変更に合わせて追加したり、事業が終了したものなどを削除したりしている。

今年度も、皆様のご指導とご協力をお願いして、簡単ではあるが、説明に代えさせていただきます。

## 2) 令和4年度宮崎県医師会収支予算について

吉田常任理事から、事前送付資料を基に、次のとおり報告があった。

はじめに、予算編成の前提となる重要事項を3点説明する。一つ目は、医師会館の大規模修繕5,250万円である。令和4年度は会館建設15年目にあたり、修繕計画による外壁塗装・防水工事などの大規模改修および会館ネットワークの更新を予定している。二つ目は、業務用印刷機の更新550万円である。現行機はリース期間満了後に再リース中であるが、老朽化により故障が多く、コピー機だけでは対応できないため、買い替えを予定している。三つ目は、県の委託事業「新型コロナ自宅療養者への健康観察体制確保事業」の1億5,500万円である。この事業は令和3年度の途中で新たに

契約を結んだものであるが、4年度も継続が決まったため予算化している。

続いて、収支予算書について説明する。まず経常収益は、受託事業等収益が前年度比1億5,492万8千円増の2億9,209万円、その他は、ほぼ例年どおりで、収益合計は5億7,760万8千円を見込んでいる。次に経常費用は、旅費交通費および消耗品費、諸謝金で、新型コロナ健康観察事業により大幅な支出増を見込んでいる。費用合計は5億7,570万円で、当期増減額は190万8千円の黒字となる見込みである。正味財産期末残高は171万5千円の増加となる。

続いて、収支相償については公益事業が6,776万1千円の赤字であり、赤字か±0という条件を満たしている。公益目的事業比率は、78.9%で、50%以上という条件をクリアしている。

## 質 疑

### (1) 「大規模修繕について」 楠元 直代議員

(質問要旨) 県医師会館の大規模修繕について、外壁塗装と防水工事の他に、何かあるか。また、会館内ネットワーク更新の具体的内容を知りたい。

小牧常任理事が、次のとおり回答した。

(回答要旨) 大規模修繕の大きなものとしては外壁塗装と防水工事の他に、外壁のタイルなどの工事、金属工事、塗装工事、電気設備工事がある。また、工事を行うために仮設工事として会館全体に足場などを設置する必要がある。外壁は、タイルやモルタル部分を打診し、不具合部分を修繕し、コーキングはすべて打ち替えをする。

金属工事は、金属の腐食箇所の修繕と塗装、電気設備工事は、停電や近隣への電気の波及事故を防止するための工事および駐車場の外灯の更新工事を行う。なお、施工業者が作った修繕計画・見積りについて、施工業者とは別の設計事務所に監修業務を依頼し、必要な修繕なのか、金額は妥当か、

他に安価な方法はないかなど相談しているところである。工事の人件費や資材が高騰している状況であるが、建物の機能を良好に維持し、長持ちさせるために、必要な個所を適正な金額で修繕したい。

次に、会館内ネットワーク更新について説明する。本会館のネットワークには多くの機器、LANケーブルが設置されているが、老朽化により機器の故障や通信が不安定になることも発生している。また、コロナを機に、Web会議が非常に増えており、ネットワークの負荷も大きくなっている。ご質問の「具体的な更新内容」としては、各フロアに設置している「ネットワークスイッチ」という通信を振り分ける機器の更新をメインとして、更に各フロアをまたぐ基幹線的なLANケーブルを2重化する。本会主催で行うWeb会議・研修会は失敗が許されないので、ネットワークを更新し、信頼性を高めたい。

## (2) 「医師の働き方改革について」

田口利文代議員

(質問要旨) 2024年には新しい制度の下で医師の働き方改革が進められることになっている。都城地域の救急医療を担っている医療機関では、医師は当直業務の他に、夜間の手術やカテーテル治療のときは待機医師など複数が業務にあたっている。循環器内科を例に挙げると、6名の医師と大学からの応援医師が交代で心筋梗塞や心不全などの夜間の入院にも対応している。大学からの応援も難しくなるとの情報もあり、医師の数を増やそうにも、医師不足、医師の偏在は解消されていない。ぜひ、県医師会では混乱の生じないランディングができるように、派遣する側の大学の情報や県内医療機関の取組みの状況を共有できるような場を設けていただきたい。

池井常任理事が、次のとおり回答した。

(回答要旨) 医師の働き方改革については、

「宮崎県医療勤務環境改善支援センター」において、医療機関側の時短計画の策定や宿日直許可申請などの相談に対して、専門のアドバイザーが支援を行っているところである。

これまでアンケート調査や個別支援を通じて、各医療機関が抱える課題については把握をしていたが、今回ご要望の「派遣する側の大学の情報」については、当センターとしても把握をしていなかった。今後は、派遣する側が抱えている課題や派遣先に求めることなどについても、確認を行い、派遣を受ける側の医療機関や専門アドバイザーと情報を共有していきたい。そのうえで、派遣先の医療機関と大学病院との情報交換の場を設けるか検討していきたい。

今年度に入り、当センターには、宿日直の許可申請を含む支援要請が18件来ている。5月に2回、アドバイザー研修を行い、情報共有やスキルアップを図ったうえで、6月から本格的な支援に入る予定である。

医師の時間外労働時間を、まだ把握していない医療機関もあり、時短計画の策定、宿日直の許可申請など、医療機関の抱える課題は、個々の医療機関などで違い、対処方法も多岐に渡る。同センターでは、ノウハウと情報の蓄積を行いながら、医療機関への支援を続けていきたいので、同センターのご利用をあらためて願います。

医師の働き方改革については、県医師会として、機会あるごとに日本医師会、政権与党などに「拙速な改革の実施を危惧すると共に地域医療を支える医療機関の立場にたった対応」を要望し、それを受けて、令和4年3月18日付けで、日医および四病院団体協議会、全国有診連絡協から厚労大臣に「医師の働き方改革に関する要望書」が出されたこと認識している。県内の救急告示施設などが抱えている危機感は、宮崎県医師会が受託し運用している「宮崎県医療

勤務環境改善支援センター」を通じて労働局、県行政担当課などにも伝えていく。今回のご質問をはじめ、個別支援の中で出てきた共通する課題や要望についても、つないでまいりたい。

## 5 協 議

### 1) 次期理事定数について

定款施行細則第11条第3項の規定に基づき、小牧常任理事が、理事数を引き続き23名とする案を提案し、審議の結果、賛成多数により次期理事数を23名とすることを決定した。

## 6 役員選挙

投票方法について、内村議長が、各選挙の候補者が定数と同数なので、選挙細則第20条第1項の規定に基づき、「投票を行わずに挙手で決議する」ことおよび「複数の定員を選任する役職について一括して選任する」を提案し、いずれも賛成多数で決定した。

また、選挙細則第1条第1項の規定に基づき、会長候補者、副会長候補者、理事、監事、裁定委員、日本医師会代議員、同じく予備代議員の順に選任することを確認して選挙に入った。

\*すべて届出順

### 1) 会長候補者選挙（定数1名）

当選者（理事兼ねる）

河野 雅行（宮崎）

### 2) 副会長候補者選挙（定数2名）

当選者（理事兼ねる）

山村 善教（宮崎）

小牧 斎（宮崎）

### 3) 理事選挙（定数20名）

当選者

吉村 雄樹（西諸）

金丸 吉昌（日向）

赤須郁太郎（延岡）

落合 秀信（宮大医）

大塚康二郎（西都）

吉見 雅博（都城）

玉置 昇（宮崎）

山中 聡（児湯）

池井 義彦（西諸）

峰松 俊夫（南那珂）

佐々木 究（宮崎）

石川 智信（宮崎）

吉田 建世（延岡）

田畑 直人（宮崎）

嶋本 富博（宮崎）

高木 純一（宮崎）

荒木 早苗（延岡）

市来 能成（宮崎）

上山 貴子（宮崎）

河原 勝博（宮崎）

### 4) 監事選挙（定数3名）

当選者

宮田 純一（延岡）

田中 穰式（都城）

中村 周治（宮崎）

### 5) 裁定委員選挙（定数11名）

当選者

立山 洋司（西諸）

青柳淳太郎（日向）

井上 博（延岡）

石田 康（宮大医）

宇和田 収（西都）

濱田 義臣（都城）

大山 秀（西白杵）

楠元 正輝（宮崎）

後藤 勇（宮崎）

永友 慶子（児湯）

山元 敏嗣（南那珂）

### 6) 日本医師会代議員及び予備代議員選挙 （各々定数4名）

日本医師会代議員選挙

当選者

山村 善教（宮崎）

小牧 斎（宮崎）

吉田 建世 (延 岡)  
市来 能成 (宮 崎)  
日本医師会予備代議員選挙  
当選者

内村 大介 (西 諸)  
千代反田晋 (日 向)  
荒木 早苗 (延 岡)  
池井 義彦 (西 諸)

## 7 当選役員挨拶

当選役員を代表して、会長候補者に選任された河野会長が挨拶を行った。

(要旨) 次期執行部を選んでいただき心か

ら感謝申し上げます。毎回申し上げているように、医師会の本分である地域医療と会員を守るために役員一同、職員の協力を得ながら、全力を尽くす覚悟である。まずはコロナ対策などの眼前の諸問題はもちろんであるが、その他の多くの問題に対しても、積極的に取り組んでまいります。今後2年間先生方には何かとご協力いただく場面が増えてくるのではないかと思います。よろしくお願いいたします。

## 8 議長閉会宣言

内村議長が円滑な進行に対するお礼を述べ代議員会を閉会した。

出席代議員および出席役員は以下のとおり。

### 出席代議員

1 番 永友 和之  
2 番 松本 英裕  
3 番 中村 彰伸  
4 番 河野 秀一  
5 番 内村 大介  
6 番 園田 定彦  
7 番 植松 昌俊  
8 番 帖佐 悦男  
9 番 鈴木 斎王※  
10番 盛武 浩  
11番 川名 隆司  
12番 市来 能成  
13番 牛谷 義秀  
14番 尾田 朋樹  
15番 金丸 禮三  
16番 楠元 直  
17番 栗林 忠信  
18番 神尊 敏彦  
19番 白尾 一定  
20番 高村 一志  
21番 田中 宏幸  
22番 中山 健  
23番 成田 博実  
24番 原田 一道

25番 原田 雄一  
26番 弘野 修一  
27番 田口 利文  
28番 檜原進一郎  
29番 伊達 晴彦  
30番 義川剛太郎  
31番 瀬ノ口洋史  
32番 佐藤 信博  
33番 平野 雅弘  
34番 牧野 剛緒  
35番 千代反田晋  
36番 松岡 敬子※

出席36名

※は予備代議員

### 出席役員

会 長 河野 雅行  
副 会 長 濱田 政雄  
” 山村 善教  
常任理事 吉田 建世  
” 小牧 斎  
” 荒木 早苗  
” 池井 義彦  
” 金丸 吉昌  
” 石川 智信  
” 高木 純一  
理 事 峰松 俊夫  
” 川野啓一郎  
” 佐々木 究  
” 岩村 威志  
” 米澤 勤  
” 嶋本 富博  
” 赤須郁太郎  
” 大塚康二郎  
” 玉置 昇  
” 上山 貴子  
監 事 中村 周治  
” 小牧 文雄  
” 宮田 純一

出席23名

# 第176回宮崎県医師会定例代議員会（概要）

と き 令和4年6月18日(土)

ところ 県 医 師 会 館

## 1 開 会

内村議長が、代議員の定数および出席代議員を確認したうえで代議員会の成立を宣言した。

続いて議事録署名人に高村一志代議員，原田雄一代議員を指名した。



## 2 河野県医師会長挨拶

（要旨）先日の臨時代議員会では次期執行部を選出いただき感謝申し上げます。今回が現執行部の最後の代議員会となる。コロナ禍の中にもかかわらず2年間大過なく過ごせたのも先生方のご協力によるものであると感謝したい。

本日は令和3年度の決算などを協議していただく重要な会議である。コロナなどの影響で事業計画どおりには執行できなかった分野もあり少し例年とは異なった数字となっている。本来であれば十分な時間をとってご協議いただく必要があるが、コロナ対策のため短時間の開催を予定している。状況をご理解いただきご協議をよろしくお願ひしたい。

## 3 報 告

### 1) 令和3年度宮崎県医師会事業報告について

山村副会長が定款第62条の規定に基づき、6月7日の理事会で承認された令和3年度の事業報告について事前配布資料を基に説明を行った。

（要旨）令和3年度の事業については、令和3年3月に理事会で決定した事業計画に基づき会務を行った。報告書の表紙に1から7の重点項目を記載しているが、令和3年度についても、「新型コロナウイルス感染症への対応」に特に力を入れた。

報告書は【公益事業1】の「生涯教育の強化充実に関する事業」、【公益2】の「地域医療及び救急医療の充実を図り、県民に公平な医療供給の推進を行うと共に健康社会の構築に寄与する事業」、【公益3】の「県民の健康保持・増進に寄与する事業」、【公益4】の「保健事業の一体的推進を行う事業」、「その他の事業」に分けて記載している。特に、勤務環境改善支援センターや医師の働き方改革への対応、また、新型コロナに関する事業に関する記載をご覧いただきたい。

本会の事業に対する、皆様のご協力に、心より感謝申し上げ、簡単ではあるが、事業報告とさせていただきます。

## 4 議 事

### 議案第1号 令和3年度宮崎県医師会収支決算に関する件

吉田常任理事から、事前配布資料を基に、次のとおり説明があった。

（要旨）令和3年度決算の特徴である3点を説明する。1点目は令和3年度に新規事業として県から「新型コロナウイルス感

染症自宅療養者への健康観察体制確保事業」を受託し、最終的な契約金額は、約3億5,600万円となった。2点目は寄付金収入で、新型コロナ対策に対し2団体より約148万円の寄付をいただいた。また、令和2年度に本会が担当した九州医師会医学会会計の精算業務が終了したため、残金を本会計に寄付し、生涯教育基金として生涯教育事業に役立てていく予定である。3点目は、当年度取得した固定資産である。いずれも、会館設備購入積立資産を取崩して取得したもので、①会館マイクシステムとプロジェクター約468万円②理事室用タブレット約279万円③サーバー更新約332万円となる。併せて取得予定であった音響設備については、半導体不足による遅れのため、4年度に取得したい。

決算総額をご覧いただきたい。一般正味財産の税引後増減額は4,836万8,838円の増であった。次に指定正味財産の当期増減額は1,954万1,113円の増、当期正味財産増減額は、6,790万9,951円の増で、前年度決算比59.4%増となった。減価償却費などを除いた資金ベースでも4,338万7,775円の黒字決算となっている。

最後に、公益法人会計基準に定められた財務三基準について、当年度は、①収支相償、②公益目的事業比率、③遊休財産のすべての基準をクリアしている。特に③の遊休財産については、新型コロナ自宅療養への健康観察事業の実施により、公益目的事業費用が増加したため、同時に遊休財産保有制限額も大きく引き上がり、当年度は一時的に適合となった。遊休財産の基準をクリアするためには、遊休財産そのものを減少させることと、公益目的事業の事業費を増やすことが有効であるため、今後も両方の側面から対応策を検討したい。

続いて宮田監事から監査報告が行われ、内村議長の「以上の説明を受けて質問はな

いか」との問いに、質問もなく、採決の結果、議案第1号は賛成全員で、原案どおり承認可決された。

#### 議案第2号 令和5年度宮崎県医師会会費賦課徴収に関する件

吉田常任理事から、定款第21条に基づき、令和5年度も令和4年度と同様に徴収したいと説明が行われ、採決の結果、議案第2号は賛成多数で、原案どおり承認可決された。

### 5. 議長閉会宣言

最後に内村議長が、この定例代議員会の終結をもって現役員の任期が終わることから、感謝の言葉を述べ、閉会を宣言した。

出席代議員および出席役員は以下のとおり。

**出席代議員**

- 1 番 松本 英裕
- 2 番 中村 彰伸
- 3 番 河野 秀一
- 4 番 内村 大介
- 5 番 園田 定彦
- 6 番 植松 昌俊
- 7 番 帖佐 悦男
- 8 番 竹島 秀雄
- 9 番 盛武 浩
- 10番 川名 隆司
- 11番 市来 能成
- 12番 牛谷 義秀
- 13番 尾田 朋樹
- 14番 金丸 禮三
- 15番 楠元 直
- 16番 栗林 忠信
- 17番 神尊 敏彦
- 18番 白尾 一定
- 19番 高村 一志
- 20番 田中 宏幸
- 21番 中山 健
- 22番 成田 博実
- 23番 内野 竜二※

- 24番 原田 雄一
- 25番 弘野 修一
- 26番 田口 利文
- 27番 檜原進一郎
- 28番 伊達 晴彦
- 29番 濱田 圭一※
- 30番 瀬ノ口洋史
- 31番 佐藤 信博
- 32番 平野 雅弘
- 33番 牧野 剛緒
- 34番 千代反田晋
- 35番 今給黎 承
- 36番 永友 和之

出席36名

※は予備代議員

**出席役員**

- 会 長 河野 雅行
- 副 会 長 濱田 政雄
- ” 山村 善教
- 常任理事 吉田 建世
- ” 小牧 齋
- ” 荒木 早苗
- ” 池井 義彦
- ” 金丸 吉昌
- ” 石川 智信
- ” 高木 純一
- 理 事 峰松 俊夫
- ” 川野啓一郎
- ” 佐々木 究
- ” 岩村 威志
- ” 米澤 勤
- ” 嶋本 富博
- ” 赤須郁太郎
- ” 大塚康二郎
- ” 玉置 昇
- ” 上山 貴子
- 監 事 中村 周治
- ” 宮田 純一

出席22名

-----  
 あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
d	e	c, e	a	e	d	c	d	c	e

# 第177回宮崎県医師会臨時代議員会（概要）

と き 令和4年6月18日(土)

ところ 県 医 師 会 館

## 1 開 会

内村議長が、代議員の定数および出席代議員を確認したうえで代議員会の成立を宣言した。

続いて議事録署名人に高村一志代議員，原田雄一代議員を指名した。



## 2 河野県医師会長挨拶

（要旨）新執行部となり第1回目の代議員会である。先日，選定いただいたように新執行部は役員交代があり，新しい陣容で担当していただく。

現在，本県のコロナ感染者は減少傾向であるが，コロナ対応はまだ気を抜くわけにはいかない。そのほか地域医療に関しては，疎かにできない問題が山積している。ウクライナ問題も予断を許さない。戦争とコロナにより全国的な影響が出ている。特に経済的な打撃が大きく多大な影響を受けている医療機関もあり，このままでは医療機関の衰退により地域医療崩壊に拍車をかけることになりかねない。県医師会では県に直接，あるいは日本医師会を通して国に支援を要請している。それを受けて国や県ではさまざまな形での支援策を打ち出しており，ある程度効果は出ている

が，まだ十分ではない。更に要請していきたい。その他の諸問題についても新執行部で役員が一丸となり先日の臨時代議員会でお認めいただいた事業計画・予算案に従い慎重かつスピード感をもって対応していきたい。いづれにしても医師会活動の基本は代議員の先生方そして会員の先生方のご協力が必要不可欠である。今後ともよろしくお願ひしたい。

## 3 報 告

### 1) 新役員紹介について

市来常任理事が，直前に開催された第3回理事会の議案「会長等の選定等に関する件」について次のとおり報告し，その後新役員の紹介を行った。

（要旨）5月24日の臨時代議員会で選出した河野雅行会長候補を会長に，山村善教・小牧齋副会長候補を副会長に選定した。また，理事の中から荒木早苗，市来能成，吉田建世，金丸吉昌，池井義彦，石川智信，高木純一，嶋本富博，赤須郁太郎，大塚康二郎，吉見雅博先生を常任理事に選定した。その他の理事，監事，代議員会議長・副議長，日医代議員・予備代議員については，第175回臨時代議員会で決定したとおりである。

## 4 議 事

### 1) 顧問・名誉会員委嘱の件について

市来常任理事が，第3回理事会で協議した結果をもとに次のとおり提案を行った。

（要旨）定款第43条の規定に基づき，顧問・名誉会員は代議員会の決議を経て会長が委嘱することになっている。顧問につい

ては、元宮崎県医師会長の秦喜八郎先生と前宮崎県医師会長の稲倉正孝先生、名誉会員については、元宮崎医科大学長の森満保先生、松尾壽之先生、元宮崎大学長の住吉昭信先生、菅沼龍夫先生、前宮崎大学長の池ノ上克先生に委嘱したい。任期は役員と同様、2年後の定例代議員会の終結のときまでとなる。

以上の説明の後、議長確認により提案ど

おり承認された。

(注) 松尾壽之先生におかれましては、令和4年6月8日にご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

## 5. 議長閉会宣言

最後に内村議長が円滑な進行への協力を謝辞を述べ、臨時代議員会の閉会を宣言した。

出席代議員および出席役員は以下のとおり。

### 出席代議員

1 番 松本 英裕  
 2 番 中村 彰伸  
 3 番 河野 秀一  
 4 番 内村 大介  
 5 番 園田 定彦  
 7 番 帖佐 悦男  
 8 番 竹島 秀雄  
 9 番 盛武 浩  
 10番 川名 隆司  
 12番 牛谷 義秀  
 13番 尾田 朋樹  
 14番 金丸 禮三  
 15番 楠元 直  
 16番 栗林 忠信  
 17番 神尊 敏彦  
 18番 白尾 一定  
 19番 高村 一志  
 20番 田中 宏幸  
 21番 中山 健  
 22番 成田 博実  
 23番 内野 竜二※  
 24番 原田 雄一  
 25番 弘野 修一  
 26番 田口 利文  
 27番 檜原進一郎  
 28番 伊達 晴彦  
 29番 濱田 圭一※

30番 瀬ノ口洋史  
 31番 佐藤 信博  
 32番 平野 雅弘  
 33番 牧野 剛緒  
 34番 千代反田晋  
 35番 今給黎 承  
 36番 永友 和之

出席34名

※は予備代議員

### 出席役員

会 長 河野 雅行  
 副 会 長 山村 善教  
 ” 小牧 斎  
 常任理事 荒木 早苗  
 ” 市来 能成  
 ” 吉田 建世  
 ” 金丸 吉昌  
 ” 池井 義彦  
 ” 石川 智信  
 ” 高木 純一  
 ” 嶋本 富博  
 ” 赤須郁太郎  
 ” 大塚康二郎  
 ” 吉見 雅博  
 理 事 峰松 俊夫  
 ” 佐々木 究  
 ” 玉置 昇  
 ” 上山 貴子  
 ” 田畑 直人  
 ” 落合 秀信  
 ” 山中 聡  
 ” 河原 勝博  
 ” 吉村 雄樹  
 監 事 中村 周治  
 ” 宮田 純一  
 ” 田中 穰式

出席26名

## 令和4年度第79回宮崎県医師会総会

と き 令和4年6月18日(土)

ところ 県 医 師 会 館

新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、関係者のみ(役員および代議員)で縮小開催した。市来常任理事の司会により開会し、はじめに物故会員の先生方に対し黙祷を捧げ弔意を表した。各種表彰・祝賀については、表彰式は行わず、資料への掲載および記念品等の発送をもって表彰に代えた。おわりに河野会長が謝辞を述べ閉会した。

### ◇物故会員

(令和3年度総会以降～令和4年度総会まで)

徳丸 潤 先生(宮崎)  
 大江 秀夫 先生(宮崎)  
 日高令一郎 先生(宮崎)  
 竹尾 康男 先生(宮崎)  
 吉山 政敏 先生(都城)  
 田中 毅一 先生(都城)  
 西平 英智 先生(都城)  
 濱田 義次 先生(都城)  
 丸田 次郎 先生(都城)  
 佐藤 靖美 先生(延岡)  
 村上 仁 先生(南那珂)  
 加藤久仁彦 先生(南那珂)  
 野本 浩一 先生(西諸)

### ◇退任役員表彰

前代議員会議長 松本 英裕 先生(西都)  
 前副会長 濱田 政雄 先生(宮崎)  
 前常任理事 瀬ノ口洋史 先生(都城)  
 前理事 川野啓一郎 先生(宮崎)  
 前理事 岩村 威志 先生(宮崎)  
 前理事 米澤 勤 先生(児湯)

前理事 帖佐 悦男 先生(宮大医)  
 前理事 園田 定彦 先生(西諸)  
 前監事 小牧 文雄 先生(都城)

### ◇永年勤続代議員表彰

国会表彰内規により、10年以上の代議員歴があり、満70歳に達した退任代議員を表彰するもので、下記3名の先生方を表彰した。

増田 好治 先生(宮崎)  
 田中 俊正 先生(宮崎)  
 飯田 正幸 先生(都城)

### ◇永年勤続職員表彰

県内の会員医療機関に30年以上勤務し、地域医療に貢献された方を表彰するもので、本年度の対象者81名を表彰した。

### ◇各種祝賀(高齢会員・各種表彰)

米寿・喜寿をお迎えになる高齢会員(米寿7名、喜寿26名)および昨年度総会以降、叙位叙勲、大臣表彰、知事表彰等、県関係以上の各種表彰を受賞された52名の先生方を表彰した。

### 【高齢会員祝賀】

米寿会員 7名

(昭和10年1月1日～昭和10年12月31日生)

石川 誠一 先生(宮崎)  
 大淵 道子 先生(宮崎)  
 甲斐 佐 先生(宮崎)  
 杉田 幸雄 先生(宮崎)  
 南嶋 洋一 先生(宮崎)  
 赤須 正道 先生(延岡)  
 藤本 孝一 先生(延岡)

## 喜寿会員 26名

(昭和21年1月1日～昭和21年12月31日生)

池ノ上 克 先生(宮崎)  
 内田 厚生 先生(宮崎)  
 大野 和男 先生(宮崎)  
 押川紘一郎 先生(宮崎)  
 小室 康男 先生(宮崎)  
 呉屋 朝和 先生(宮崎)  
 栄 四男 先生(宮崎)  
 杉田 新 先生(宮崎)  
 豊田 清一 先生(宮崎)  
 平部 久彬 先生(宮崎)  
 三原 謙郎 先生(宮崎)  
 元村 祐三 先生(宮崎)  
 鎗水 民生 先生(宮崎)  
 龍 誠一郎 先生(宮崎)  
 大窪 利隆 先生(都城)  
 河野 一成 先生(都城)  
 三嶋 孝雄 先生(都城)  
 村上 健志 先生(都城)  
 木下 義美 先生(延岡)  
 永友 和之 先生(児湯)  
 林 嘉昌 先生(児湯)  
 山口 一郎 先生(児湯)  
 外山 望 先生(南那珂)  
 桑原 大祐 先生(西諸)  
 益山 芳正 先生(西諸)  
 鬼塚 敏男 先生(宮大医)

## 【各種表彰(章)】

(令和3年度総会以降～令和4年度総会まで)

令和3年7月9日

学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰

故・野本 浩一 先生(西諸)

令和3年8月24日

学校保健及び学校安全に関する県教育長表彰

作 和明 先生(宮崎)  
 篠原 義成 先生(宮崎)  
 柴田 博 先生(宮崎)  
 三原 敬 先生(宮崎)  
 鶴木 俊秀 先生(都城)  
 田中 隆 先生(都城)  
 岸 重雄 先生(延岡)  
 戸島 信夫 先生(延岡)  
 宮田 純一 先生(延岡)  
 押川 達巳 先生(西諸)  
 川井田 繁 先生(西諸)  
 新添 謙一 先生(西諸)  
 槇 健一郎 先生(西諸)

令和3年8月30日

国民健康保険事業功勞により国民健康保険中央会表彰

甲斐 眞弘 先生(宮崎)  
 中崎 秀二 先生(宮崎)  
 姫路 大輔 先生(宮崎)

令和3年9月6日

救急医療事業功勞により県知事表彰

牛谷 義秀 先生(宮崎)  
 大岐 照彦 先生(都城)  
 鶴田 曜三 先生(西都)

令和3年9月9日

産科医療功勞により厚生労働大臣表彰

金田 太郎 先生(宮崎)

令和3年9月9日

救急医療功勞により厚生労働大臣表彰

比嘉 利信 先生(宮崎)

令和3年10月9日

精神保健福祉事業功勞により県知事表彰

中村 究 先生(宮崎)  
 堀 徹也 先生(日向)

令和3年10月14日

国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰

植木 義裕 先生(宮崎)

令和3年10月15日

精神保健福祉事業功勞により厚生労働大臣表彰

古郷 博 先生(宮崎)

令和3年10月28日

学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰

小野 武己 先生(宮崎)

稲原 明肆 先生(日向)

令和3年10月29日

社会保険診療報酬支払基金関係功績により厚生労働大臣表彰

森山 重人 先生(宮崎)

令和3年11月3日

教育研究功勞により瑞宝中綬章

高崎 眞弓 先生(宮大医)

令和3年11月3日

保健衛生功勞により旭日双光章

立元 祐保 先生(宮崎)

令和3年11月3日

保健衛生功勞により藍綬褒章

二宮 嘉正 先生(日向)

令和3年11月19日

社会福祉功勞により厚生労働大臣表彰

大窪 利隆 先生(都城)

令和3年11月23日

労働基準行政関係功勞により厚生労働大臣表彰

帖佐 悦男 先生(宮大医)

令和4年1月26日

公衆衛生功勞により県知事表彰

市原 美宏 先生(宮崎)

田中 俊正 先生(宮崎)

中山 郁男 先生(都城)

野田 省治 先生(延岡)

岩見 晶臣 先生(西都)

令和4年1月27日

医療功勞により県知事表彰

石川 智信 先生(宮崎)

林田 中 先生(延岡)

高山 修二 先生(児湯)

河野 秀一 先生(南那珂)

高崎 直哉 先生(西諸)

令和4年2月25日

公衆衛生事業功勞により厚生労働大臣表彰

獅子目賢一郎 先生(宮崎)

平田 宗勝 先生(都城)

牧野 剛緒 先生(延岡)

令和4年2月25日

公衆衛生事業功勞により日本公衆衛生協会会長表彰

獅子目 輯 先生(宮崎)

泊 直十郎 先生(都城)

佐藤 幸憲 先生(西都)

令和4年4月29日

学校保健功勞により瑞宝双光章

杉田 幸雄 先生(宮崎)

令和4年4月29日

保健衛生功勞により旭日双光章

和田 徹也 先生(日向)

## 九州医師会連合会第399回常任委員会

と き 令和4年5月20日(金)

ところ 九州各県医師会 (TV会議)

### 1 開 会

### 2 挨 拶

### 3 協 議

#### 1) 日本医師会次期会長候補者の推薦について (沖縄)

沖縄県をはじめ九州各県医師会が入手した情報などをふまえ現日本医師会松本吉郎常任理事を推薦することが承認された。

#### 2) 九州ブロックからの日医常任理事推薦について (沖縄)

すでに推薦を決定している鹿児島県の今村英仁先生を日本医師会次期会長候補者の松本吉郎先生のキャビネットに含めていた

だくよう依頼することが承認された。

### 4 その他

#### 1) 九州ブロック次期日医代議員連絡会議・懇親会 (6月24日(金)・東京) の開催方法について (沖縄)

連絡会議は開催することとし、懇親会については、新型コロナウイルス感染症の今後の状況などをふまえ、次の常任委員会で結論を出すことが承認された。

### 5 閉 会

出席者－河野会長, 竹崎事務局長

## ご 案 内

## 宮崎県医師会親善ゴルフ大会

県医親善ゴルフ大会を本年は下記の日程で開催いたします。ぜひ会員の先生方お誘い合わせのうえ、ご参加いただきますようお願いいたします。

なお、開催案内は別途お送りいたします。

と き 令和4年11月3日 (木・祝)

ところ ハイビスカスゴルフクラブ

宮崎市佐土原町大字下田島21085-1

※新型コロナウイルス感染症の蔓延状況により中止となる場合もございます。  
あらかじめご了承ください。

(担当 総務課)

## 九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期会長合同会議

と き 令和4年6月4日(土)

ところ 九州各県医師会 (TV会議)

### 1 開 会

### 2 挨拶

#### 1) 九州医師会連合会長(沖縄県安里会長)

(要旨) 本日の会議をもっておおむね九医連の会議を終了し、残すは6月下旬に東京で開催する会議のみとなった。新型コロナウイルス感染症の流行下という特殊事情の中で、九州各県の先生方をお迎えして現地開催することができず大変心残りであるが、九医連諸行事の円滑な運営にご協力いただき感謝したい。

その後、次期大分県医師会会長に就任される河野幸治先生が挨拶を行い報告に入った。

### 3 報 告

#### 1) 九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期日医代議員協議会、九州ブロック日医代議員(含・次期)連絡会議(6月4日(土))について(沖縄)

九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期日医代議員協議会は「中止」、九州ブロック日医代議員(含・次期)連絡会議は「資料配布を以て開催」する旨の報告が行われた。

#### 2) 春の叙勲等受章者に対する慶祝について(沖縄)

日本医師会常任理事の渡邊弘司先生(藍綬褒章)、熊本県医師会理事の宮本憲司朗先生(瑞宝小綬章)、大分県医師会常任理事の田代幹雄先生(旭日双光章)に祝電を贈り祝意を表した旨の報告が行われた。

#### 3) 九州医師会連合会委員・豊田俊明先生のご逝去に伴う弔慰について(沖縄)

弔電、供花をお届けし、弔意を表した旨の報告が行われた。

#### 4) 令和4年度(第44回)九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会会長合同会議(令和4年7月15日(金))の中止について(宮崎)

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、担当する宮崎県行政の判断で「中止」となった旨の報告が行われた。

#### 5) 九州ブロックから推薦する次期日本医師会役員等の候補者について(沖縄)

各県より下記のとおり推薦され、日医選挙管理委員会に立候補届および候補者経歴表を提出し受理されていることを確認した旨の報告が行われた。

##### ① 理 事 2名

長崎県 森崎正幸 会長

大分県 河野幸治 次期会長

##### ② 監 事 1名

宮崎県 河野雅行 会長

##### ③ 裁定委員 1名

熊本県 加来 裕 先生

##### ④ その他(常任理事)

鹿児島県 今村英仁 先生

#### 6) 令和4年度・5年度における日本医師会代議員会の諸委員について(沖縄)

各県より下記のとおり推薦され、日医に推薦した旨の報告が行われた。

##### ① 議事運営委員 1名

福岡県 蓮澤浩明 会長

##### ② 財務委員 2名

鹿児島県 牧角寛郎 先生

沖縄県 宮里達也 先生

## 4 協 議

## 1) 九州医師会連合会第400回常任委員会(7月9日(土))の開催について(大分)

九医連の担当が沖縄県から大分県に代わり初めての会議となるが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、九州医連連絡会第32回常任執行委員会を含めTV会議で開催することが承認された。

## 2) 九州医師会連合会第402回常任委員会並びに第123回定例委員総会(8月27日(土))の開催について(大分)

新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては開催方法を変更する必要があることを確認したうえで、大分市のホテル日航大分オアシスタワーで16時から開催することが承認された。

## 3) 九州医師会連合会第403回常任委員会並びに第1回各種協議会(10月1日(土))の開催について(大分)

新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては開催方法を変更する必要があることを確認したうえで、大分市のホテル日航大分オアシスタワーで16時から開催することが承認された。

## 4) 第152回日医臨時代議員会(6月26日(日))における九州ブロック代表質問について(沖縄)

以下の3題を提出することが承認された。

「外来感染対策向上加算の算定について」

長崎県 釣船崇仁 代議員

「ジェネリック医薬品について」

福岡県 松浦 弘 代議員

「診療報酬改定について」

福岡県 菊池仁志 代議員

## 5) 日本医師会次期役員等候補者の都道府県医師会選出日医代議員への文書による協力依頼等について(沖縄)

推薦書の内容を確認したうえで、都道府

県医師会長、日本医師会代議員、日本医師会予備代議員、十四大都市医師会長あてに送付することが承認された。

## 6) 松本吉郎先生キャビネット支援依頼について(沖縄)

副会長候補3名、常任理事候補10名を確認したうえで、全員の当選に向け取り組むことが承認された。

## 7) 選対本部に対する陣中見舞いについて(沖縄)

各県10万円と九医連20万円の合計100万円を松本吉郎日医会長候補選対本部に贈ることが承認された。

## 8) 九州ブロック次期日医代議員連絡会議・懇親会(6月24日(金)・東京)の開催方法について(沖縄)

連絡協議会は時間を繰り下げて現地で開催するが、懇親会は見送ることが承認された。

## 9) 九州ブロック日医代議員連絡会議(6月25日(土)・26日(日)・東京)について(沖縄)

両日9時から九州ブロック控え室で開催することが承認された。

## 10) 日本医師会女性医師支援・ドクターバンク連携九州ブロック会議の開催について(鹿児島)

11月19日鹿児島県医師会館で開催する方向で準備を進めることが承認された。

## 11) 九州地方社会保険医療協議会委員(臨時委員)の推薦について(福岡)

長崎県、大分県、福岡県の委員が10月13日で任期満了となることから、窓口である福岡県に加え、新たに佐賀県および宮崎県から委員を推薦することが承認された。

## 5 その他

## 6 閉 会

出席者－河野会長、竹崎事務局長

## 宮崎県医師会理事業務分担

(令和4年6月18日～令和6年6月の定例代議員会最終時まで)

◎は主担当, ○は副担当

山村副会長

会 計	◎荒木常任理事○吉田常任理事
地 域 医 療	◎金丸常任理事○池井常任理事・荒木常任理事・市来常任理事・吉田常任理事 石川常任理事・高木常任理事・嶋本常任理事・赤須常任理事・大塚常任理事 吉見常任理事・峰松理事・落合理事・山中理事・河原理事・吉村理事
医 師 確 保 対 策 プライマリ・ケア	◎金丸常任理事○荒木常任理事・池井常任理事・嶋本常任理事・落合理事 ◎玉置理事○金丸常任理事・池井常任理事
在 宅 医 療	◎石川常任理事○吉見常任理事・大塚常任理事・玉置理事
救 急 災 害 医 療	◎落合理事○池井常任理事・嶋本常任理事・赤須常任理事 吉見常任理事・田畑理事・山中理事
へ き 地 医 療	◎金丸常任理事○大塚常任理事・赤須常任理事・吉村理事
共 同 利 用 施 設	◎赤須常任理事○吉見常任理事・市来常任理事
男 女 共 同 参 画	◎上山理事○荒木常任理事・金丸常任理事・大塚常任理事
介 護 保 険	◎石川常任理事○吉見常任理事・荒木常任理事・金丸常任理事・玉置理事 山中理事・河原理事
医 療 関 係 者 対 策 (看護学校)	◎赤須常任理事○吉見常任理事・山中理事・吉村理事
(医療従事者・働き方改革)	◎池井常任理事○赤須常任理事・嶋本常任理事・田畑理事・吉村理事
(医療秘書)	◎池井常任理事○田畑理事・山中理事
情 報 シ ス テ ム	◎荒木常任理事○嶋本常任理事
勤 務 医	◎田畑理事○金丸常任理事・荒木常任理事・池井常任理事・嶋本常任理事 峰松理事・山中理事
公 衆 衛 生	◎吉田常任理事○峰松理事・高木常任理事・嶋本常任理事・大塚常任理事 落合理事
感 染 症 ・ コ ロ ナ	◎吉田常任理事○峰松理事・高木常任理事・嶋本常任理事・大塚常任理事 落合理事
税 制	◎吉村理事○吉田常任理事・玉置理事
日 医 年 金	◎山中理事○吉田常任理事
広 報	◎荒木常任理事○高木常任理事・佐々木理事

河野会長

小牧副会長

総 務	◎市来常任理事○金丸常任理事
学 術 ・ 生 涯 教 育	◎嶋本常任理事○市来常任理事・金丸常任理事・落合理事
医 療 保 険	◎嶋本常任理事○市来常任理事・荒木常任理事・吉田常任理事・金丸常任理事 池井常任理事・石川常任理事・高木常任理事・赤須常任理事・大塚常任理事 吉見常任理事・佐々木理事・玉置理事・上山理事・田畑理事
倫 理 ・ 自 浄 治 (センター長)	◎大塚常任理事○上山理事・佐々木理事 ◎荒木常任理事○嶋本常任理事・田畑理事 ◎市来常任理事
医 事 紛 争 (医療事故調査関連)	◎荒木常任理事○金丸常任理事・山村副会長・市来常任理事・吉田常任理事
(医事紛争・苦情関連)	◎金丸常任理事○市来常任理事・山村副会長・荒木常任理事・吉田常任理事
死 因 究 明 ・ 警 察 協 力	◎玉置理事○市来常任理事・山中理事
健 康 教 育	◎吉見常任理事○大塚常任理事・上山理事・田畑理事・落合理事
ス ポ ー ツ 医 学	◎大塚常任理事○池井常任理事・落合理事・河原理事・吉村理事
環 境 公 害 問 題	◎峰松理事○高木常任理事
予 防 接 種	◎高木常任理事○峰松理事・上山理事
母 子 保 健 ・ 母 体 保 護	◎嶋本常任理事○高木常任理事・峰松理事・上山理事
学 校 保 健	◎高木常任理事○佐々木理事・玉置理事・上山理事
産 業 医	◎吉見常任理事○河原理事・大塚常任理事・吉村理事
会 員 福 祉	◎赤須常任理事○石川常任理事・佐々木理事・吉村理事
有 床 診 療 所	◎佐々木理事○池井常任理事・河原理事
労 災 ・ 自 賠	◎河原理事○赤須常任理事

## 『日医かかりつけ医機能研修制度 令和4年度応用研修会』のご案内

日本医師会主催の標記研修会が下記のとおり3つの日程で開催されます。

本研修会は「日本医師会Web研修システム」によるライブ配信のWeb受講となります。

つきましては、受講をご希望の方は、下記をご確認のうえ、お申し込みをお願いいたします。

### 記

- 1 日 時 ① 令和4年8月7日(日) 10:00～17:15 ※終了しました  
② 令和4年9月18日(日) 10:00～17:15  
③ 令和4年10月30日(日) 10:00～17:15

- 2 受講形式 ①②③ 「日本医師会 Web 研修システム」を使用したWeb受講

### 3 プログラム・開催要綱

宮崎県医師会ホームページに掲載しております。

(右のQRコードからもアクセスできます。)

<http://www.miyazaki.med.or.jp/news-doctor/2022/07/08/7815>



### 4 申込方法

「申込方法と受講の流れ」(県医師会ホームページに掲載)をご確認のうえ、日本医師会Web研修システム(下記)へアクセスしてお申込みください。

#### (1) Web受講申し込み開始日時

◇ 令和4年8月7日分 ※終了しました

◇ 令和4年9月18日分 令和4年8月24日(水) 13:00 (19:00★)～

◇ 令和4年10月30日分 令和4年10月6日(水) 13:00 (19:00★)～

#### (2) Web受講申し込みサイト

<https://seminar.med.or.jp/>

(右のQRコードからもアクセスできます。)



※先着順のため、定員になり次第締切となります。

〔★13:00～の募集で申込者が1,000名に達すると、一時的に応募受付は終了した旨の表示になりますが、19:00になると残り1,000名分の応募受付が再び可能になります。〕

### 5 留意事項

- 1) 「日医かかりつけ医機能研修制度」においては、応用研修10単位の取得が必要です。本研修会を1日受講されると応用研修会の必修項目である6単位のすべてを取得できます。
- 2) 一部受講が可能です。受講した講義の単位が付与されます。ただし、遅れての入室・講義中の退出をした講義は単位が認められません。
- 3) Web受講に関する当日の問い合わせは、日本医師会にご連絡をお願いいたします。

## 日医インターネットニュースから

### ■サル痘発生に備え、治療薬等対応を準備 — 厚労省、部会に報告 —

厚生労働省は6月29日に開いた厚生科学審議会・感染症部会（部会長＝脇田隆字・国立感染症研究所長）で、国際的に感染が広がるサル痘が日本で発生した場合に備えて、治療薬・ワクチンで対応できる体制を整えていく方向性を示した。

●テコビリマット、NCGMで臨床研究を開始  
治療薬については、米製薬会社SIGAテクノロジーズの抗ウイルス薬テコビリマット（製品名「ティーボックス」）を用いた特定臨床研究が28日、国立国際医療研究センター（NCGM）で始まった。テコビリマットは米欧では医薬品として承認されているが、日本では未承認だ。

特定臨床研究は厚生労働科学研究の枠組みで実施。サル痘か天然痘と診断された患者に対してテコビリマットを14日間投与し、非投与の患者と比較して、治療効果や安全性を検討する計画となっている。関東周辺以外で患者が発生する場合も想定し、厚労省は人口が多い大都市圏を中心に、この研究への参加施設の追加を検討する構えだ。

●「暴露前接種」の臨床研究を準備

ワクチンは、KMバイオリジクスの乾燥細胞培養痘そうワクチンLC16「KMB」を想定している。LC16は、サル痘に対するWHOのワクチン接種のガイダンス（暫定）で推奨対象となっている。

ただ現時点で、LC16は天然痘予防の適応はあるが、サル痘予防の適応は認められていない。厚労省は部会で、サル痘予防の適応の承認取得に向け、KMバイオリジクスに働き掛けていると説明した。

さらに厚労省は、NCGMの医療従事者らを対象に、臨床研究として「暴露前」のLC16接種を準備していると報告。今後の必要性に応じ

て、接触リスクの高い人のうち、希望する人への暴露前接種も検討するとした。「接触リスクの高い」人としては、▽患者の入院を担当することが想定される特定の医療従事者▽地方衛生研究所などで検査に関わることが想定される担当者▽患者搬送や疫学調査などで患者に接することが見込まれる保健所職員－を例として挙げた。

釜范敏委員（日本医師会常任理事）は、厚労省が示した暴露前接種の対象者に「特段反対はない」とした上で、もしサル痘の重症度がそれほど大きくなければ、ここまで対象者を広げない選択肢もあり得るとの認識を示した。

（令和4年7月1日）

### ■自見氏、厚労関係で党内トップ — 参院選、組織内候補は4人当選 —

第26回参院選の投開票が7月10日に行われ、比例代表では日本医師連盟の組織内候補で自民党現職の自見英子氏が21万3369票を獲得し、再選を果たした。自見氏の得票数は自民党内の厚生労働関係当選者ではトップで、全体でも党内8位となった。得票数は組織の発言力に直結するとされており、2024年度のトリプル改定など医療分野の課題が山積している中で、存在感を示した。各団体の組織内候補は4人が当選した。

自見氏は初当選を飾った16年参院選で21万562票を獲得、党内順位は9位で、今回は得票数、党内順位ともに16年を上回った。今回は特定枠が設定された上に、自民党の獲得議席は19年参院選よりも1少ない18議席で、「狭き門」を突破した。19年参院選では、自見氏と同じ日医連組織内候補で現職の羽生田俊氏が再選したが、得票数は15万2807票で党内順位は16位。今回はいずれも上回った。

自見氏は当初、新型コロナウイルス感染症の影響や、公示後に日本医師会の役員改選が行わ

れたこともあり、出遅れも懸念されていた。日医連の組織戦に加えて、日本柔道整復師連盟、日本臨床工学技士連盟などの支持も受け、票を積み重ねた。街頭演説では医療政策のほか、子ども・子育て政策の実績も訴え、医療関係者以外にも浸透を図った。（令和4年7月15日）

## ■日医・健保連、かかりつけ医の見解相違 — 厚生省・検討会 —

政府内で論点に浮上している「かかりつけ医機能」を巡り、厚生労働省は7月20日の「第8次医療計画等に関する検討会」（座長＝遠藤久夫・学習院大教授）で、本格的な議論をスタートさせた。

日本医師会はかかりつけ医機能について、平時と有事で区別すべきだとし、平時は現状でも発揮されていると主張。健保連は平時でも有事でも、かかりつけ医機能が不明確だと問題視し、改善策が必要との立場を示した。

政府は6月に決定した「骨太の方針」で、「かかりつけ医機能が発揮される制度整備を行う」と明記。昨年末の改革工程表では、かかりつけ医機能が発揮されるための具体的方策を2022～23年度に検討する流れになっている。こうした背景も踏まえて厚生労働省は検討会で、かかりつけ医機能について▽コロナ禍での課題▽強化が必要な理由▽現状の課題－を論点として示し、キックオフの議論を求めた。

### ●「有事のみ取り上げて論じることは危険」

江澤和彦構成員（日医常任理事）は、コロナ禍で「必ずしもかかりつけ医機能の発揮が十分ではなかった」と認める一方、全国のかかりつけ医は発熱外来の対応や、宿泊療養者への支援

などに当たったと説明。「コロナ禍の有事の事態のみを取り上げて、かかりつけ医機能を論じることは危険であり、平時と有事で区別して考えるべき」だと提言した。平時は各地域でかかりつけ医機能が発揮されているとした上で、あらためて地域の課題を精査し、必要に応じて見直すことはあり得るとの認識を表明。新たな見直しとしては、紹介受診重点医療機関と連携するかかりつけ医の機能の在り方、平時からのかかりつけ医による高齢者施設との連携強化などが想定されるとした。

一方、河本滋史構成員（健保連専務理事）は、今回のコロナ禍で「かかりつけ医って何なのか」という声が国民から湧き起こった」と問題視。「平時、有事のいずれも、国民から見て頼りになるかかりつけ医、かかりつけ医機能を担う医療機関の姿は不明確」だとし、かかりつけ医機能を制度で明確化し、「見える化」する必要があるとの姿勢を見せた。さらに、かかりつけ医機能を持つ医師や医療機関を国民が探せるようにするため、検索システムなどの「インフラ」整備が必要だとの認識を示した。

検討会では、かかりつけ医機能とともに、次期外来医療計画もテーマになった。厚生労働省は次期計画について、紹介受診重点医療機関の医療機関名、医療資源を重点的に活用する外来の実施状況の記載を求める方向性などを示した。

田中滋座長代理（埼玉県立大理事長）は、「医療資源を重点的に活用する外来」との表現を用いると、そうでない医療機関は「レベルが低いとの誤解を一般住民に与えかねない」と懸念を示し、国民への適切な説明の必要性を指摘した。（令和4年7月22日）

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会（<http://www.med.or.jp/>）>メンバーズ>日医インターネットニュース

### メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の下2桁，月2桁，日2桁」の6桁の数字（半角）

## 医師協同組合だより

## 宮崎県医師協同組合 第38回通常総代会 理事会

と き 令和4年6月18日(土)

ところ 県 医 師 会 館

山村副理事長の開会宣言後、議長選任を諮ったところ、内村大介議長が選任された。内村議長から、総代の定数および出席総代と書面議決、委任状による出席の確認が行われ、定款に基づき通常総代会の成立を宣言した。

続いて、河野理事長挨拶の後、議事に入り、総代会に上程された6議案についての審議が行われ、議長採決の結果、議案第1号から6号までの議案すべてについて、賛成全員で承認可決された。

#### 議案第1号 令和3年度事業報告、決算及び剰余金処分案の承認を求める件

小牧専務理事から事業報告として、共同購買事業は特に大きな医療機器の購入がなく、購買全体では前年度実績を下回る前年度比71.1%となり、カード取扱事業は年間を通してコロナ禍による売上減で、手数料は前年度比99.2%となった。斡旋・集金事業はマンション12件の斡旋手数料があり、前年度比144.8%、保険事業は好調な損害保険が過去最高額となる前年度比103.2%で、生命保険はコロナ禍による面談自粛などの中、健闘して前年度比109.4%となった。

引き続き、吉田副理事長から決算として、財産目録、貸借対照表、損益計算書の中で、購買売上高で前年度マイナス1億400万、斡旋集金収益で前年度480万増、保険収益で前年度320万増となったが、一般管理費についても前年度400

万増となり、増収・増益で当期純利益は当初予算を上回る31,369,288円となった。その他、資産合計636,719,926円、前期繰越剰余金54,247,101円、当期末処分剰余金85,616,389円などの説明の後、剰余金処分案について説明が行われ、次いで宮田監事から監査報告が行われた。

#### 議案第2号 令和4年度事業計画及び収支予算案の承認を求める件

小牧専務理事から事業計画について、各医療機関などとの連携強化をはじめとする重点施策の下、業績の堅調な損害保険、マンション斡旋事業の他、BMW、ベンツなどの外車の割引販売なども含め積極的に取り組んでいく。また、ドクターバンク事業では、県内のみならず、県外からの求職申し出の拡大、医業経営支援では、事業承継について強化して取り組んでいくとの説明があった。また、吉田副理事長から予算について、カード取扱収益、斡旋集金収益、保険収益などを含めて、税引前当期純利益は前年度より減の3,029万円を見込んでいることが説明された。

#### 議案第3号 借入金残高最高限度額決定の件

#### 議案第4号 役員報酬決定の件

上記2議案は一括審議され、吉田副理事長から、議案第3号は、借入金残高最高限度額1,000万円とする提案。議案第4号は、役員報酬を予算の範囲内で、理事8名分で299万円、監事2

名分で16万円とすることが提案された。

#### 議案第5号 役員（理事・監事）改選の件

内村議長から、現在の理事8名、監事2名の役員全員が任期満了となり、定款により役員は総代会において選挙するが、出席者全員の同意があるときは、定款に基づき指名推選の方法により行うことができる旨説明があり、全員賛成により、選挙方法は指名推選、選考委員の選出方法は議長一任となった。内村議長から、選考委員は出席総代全員にお願いされ、理事に河野

雅行・小牧齋・吉田建世・中山健・市来能成・赤須郁太郎・大塚康二郎・吉村雄樹理事、監事には桑原正知・宮田純一監事が指名され、全員が当選となった。

#### 議案第6号 役員退任慰労金決定の件

吉田副理事長から、役員退任慰労金規定に基づき、退任役員に慰労金を支給することが提案された。

最後に、河野理事長から謝辞があり、内村議長が閉会を宣言し、第38回通常総代会を終了した。

#### 出席総代（48名）

牛 谷 義 秀	尾 田 朋 樹	金 丸 禮 三	楠 元 直
神 尊 敏 彦	高 村 一 志	中 山 健	成 田 博 実
原 田 雄 一	弘 野 修 一	河 野 雅 行	山 村 善 教
小 牧 齋	市 来 能 成	石 川 智 信	高 木 純 一
佐々木 究	玉 置 昇	上 山 貴 子	河 原 勝 博
桑 原 正 知	篠 原 立 大	遠 藤 豊	菊 池 安 剛
田 口 利 文	檜 原 進一郎	伊 達 晴 彦	瀬ノ口 洋 史
田 中 穰 弐	濱 田 圭 一	西 浦 勇一郎	佐 藤 信 博
平 野 雅 弘	吉 田 建 世	赤 須 郁太郎	宮 田 純 一
千代反田 晋	今給黎 承	松 岡 敬 子	山 中 聡
松 本 英 裕	中 村 彰 伸	河 野 秀 一	内 村 大 介
園 田 定 彦	池 井 義 彦	吉 村 雄 樹	井 尻 裕 司

引き続き、次期役員に指名・当選された理事8名、監事2名の出席により、宮崎県医師協同組合理事会が小牧理事の司会により開催され、理事会に上程された議案についての審議が行われ、賛成全員で承認可決された。

#### 議案第1号 代表理事、副理事長及び専務理事選任の件

河野雅行代表理事（理事長）、吉田建世・小牧齋副理事長、市来能成専務理事がそれぞれ選任され、被選任者はいずれもその就任を承諾した。

## 医師国保組合だより

### 保健事業のご案内

実施期限：令和5年3月末日 請求期限：令和5年5月19日（必着）

1	健康診断（無料）	5	肺炎球菌ワクチン接種補助
2	胃・大腸内視鏡検査の補助	6	乳がん検診（マンモグラフィ検査）の補助
3	低線量ヘリカルCT肺がん検診（無料）	7	歯科健康診査（無料）
4	脳ドックなどの補助		

#### ●特定健診

健康診断個人票（黄色）の必須検査項目（★）は必ず実施してください。

対象者は年度中に40歳～74歳になる方です。自家健診で実施した場合も実績となります。

すでに健診を受けられた方は、健康診断個人票に記入・押印のうえ、健診結果のコピーを添付して提出してください。（結果の転記は不要）

#### ●特定保健指導

特定健診受診者のうち、特定保健指導対象者には「特定保健指導利用券（無料）」をお送りしています。利用券が届いた方は保健指導を受けてください。

#### ●宮崎市郡医師会病院健診センターにて日曜日に集団健診を実施しています。

ご予約は当組合へ（☎0985-22-6588）

Web申込もできます！⇒



年	月 日	集団健診 (定員各30名)	オプション		
			胃内視鏡 検査 (定員各5名)	低線量ヘリカルCT 肺がん検診 (定員各5名)	マンモグラフィ 検査 (定員若干名)
令和4年	10月23日	○	×	×	○
	11月27日	○	×	×	○
	12月11日	○	△	×	○
令和5年	1月22日	○	△	△	○
	2月19日	○	×	△	○
	3月5日	○	△	○	×
	3月12日	○	○	○	×

(令和4年7月8日現在) ○：予約可, △：間もなく定員, ×：予約不可

#### <所得調査実施のお知らせ>

この度、厚生労働省からの通知により「令和4年度における国民健康保険組合の被保険者に係る課税標準額の調査（所得調査）」を全ての保険者が実施することとなりました。つきましては、マイナンバーを利用した情報連携により、調査対象となる被保険者の課税標準額を取得する方法で調査を行いますので、ご承知いただきますようお願い申し上げます。

#### <健康保険適用除外申請の手続きについて>

事業所が法人化する等の場合は、社会保険（健康保険と厚生年金）が強制適用となりますが、医師国保にすでに加入中の方は、年金事務所から健康保険適用除外の承認を受けることにより、引き続き医師国保に残ることができます。

健康保険の適用除外承認申請が必要になったときは、事実の発生した日から必ず14日以内に年金事務所に届け出なければなりませんので、まずは当組合までお問い合わせください。

（問合せ先）宮崎県医師国民健康保険組合

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL：0985-22-6588 FAX：0985-27-6550

※各種申請書は、当組合Webサイトからダウンロードできます。

<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

## 宮崎県医師会メーリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA通信」と「MMA交流（会員交流用）」の2本立てでのメーリングリストの運用をしています。

### ◆MMA通信

目的：県医師会から会員への情報提供（各種通知文書、研修会の案内など）

対象：会員本人，医療機関代表のアドレスなど

### ◆MMA交流

目的：会員同士の意見交換，会員からの情報提供

対象：会員本人のみ

### ◆登録方法について

県医師会事務局宛 [office@miyazaki.med.or.jp](mailto:office@miyazaki.med.or.jp)にメールを送信してください。

折り返し，事務局から登録に関するメールを送信いたします。

災害が発生した場合，情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。  
まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

お問い合わせ先：宮崎県医師会 学術広報課  
TEL 0985-22-5118

## お知らせ

# 令和4年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を宮崎学園短期大学に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し、医療事務に必要な知識、最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに、医療機関の今日的な使命を自覚し、誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも力を入れております。

日本医師会認定「医療秘書」の資格を取得していると、医師事務作業補助者になるための「32時間以上の基礎知識習得研修が免除」されるという大きなメリットがあります。

つきましては、本学院では皆様のお役に立てる質の高い医療秘書の養成に向けてより一層努力してまいり所存ですので、会員諸先生方におかれましては、今年度、医療事務職員採用のご予定がございましたら、なにとぞ、**宮崎学園短期大学**よりご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせなどにつきましては、直接担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

【就職希望者】 12名（男0名，女12名）

【連絡先】 〒889-1605

宮崎市清武町加納丙1415番地

TEL：0985-85-0146

現代ビジネス科 教授 黒野 伸子

准教授 武村 順子



令和4年6月7日(火) 第2回理事会

医師会関係  
(議決事項)

議案第1号

令和3年度宮崎県医師会事業報告に関する件

事業報告書案に基づき説明が行われ、変更項目などの確認を行った後、審議の結果、軽微な変更は河野会長に一任することとしたうえで、原案どおり可決承認された。

議案第2号

令和3年度宮崎県医師会収支決算に関する件

令和3年度収支決算の説明が行われた後、財務三基準の収支相償は2段階の基準を満たし、公益目的事業比率、遊休財産額も基準をクリアしているとの説明が行われた。

その後、「5月27日に法人運営と財務会計の監査を行い、関係書類も整備され適正妥当である」との監査報告があり、審議の結果、原案どおり可決承認された。

議案第3号

令和5年度宮崎県医師会会費賦課徴収に関する件

令和4年度と同様に会費賦課徴収規程などにより徴収することが可決承認された。

(報告事項)

1. 令和3年度 資金運用結果について

令和4年6月7日(火) 第3回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 県医師連盟執行委員の推薦について

県医師会の次期役員を中心に20名を推薦することが承認された。

2. 役員等の退任に係る役員退任慰労金の支給について

県医師会役員等の報酬等規程および表彰並びに慶弔に関する内規に基づき、9名の退任役員等に慰労金を支給することが承認された。

3. 役員等報酬支給について

県医師会役員等の報酬等規程に基づき、28名の役員等に報酬を支給することが承認された。

4. 職員の夏季手当支給について

県医師会職員給与規程等に基づき、宮崎県人事委員会の勧告および決算等諸状況を参考に、19名の職員に期末・勤勉手当を支給することが承認された。

5. 管理職調整手当(令和4年6月)の支給について

管理職調整手当の支給に関する規程に基づき、期末・勤勉手当にあわせて5名の職員に支給することが承認された。

6. 6/18(土)(県医)第176回定例代議員会及び第177回臨時代議員会等について

当日の進行や役割分担、提出議題などが承認された。

7. 業務委託について

①令和4年度自殺対策に係る人材育成研修業務の委託契約について

→自殺のハイリスク要因であるうつ病や自殺未遂などについて医師や医療従事者を対象とした専門研修を行う事業で、委託契約を締結することが承認された。

- ②令和4年度新型コロナ自宅療養者への健康観察体制確保業務の委託契約について  
→5月24日の全理事協議会で承認された委託契約について、4月の自宅療養者が想定より多かったため、委託料の支払回数を2回から3回に増やし6月に支払いを受けるための変更契約を締結することが承認された。なお、6月以降に再度委託料増額のための変更契約を行う予定である。
- ③令和4年度医療従事者確保のための救急医療利用適正化推進事業（小児救急医療）の委託契約について  
→小児救急医療の適正利用に係る啓発や小児救急電話相談の利用を促進するために県民向けの啓発を行う事業で、契約を締結することが承認された。
- ④令和4年度ロコモ予防運動推進事業の委託契約について  
→「健康長寿社会」の実現のため、ロコモティブシンドローム予防のための関係機関による対策協議会の運営や県民に対する啓発などを行う事業で、委託契約を締結することが承認された。
8. 令和4年度宮崎県立看護大学県内医療機関合同就職説明会について  
県立看護大学が学生に対する就職支援として県内の医療機関の情報をより多く得る機会を設けることを目的に開催する説明会で、医療機関への周知に協力することが承認された。
- (報告事項)
1. 週間報告について
  2. 5月末日現在の会員数について
  3. 6/4(土) (県医) 九医連常任委員・次期会長合同会議について
  4. 6/5(日) (東京) 松本吉郎日医会長候補選挙対策本部事務所開きについて
  5. 6/6(月) 県がん診療連携協議会について
  6. 6/7(火) (県医) 県学校保健会理事・評議員会について
  7. 6/7(火) (県医) 県学校保健・学校安全に係る表彰審査会について
  8. 6/1(水) (県婦人会館) 県移植推進財団理事会について
  9. 6/1(水) (県医) HPVワクチン接種体制についての大学及び県との協議について
  10. 6/6(月) (県医) 医療事故調査支援委員会常任委員会について
  11. 6/2(木) (県医) 医療安全対策 (Web) セミナーについて
  12. 6/7(火) (県医) 治験審査委員会について
  13. 6/1(水) (都城市) 都城北諸県地域医療構想調整会議について
  14. 6/4(土) (シーガイア) 日本介護支援専門員協会全国大会inみやざきについて
  15. 6/3(金) (県医) 学校医部会理事・評議員会について
  16. 5/25(水) (宮崎労働局) 労災診療指導委員会について
  17. 6/3(金) 日本医学会総会第2回地域別会合について
  18. 5/19(木) (宮大) 宮大医学部認定再生医療等委員会について
  19. 5/31(火) (県庁) 県死因究明等推進協議会について
- 医師連盟関係  
(議決事項)
1. 6/18(土) (県医) 県医師連盟執行委員会について  
提出議題や当日の進行、役割分担を確認し開催することが承認された。
  2. 令和3年度県医師連盟会務報告について  
新型コロナウイルス感染症の影響により全体的に活動が縮小される中、要望活動や衆議院議員選挙に対応したことを報告、承認され、6月18日に開催される執行委員会に上程することとなった。

**3. 令和3年度県医師連盟収支決算について**

収入合計3,003万6,750円、支出合計、2,930万3,810円、次期繰越金4,531万8,029円からなる決算が承認され、6月18日に開催される執行委員会に上程することとなった。

**4. 第26回参議院議員通常選挙の対応方針について**

日医連、郡市医師連盟と一致団結し、サポーター名簿やLINE登録者の獲得、会員に対し電話や諸会議などで医政活動や今回の選挙の重要性を伝えるなどの活動をしていく方針が承認された。

**(報告事項)****1. 6/5(日) (シーガイア) 参議院議員松下新平 国政報告会について**

令和4年6月14日(火) 第6回常任理事協議会

**医師会関係****(議決事項)****1. 本会外の役員等の推薦について**

①宮崎県総合計画審議会委員の委嘱について  
→県の総合計画などを調査審議するための審議会委員の任期満了にともなう委嘱依頼があり、引き続き河野会長を委員とすることが承認された。

**2. 後援・共催名義等使用許可について**

①10/15(土) (高千穂町) 第62回県精神保健福祉大会の後援について  
→県民の心身の健康の保持増進や地域社会における精神保健福祉の一層の向上を図ることを目的に「それぞれ できることを すこしずつ」をテーマに開催される大会で、名義後援を行うことが承認された。

②10/29(土)・30(日) (熊本市) 第11回九州在宅医療推進フォーラム開催in熊本のご後援のお願い  
→「在宅医療の未来を拓く」をテーマに

熊本市で開催される研修会で、名義後援を行うことが承認された。

**3. 産科医療功労者の厚生労働大臣表彰候補者の推薦について**

多年にわたり地域のお産を支え、産科医療の推進に貢献してきた産科医・団体などに贈られる表彰で、病院1件を推薦することが承認された。

**4. 令和4年度救急医療功労者の厚生労働大臣表彰候補者の推薦について**

多年にわたり地域の救急医療の確保、救急医療対策の推進に貢献してきた医師などに贈られる表彰で、1名を推薦することが承認された。

**5. 令和4年度救急医療功労者の知事表彰候補者の推薦について**

救急医療対策の推進など、救急医療の確保に貢献した医師などに贈られる表彰で3名を推薦することが承認された。

**6. 7/9(土) 九州医師会連合会第400回常任委員会の開催について**

河野会長が出席することが承認され、議題があれば事務局経由で会長に提出し、取扱いについては会長に一任することが承認された。

**7. 10/1(土) (大分市) 九州医師会連合会令和4年度第1回各種協議会の開催種目について**

希望する開催種目(協議内容)があれば事務局経由で会長に提出し、取扱いについては会長に一任することが承認された。

**(報告事項)****1. 6/8(水) (支払基金) 支払基金支部運営委員会について****2. 6/8(水) (県医) 県アイバンク協会理事会について****3. 6/8(水) (県防災庁舎) 県保険者協議会について****4. 6/8(水) (県医) 新型コロナ罹患後症状への対応についての打合せについて**

5. 6/13(月) (県医) 広報委員会について
6. 6/10(金) (宮大医学部) 宮大医学部附属病院  
マッチング説明会&県内基幹型臨床研修病  
院説明会について
7. 6/14(火) (県医) 移行期医療支援センターに  
関する県との協議について
8. 6/12(日) (宮崎市民プラザ) 令和4年度看護  
進路相談会について

#### 医師連盟関係

##### (議決事項)

1. 7/9(土) 九州医連連絡会第32回常任執行  
委員会の開催について

18日(土)に開催される県医連執行委員会で選出される県医連委員長が出席をすることとなった。

2. 6/22(水) (宮崎神宮) 第26回参議院議員選  
挙宮崎選挙区松下新平必勝祈願祭・出陣式  
のご案内

早朝の開催のため事務局対応とすることが承認された。

3. 6/24(金) (東京) 自見はなこ「総決起大会」  
ご協力をお願い

総決起大会翌日の日医代議員会に出席する日医代議員の中から出席者を決めることが承認された。

##### (報告事項)

1. 6/11(土) (宮観ホテル) 古川禎久法務大臣  
国政報告会について
2. 6/7(火) (県医) 各郡市医師連盟委員長と県  
医師連盟役員等との合同会議について

令和4年6月18日(土) 第3回理事会

#### 医師会関係

##### (議決事項)

#### 議案第1号 会長等の選定等に関する件

第175回臨時時代議員会で選出された会長候補者である河野雅行理事を会長に、同じく副会長候補者である山村善教理事と小牧齋理事を副会

長に選定した。

また、常任理事として荒木早苗・市来能成・吉田建世・金丸吉昌・池井義彦・石川智信・高木純一・嶋本富博・赤須郁太郎・大塚康二朗・吉見雅博理事の11名を選定した。

更に、定款第32条3項により、河野会長および山村・小牧副会長を代表理事とし、11名の常任理事を業務執行理事とすること、定款第37条5項の「常任理事の業務」および第6項、7項の「職務代行順位」については、第1号議案資料に示しているとおりとすること承認された。

#### 議案第2号 顧問・名誉会員の委嘱に関する件

顧問2名、名誉会員5名に委嘱することが承認された。

##### (議決事項)

#### 1. 委員会委員の選出について

郡市医師会、専門分科医会、県医師会長推薦および公募などを行いながら7月中に委員を決め、8月には委員会を開催できるよう準備を進めることが承認された。

#### 2. その他

理事協議会の開催について、常任理事協議会のうち1回を全理事協議会に変更し、月に1回の常任理事協議会と月に2回の全理事協議会に変更することが提案され承認された。

令和4年6月28日(火) 第7回常任理事協議会

#### 医師会関係

##### (議決事項)

#### 1. 会費減免申請について

疾病による日医および県医の会費減免申請が2名、高齢による県医会費減免申請が1名ありいずれも承認された。

#### 2. 電子カルテサポート打ち切りに関する賛同書へのご協力について

電子カルテのサポート終了を撤回するようという個人の医療機関が個別のメーカ

一と交渉するための賛同書であり、趣旨は理解できるが県医師会としては賛同しないこととした。

### 3. 本会名誉会員の委嘱について

第177回臨時時代議員会において本会名誉会員を5名に委嘱することが承認されたが、1名がご逝去のため4名に委嘱することが承認された。

### 4. 本会外の役員等の推薦について

①「宮崎県福祉サービス運営適正化委員会」委員の任期満了にともなう委員候補者の推薦について

→福祉サービス利用援助事業の運営監視と、利用者からの苦情解決を目的に設置される委員会委員の任期満了にともなう推薦依頼があり、介護保険担当の石川常任理事を推薦することが承認された。

②「宮崎県高齢者サービス総合調整推進会議」委員の推薦について

→高齢者に係る福祉・保健・医療サービスの調整と総合的推進を図るために設置される会議委員の任期満了にともなう推薦依頼があり、石川常任理事を推薦することが承認された。

③「宮崎県認知症疾患医療センター指定医療機関選考委員会」委員の推薦について

→認知症疾患医療センターの新規指定の公募にともない設置される委員会委員の推薦依頼があり、前回到引き続き石川常任理事と新たに荒木常任理事を推薦することが承認された。

④宮崎県精神科救急医療システム連絡調整委員会における委員の推薦について

→精神科救急医療体制の円滑な運営を図ることを目的として設置される委員会、本会の役員改選にともなう後任の委員の推薦依頼があり、田畑理事を推薦することが承認された。

⑤九州地方社会保険医療協議会委員について  
→保険医療機関などの指定・取消しや保険医の取り消しなどを審議する協議会で、九医連で定められたローテーションにより今期は本県から委員を選出することとなるため、荒木常任理事を候補者として推薦することが承認された。

⑥宮崎県薬事審議会委員の推薦について  
→薬事衛生思想の普及向上や医薬品などの取扱いの適正化を図ることを目的に設置される審議会委員の任期満了にともなう推薦依頼があり、山村副会長を推薦することが承認された。

⑦宮崎県後期高齢者医療広域連合療養費適正化研究会委員の推薦について

→後期高齢者の療養費の適正化について検討する研究会の委員について、任期満了にともない内科2名、整形外科2名の委員の推薦依頼があり、本会役員から石川常任理事と河原理事、残り2名については現委員に再任の方向で意向を確認し、必要があれば専門分科医会に人選をお願いし推薦することが承認された。

⑧宮崎県糖尿病・慢性腎臓病（CKD）対策検討会構成員の推薦について

→県民の人工透析導入を予防し医療費の適正化を図ることを目的に設置される検討会委員の任期満了にともなう推薦依頼があり、引き続き金丸常任理事を推薦することが承認された。

⑨宮崎県慢性腎臓病対策推進会議（Mz-CKDI）委員の推薦について

→CKDの医療連携の具体化を目指した活動を行う会議委員の推薦依頼があり、前回到引き続き池井常任理事を推薦することが承認された。

⑩宮崎県医療審議会委員の推薦について  
→医療を提供する体制の確保に関する重

要事項を調査審議するために設置される審議会で、本会の役員改選にともなう後任の推薦依頼があり、山村副会長を推薦することが承認された。

⑪宮崎県医療介護推進協議会における委員の確認・推薦について

→医療・介護行政を推進していくうえで重要な事項を協議するために設置される協議会で、本会の役員改選にともなう後任の委員の推薦依頼があり、山村副会長を推薦することが承認された。

⑫宮崎県地域医療構想調整会議委員の確認および推薦等について

→地域医療構想について県全体の課題などを協議するために設置される協議会の委員の確認依頼があり、現委員である河野会長と金丸・石川常任理事が引き続き就任することが承認された。

⑬宮崎県アドバンス・ケア・プランニング推進委員会の委員の推薦について

→アドバンス・ケア・プランニングの普及啓発を図るために新たに設置される委員会の委員推薦依頼があり、石川常任理事を推薦することが承認された。

⑭宮崎県新型コロナウイルス感染症対策協議会委員の推薦について

→新型コロナウイルス感染症対策を協議するために設置される協議会で、本会の役員改選にともなう後任の推薦依頼があり、山村副会長を推薦することが承認された。

⑮宮崎県医師国民健康保険組合理事の推薦について

→任期満了にともなう推薦依頼で、山村副会長、石川・高木常任理事、佐々木・玉置・上山・河原理事の7名を推薦することが承認された。

⑯「地域医療構想アドバイザー」の推薦について

→県の地域医療構想の進め方などに助言することを目的とするアドバイザーの任期満了にともなう推薦依頼で、引き続き金丸常任理事と宮崎大学医学部の鈴木斎王先生を推薦することが承認された。

⑰宮崎県生活習慣病検診管理指導協議会委員の推薦について

→専門的な見地から検診医療機関を指導することなどを目的に設置される協議会で、本会の役員改選にともなう後任の推薦依頼があり、県医師会枠として子宮がん部会に嶋本常任理事、乳がん部会に田畑理事、医療従事者枠として子宮がん部会に濱田前副会長を推薦することが承認された。

5. 九州医師会連合会会員数等について

九州医師会連合会会則に従い、九州医師会連合会常任委員として河野会長、委員として山村・小牧副会長、荒木・市来・吉田・金丸・池井常任理事、内村議長を選出することが承認された。また、会員数などについては、事務局で確認のうえ、報告することとなった。

6. 集合契約による感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第15条に基づく調査に関する事務契約について

各医療機関で行う新型コロナウイルスのPCR等検査を行政検査と位置づけ患者負担を公費とするために必要な契約であり、引き続き契約をすることが承認された。

7. 医療法人（診療所）における「持分あり医療法人」の「持分なし医療法人」への移行と事業承継に係るアンケート調査について

現状と課題把握を目的に日医と厚労省が共同で実施するアンケート調査で、対象となる県医師会役員の6名がアンケート調査に協力することが承認された。

8. 業務委託について

- ①令和4年度糖尿病発症予防および糖尿病性腎症重症化予防研修事業に係る業務の委託契約について  
→糖尿病の診断および治療の方針を定める医師を対象とした研修会を開催し、糖尿病連携手帳の活用や二次医療圏ごとの多職種連携体制を構築する事業で、委託契約を締結することが承認された。
- ②令和4年度妊娠等について悩まれている方のための相談援助業務の委託契約の締結について  
→児童虐待を未然に防ぐ目的で、その主な原因とされている予期しない妊娠に対応する相談窓口の設置や関係職種を対象にした研修会などを行う事業で、委託契約を締結することが承認された。
9. 第66回九州ブロック学校保健・学校医大会並びに令和4年度九州学校検診協議会の開催について  
「多様化する社会と子供たちの未来」をテーマに開催される大会などで、河野会長、小牧副会長、高木常任理事がWebで出席することおよび各郡市医師会に案内をすることが承認された。
10. 九州各県医師会学校保健担当理事者会（日本医師会学校保健担当理事との懇談会）並びに令和4年度九州医師会連合会学校医会評議員会の開催について  
九州各県医師会学校保健担当理事者会については、河野会長、小牧副会長、高木常任理事がWebで出席することが承認された。九州医師会連合会学校医会評議員会については書面開催となるが、評議員として河野会長、小牧副会長、高木常任理事を推薦することが承認された。
11. 九州学校検診協議会幹事及び専門委員の推薦について  
任期満了にともなう推薦依頼があり、幹事に小牧副会長、幹事および専門委員に心臓部門は高木常任理事、腎臓部門は宮田監事、成長発育・小児生活習慣病部門は澤田浩武先生、運動器部門は帖佐悦男先生、山口奈美先生を推薦することが承認された。
12. 九州学校検診協議会第1回専門委員会ならびに幹事会について  
心臓部門は高木常任理事、腎臓部門は宮田監事、成長発育・小児生活習慣病部門は澤田浩武先生、運動器部門は帖佐悦男先生がWebで出席することが承認された。
13. 第53回全国学校保健・学校医大会のハイブリッド開催決定のお知らせ  
「子どもたちの『生きる力』を育む」をテーマに開催される大会で、令和6年度に本県担当で開催するため視察を兼ねて河野会長と高木常任理事が現地参加することおよび各郡市医師会に案内をすることが承認された。
14. 令和4年度県立学校医等に係る報酬基準額について  
県立学校の学校医報酬について県教育庁からの基準額の提示があり、提示額どおり承認された。
15. 九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の新規個別指導の実施に係る立会いについて  
1 医療機関を対象に行われる新規個別指導で、大塚常任理事を立会人として派遣することが承認された。
16. 7・8月の行事予定について  
(報告事項)
1. 6/16(木) (宮大) 宮大経営協議会・学長選考会議について
  2. 6/21(火) (県医) 日医理事会について
  3. 6/22(水) (県婦人会館) 県移植推進財団定時評議員会について
  4. 6/25(土)・26(日) (日医) 日医代議員会について
  5. 6/23(木) (県庁) 社会保険医療担当者の新規

## 個別指導について

6. 6/20(月) (県医) 広報委員会について
7. 6/18(土) (県医) 県医代議員会・総会について
8. 6/27(月) (宮大医学部) 宮大医学部地域枠・地域特別枠・地域貢献枠全体ミーティングについて
9. 6/23(木) (宮大) 医師の働き方改革についての意見交換について
10. 6/25(土) (県医) 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会総会・全体研修会について
11. 6/28(火) (九州厚生局宮崎事務所) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について

## 医師連盟関係

## (議決事項)

## 1. 九州医連連絡会の役員について

九州医連連絡会規約に従い、常任執行委員として本県医師連盟の河野委員長、執行委員として九州医師会連合会委員である山村・小牧・荒木・市来・吉田・池井・内村委員を選出することが承認された。

## 2. 6/30(木) (松下新平宮崎事務所) 合同選挙

## 対策会議のご案内について

事務局対応とすることが承認された。

## 3. 7/19(火) 執行委員会(テレビ会議)開催について

河野委員長と吉田常任執行委員の出席が承認された。

## 4. 令和5年度国・県に対する政策・予算等要望について

役員に照会の結果、「新型コロナウイルス感染症対策について」をはじめ国に9項目、県に11項目の要望を提出することおよび7月22日(金)のヒアリングには河野委員長、山村・小牧常任執行委員が対応することが確認された。

## (報告事項)

## 1. 6/17(金) (松下新平宮崎事務所) 松下候補陣中見舞いについて

## 2. 6/18(土) (県医) 県医連執行委員会について

## 3. 6/24(金) (東京) 自見はなこ「総決起大会」について

## お知らせ

## 地球温暖化防止対策(クールビズ)の実施について

宮崎県医師会では、地球温暖化防止に向けて、5月1日から10月31日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装(クールビズ)の実践に取り組みます。

会議などの場合でも軽装(ノーネクタイ・半袖など)で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

# 県 医 の 動 き

(7月)

1	県難病対策協議会（金丸常任理事）	19	医協理事・運営委員合同協議会（河野理事長他） 第4回全理事協議会（会長他）
4	園医部会理事会（Web会議）（高木常任理事）	20	九州学校検診協議会専門委員会（心臓部門） （Web会議）（高木常任理事）
5	治験審査委員会（Web会議）（荒木常任理事他） 第8回常任理事協議会（会長他）	21	社会保険医療担当者の新規個別指導 （大塚常任理事） 広報委員会（Web会議）（荒木常任理事他） 医師国保組合通常組合同会（秦理事長他） 医師国保組合理事会
6	県医療審議会／医療介護推進協議会（会長他） 県HPVワクチン接種後有症状時相談体制・医療体制の説明会（Web会議）（高木常任理事他）	22	県国保連合会理事会 県国保連合会総会 自民党県連国・県に対する政策・予算等要望 ヒアリング（河野委員長他）
7	医師国保組合理事会（秦理事長他）	23	県整形外科医会評議員会 県外科医会理事会 県整形外科医会総会 県外科医会総会 労災部会総会（Web会議） 県外科医会・県整形外科医会・労災部会合同 学会（Web会議） 県整形外科医会理事会
8	県新型コロナウイルス感染症対策協議会 （山村副会長他）	24	人体シミュレータを用いた在宅医療研修会 （石川常任理事）
9	九医連常任委員会（Web会議）（会長） 九州医連連絡会常任執行委員会（Web会議） （河野委員長） 産業医研修会（実地）（大塚常任理事） 県専門研修プログラム合同説明会 （金丸常任理事）	25	県個人情報保護審議会（荒木常任理事）
10	（参議院議員選挙投票日） （福岡）レジナビフェア 参議院議員選挙開票速報会（河野委員長）	26	日医監事会（Web会議）（会長） 日医理事打合会（Web会議）（会長） 日医理事会（Web会議）（会長） 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 （嶋本常任理事） 県認知症疾患医療センター指定医療機関選考 委員会（荒木常任理事他）
11	広報委員会（Web会議）（荒木常任理事他） 県糖尿病対策推進会議幹事会（会長他）	27	労災診療指導委員会（赤須常任理事他）
12	第9回常任理事協議会（会長他） 九州学校検診協議会専門委員会（成長発育・ 小児生活習慣病等部門）（Web会議）	28	勤務医部会理事会（嶋本常任理事他）
13	九州学校検診協議会専門委員会（腎臓部門） （Web会議）（宮田監事） 県内科医会理事会（金丸常任理事） 宮崎市と県産婦人科医会とのHPVワクチンに 関する意見交換会	30	九医連常任委員会（Web会議）（会長） 九州学校検診協議会幹事会（Web会議）（会長他） 九州各県学校保健担当理事者会（Web会議） （会長他）
14	県産婦人科医会常任理事会（Web会議） （嶋本常任理事他） 臨床検査精度管理調査実行委員会（Web会議）	31	九州ブロック学校保健・学校医大会／九州学 校検診協議会（高木常任理事他）
17	（福岡）横倉義武先生旭日大綬章受章記念祝賀 会（会長）		
19	日医連執行委員会（Web会議）（河野委員長他） 医協理事会（河野理事長他） 九州学校検診協議会専門委員会（運動器部門） （Web会議）		

# ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和4年7月1日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み・お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

## 1. 求職者登録数 12人

### 1) 男性医師求職登録数 9人 (人)

希望診療科目	求職数	常 勤	非常勤
内 科	7	6	1
精 神 科	1	1	0
老 健	1	0	1

### 2) 女性医師求職登録数 3人 (人)

希望診療科目	求職数	常 勤	非常勤
内 科	2	0	2
検 診	1	0	1

## 2. 斡旋成立件数 86人 (人)

	男性医師	女性医師	合 計
令 和 4 年 度	1	0	1
平成16年度から累計	62	24	86

## 3. 求人登録 83件 297人 (人)

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
内 科	79	65	14	消 化 器 外 科	3	2	1
外 科	24	20	4	乳 腺 外 科	3	3	0
整 形 外 科	30	23	7	健 診	3	2	1
精 神 科	9	8	1	泌 尿 器 科	5	3	2
脳 神 経 外 科	10	6	4	産 婦 人 科	1	1	0
循 環 器 科	11	8	3	検 診	3	1	2
消 化 器 内 科	12	11	1	皮 膚 科	4	2	2
麻 酔 科	12	9	3	婦 人 科	2	2	0
眼 科	9	7	2	呼 吸 器 外 科	4	3	1
放 射 線 科	9	8	1	人 工 透 析	8	6	2
小 児 科	4	2	2	リ ウ マ チ 科	0	0	0
呼 吸 器 科	2	2	0	臨 床 病 理 科	1	1	0
在 宅 診 療	2	2	0	形 成 外 科	2	1	1
総 合 診 療 科 ・ 内 科	5	4	1	診 療 科 目 不 問	3	3	0
脳 神 経 内 科	7	5	2	緩 和 ケ ア	1	1	0
呼 吸 器 内 科	9	8	1	内 分 泌 糖 尿 病 内 科	2	2	0
リ ハ ビ リ テーション科	4	4	0	そ の 他	5	5	0
救 命 救 急 科	9	9	0	合 計	297	239	58

## 求 人 登 録 者 ( 公 開 )

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮崎市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外,整,放,麻,内	9	常勤・非常勤
160017	医)宮崎博愛会 さがら病院宮崎	宮崎市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼内,神内,総診,呼外,病理,乳外,整,麻,代内	9	常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	社医)善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラムみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230144	宮崎医療生活協同組合	宮崎市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮崎市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急,緩和	13	常勤
230148	医)コムロクリニック	宮崎市	美外,形成外,外,麻(いずれか)	2	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	3	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230194	医)財団シロアム 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	高岡町	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透(いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,リハ(いずれか)	1	常勤
230215	医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖内,消内	3	常勤
230217	医)けいあい かいクリニック	宮崎市	内,整	4	常勤・非常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	外,脳外,内,透,眼皮,放,腎内,総診,泌,整	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	内	1	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三股町	内	1	常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラハムクラブ ベテスタクリニック	都城市	糖内,心内	2	常勤
230208	医)社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三股町	内	1	常勤・非常勤
230216	一社)藤元メディカルシステム大悟病院	三股町	精,内	2	常勤
160012	医)伸和会 延岡共立病院	延岡市	内	2	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延岡市	精	1	常勤
160034	医)健寿会 黒木病院	延岡市	消外,消内	2	常勤
190086	医)早田病院	延岡市	消内,循内	2	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延岡市	産婦,内,小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延岡市	消内,消外,内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230186	医)隆誠会 延岡保養園	延岡市	精	1	常勤
230189	特医)健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	4	常勤・非常勤
230203	医)杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
230210	医)あつきこころ 大貫診療所	延岡市	内,外 (いずれか)	1	常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日向市	外,整	4	常勤
210111	福)恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門川町	内,外,リハ	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内,整	2	常勤
230200	医)おざきメディカルアソシエイツ 尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医)洋承会 今給黎医院	日向市	内,循内	2	常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,麻,外,眼,健診	5	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	呼内,循内,糖内,神内,小,整	12	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西都市	内,外,整,総診,透	5	常勤
230204	医)昇山会 上山医院	西都市	内,整 (いずれか)	1	非常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日南市	内	4	常勤・非常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,外,整,在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内,外,総診,消内,腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230188	医)春光会 春光会記念病院	日南市	外,内	5	常勤・非常勤
230211	医)秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串間市	不問	1	常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小林市	内,皮	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	救急,総診,放,麻	6	常勤
180076	医)けんゆう会 園田病院	小林市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小林市	整,内,脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわかセンター	小林市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小林市	内	1	常勤
230197	医)友光会 整形外科押領司病院	小林市	整,内,麻	5	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外 (いずれか)	1	常勤

## 病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和4年7月1日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ：2,022.17㎡ (612.77坪)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地：2,280.83㎡ (691.16坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡ (424.38坪) ※別途駐車場あり (20台)	所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡
2. 譲渡又は賃貸物件	① 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地：4,449㎡ (1,348.18坪) 建物：鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり (70台)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 宮崎市上野町5-1 土地：1,260.55㎡ (381.98坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根5階建 1階 378.60㎡ 2階 391.80㎡ 3階 374.04㎡ 4階 374.04㎡ 5階 363.13㎡ 計1,881.61㎡ (570.18坪) ※駐車場あり (22台) 2階は事務所 3階は宿舍・寮8室使用可 4階は貸倉庫	所有者：宮崎市郡医師会員 谷口 二郎 たにぐちレディースクリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地：1,654.58㎡ (501.38坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡ (251.33坪) ※駐車場あり (50台)	所有者：(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地：875㎡ (265.15坪) 建物：木造瓦葺平屋建 1階 114㎡ (34.54坪) ※駐車場あり (20台)	所有者：西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

### ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

### ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail : isikyouto@miyazaki.med.or.jp

## 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

### 宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

きりとりせん

お名前：

ご所属：

T E L：

F A X：

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和4年7月26日

8		月						
1	月	19:00	生活習慣病検診各部長連絡協議会	20	土	15:00	(鹿児島)九州地区医師国保組合連合会監査会	国 保 審 査
2	火	19:00	第10回常任理事協議会			15:30	(鹿児島)九州地区医師国保組合連合会理事会	
3	水					16:00	(鹿児島)九州地区医師国保組合連合会全体協議会	
4	木							
5	金	18:30	県外科医会夏期講演会 (Web会議)	21	日	9:00	人体シミュレータを用いた在宅医療研修会	国 保 審 査
6	土	13:30	在宅医療協議会総会・研修会 (Web会議)			9:40	中四九地区医師会看護学校協議会 (Web会議)	
7	日	10:00	日医かかりつけ医機能研修制度応用研修会	22	月	19:00	学校医部会総会・医学会 (Web会議)	国 保 審 査
8	月					19:00	広報委員会	
9	火	18:30 19:00	第5回全理事協議会 各郡市医師連盟委員長協議会 (河野知事推薦状交付式)	23	火	10:00	日医監事会 (Web会議)	社 保 審 査
10	水	16:00	支払基金支部運営委員会			11:00	日医役員勉強会 (Web会議)	
11	木		(山の日)	24	水	13:00	日医理事打合会 (Web会議)	社 保 審 査
12	金					14:00	日医理事会 (Web会議)	
13	土			25	木	18:30	勤務医部会・前期講演会	社 保 審 査
14	日							
15	月			26	金			社 保 審 査
16	火							
17	水	19:00	広報委員会	27	土	16:00	県有床診療所協議会総会 (Web会議)	社 保 審 査
18	木	15:00 19:00	県国民健康保険運営協議会 県産婦人科医会全理事会 (Web会議)			16:00	(大分)九医連常任委員会	
19	金			28	日	17:00	(大分)九医連定例委員会総会	社 保 審 査
20	土	13:00 13:30 14:30	県産婦人科医会新生児蘇生法講習会 県訪問看護ステーション連絡協議会総会・研修会 (Web会議) 産業医研修会 (前期)			18:10	(大分)九州医連連絡会執行委員会	
21	日			29	月	16:00	県立病院事業評価委員会	社 保 審 査
22	月					18:00	県地域医療対策協議会	
23	火			30	火	19:00	県小児科医会生涯研修セミナー準備委員会	社 保 審 査
24	水					18:00	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会	
25	木			31	水	18:30	医協理事会	社 保 審 査
26	金					19:00	理事・運営委員合同協議会 (Web会議)	
27	土					終了後	第6回全理事協議会 (Web会議)	
28	日					15:00	労災診療指導委員会	
29	月					18:30	県地域医療構想調整会議	

※都合により、変更になることがあります。  
 行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。  
 ※医家芸術展：8月12日(金)は休館となっています。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和4年7月26日

9		月					
1	木			16:40	(秋田) 全国医師会医療秘書 学院連絡協議会定例総会・ 運営委員会		
2	金	14:00 日医年金委員会 (Web会議) 19:00 認知症サポート医・かかりつけ 医スキルアップ研修会	17	土			
			18	日			
3	土	15:30 県医師会医学会 (Web会議) 16:00 全国国保組合協会九州支部幹事会 16:30 全国国保組合協会九州支部総会	19	月	(敬老の日)		社国 保保
4	日	12:00 県小児科医会役員会			10:00 (日医) 日医監事会 11:00 (日医) 日医役員勉強会 13:00 (日医) 日医理事打合会 13:30 (日医) 日医理事会 15:00 (日医) 都道府県医師会長 会議		審審 查查
5	月		20	火			
6	火	19:00 第11回常任理事協議会					
7	水						
8	木	19:00 県産婦人科医会常任理事会 (Web 会議)	21	水	19:00 広報委員会		
9	金	19:00 県外科医会秋期講演会	22	木			
10	土	14:00 県小児科医会子ども健康セミナー 19:00 宮大医学部附属病院救命救急セ ンター開所10周年記念祝賀会	23	金	(秋分の日)		
11	日		24	土	14:30 産業医研修会 (前期)		
12	月		25	日	9:00 人体シミュレータを用いた小児 在宅医療実技講習会		
13	火	19:00 第7回全理事協議会 (Web会議)	26	月	19:00 園医部会総会・研修会 (Web会議)		
14	水	16:00 支払基金支部運営委員会 19:00 広報委員会			18:00 九州地方社会保険医療協議会宮 崎部会 18:00 医協理事会 18:30 医協理事・運営委員合同協議会 終了後 第8回全理事協議会 19:00 各郡市医師会長協議会		
15	木		27	火			
16	金						
17	土	15:00 県産婦人科医会秋期総会・ 市民公開講座 (Web会議) 16:00 (秋田) 全国医師会医療秘書 学院連絡協議会常任委員会	28	水	15:00 労災診療指導委員会		
			29	木			
			30	金			

※都合により、変更になることがあります。  
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

日本医師会からのお知らせ

応募  
要項

第6回

**生命**  
いのち

を見つめる  
フォト&エッセー

フォト  
部門

エッセー  
部門

生命の大切さや  
心温まるエピソードを  
写真やエッセーで  
伝えてみませんか

審査員 (順不同、敬称略)

■ フォト部門

野町和嘉  
写真家  
/日本写真家協会会長

岩合光昭  
動物写真家

玉城ティナ  
女優

■ エッセー部門

養老孟司  
東京大学名誉教授  
/劇学者

玄侑宗久  
作家 / 福原寺住職

水野真紀  
俳優

応募締め切り

2022年  
10月5日(水)  
必着



公式ホームページ <https://jigyoyomiuri.co.jp/photo-essay/>

生命を見つめるフォト&エッセー 検索

主催：日本医師会、読売新聞社 後援：厚生労働省、文部科学省 協賛：東京海上日動火災保険株式会社、東京海上日動あんしん生命保険株式会社



生命の尊さ、大切さを感じさせる作品を募集します。人間、動物、自然など被写体は自由です。

- 作品のプリントサイズは、キャビネ判(2L)とします。
■応募作品は、2019年6月1日以降に撮影したものに限りです。
■応募は1人3点までに限りです。
※デジタルカメラで撮影したもの、デジタルプリントも応募可能です。
※500万画素以上であれば携帯電話等での撮影も可能です。500万画素未満の場合は選考対象外となることがあります。
※画像処理等の加工、合成及び組み写真は不可とします。

賞 厚生労働大臣賞(1点) 賞金10万円、賞状他
一般の部 日本医師会賞(1点) 賞金10万円、賞状他
読売新聞社賞(1点) 賞金10万円、賞状他
審査員特別賞(数点) 賞金5万円、賞状他
入選(数点) 賞金3万円、賞状他
小中高生の部 文部科学大臣賞(1点) QUOカード3万円分、賞状他
優秀賞(数点) QUOカード5,000円分、賞状他



病気やけがをした時の思い出、介護や生命の誕生にまつわる話、医師や看護師、患者との交流など、医療や介護に関するエピソード、お世話になった医師や看護師ら宛てに送ったという想定の「感謝の手紙」などを募集します。小学生の部では、生命(いのち)を身近に感じたエピソードをテーマとします。

- 【一般の部・中高生の部】2,000字(原稿用紙1~5枚)以内。
【小学生の部】1,200字(原稿用紙1~3枚)以内。
■応募は1人1点までに限りです。
※パソコン、ワープロ使用の場合、1ページ400字(20字×20行)とします。ウェブ応募の際は公式ホームページからダウンロードしたテンプレートを使用してください。

賞 厚生労働大臣賞(1点) 賞金30万円、賞状他
一般の部 日本医師会賞(1点) 賞金30万円、賞状他
読売新聞社賞(1点) 賞金30万円、賞状他
審査員特別賞(数点) 賞金10万円、賞状他
入選(数点) 賞金3万円、賞状他
中高生の部 文部科学大臣賞(1点) QUOカード3万円分、賞状他
優秀賞(数点) QUOカード5,000円分、賞状他
小学生の部 文部科学大臣賞(1点) QUOカード1万円分、賞状他
優秀賞(数点) QUOカード5,000円分、賞状他

応募締め切り 2022年10月5日(水) 必着

応募規定

- 応募作品は自作、フォト部門は応募者本人が撮影した未発表の作品に限りです。盗作、二重応募、類似、事実ではない創作作品の応募は固くお断りいたします。応募作品について、盗作等による著作権侵害の争いが生じても、主催者は責任を負いません。
※すでに書籍化したものや、公の刊行物に掲載されたものは応募不可とします。
※違反が確認された際は、受賞決定後も賞の取り消しとなる可能性があります。
※ご記入いただいた個人情報は、受賞した場合の連絡、作品に関する問い合わせ、取材、本コンテストに関するご案内のみに使用し、それ以外の目的での使用や、第三者に譲渡することはありません。

- 応募作品は返却いたしません。
■入賞作品の発表は、2023年2月頃を予定しています。新聞紙面およびウェブサイトに、作品と実名、年齢、顔写真、学校名(小中高生の場合)を掲載します。ペンネーム、イニシャル等による発表はできません。
■表彰式は2023年2月に東京都内で実施予定です。
■医師および医療従事者も応募可能です。
※応募規定の詳細は公式ホームページをご確認ください。

公式ホームページ 二次元バーコード

作品送付先

〒104-0061 東京都中央区銀座7-15-5 共同ビル3F 「生命を見つめるフォト&エッセー」係

応募方法

- ◆ウェブからの応募も可能です。詳細は公式ホームページ(https://jigyoyomiuri.co.jp/photo-essay/)をご覧ください。
◆エッセー部門は、直筆の場合、鉛筆(Bまたは2B)、ボールペン、万年筆のいずれかを使い、濃く書いてください。
◆郵送の場合は、作品に下記の応募用紙をつけて封筒に応募部門を記載の上、送付してください。



【問い合わせ】読売新聞東京本社 次世代事業部「生命を見つめるフォト&エッセー」事務局 Tel:03-3216-8598(平日10:00-17:00)

応募用紙 ※氏名は実名のみのお受けとなります。

Form with fields for name, address, contact info, and checkboxes for consent and rules. Includes a 'フォトのみ' section for photo details and a '確認の上' section for rules.

入賞作品についての著作権
フォト部門は撮影者に帰属します。エッセー部門は主催者に帰属します。
両部門とも、入賞作品について、読売新聞紙上及びその他広報物に使用する権利は、主催者が有します。



# 医 学 会 ・ 講 演 会

## 日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

**※新型コロナウイルス感染症拡大のため，中止や延期となる場合があります。  
参加前には開催の有無を主催元にお確かめいただきますようお願いいたします。**

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
日向市東臼杵郡医師会学術講演会 (Web講習会) 8月3日(水) 19:00~20:00 ホテルベルフォート日向 ※受講はWebのみ	リウマチ性疾患における神経障害性疼痛 聖路加国際病院 Immuno-Rheumatology Center センター長 岡田 正人	61 (0.5) 63 (0.5)	◇主催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 ◇共催 第一三共(株)
宮崎県医師会産業医研修会 8月4日(木) 14:00~16:00 県医師会館	職場でのメンタルヘルスとストレスチェック制度 精神科専門医・指導医 宮崎県精神保健福祉センター 所長 直野 慶子  生涯研修の専門研修：2単位	1 (0.5) 7 (0.5) 11 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎市郡産婦人科医会8月例会学術講演会 (Web講習会) 8月4日(木) 19:05~20:20 MRTmicc ※受講はWebのみ	HPVワクチンによる副反応の対応について ~協力医療機関への紹介の流れを含めて~ 宮崎大学医学部附属病院 産婦人科 講師 大西 淳仁  ----- HPVワクチン接種率向上に向けた取り組み 女性クリニックWe! TOYAMA 代表 種部 恭子	8 (0.5)  8 (0.5)	◇主催 宮崎市郡産婦人科医会 ◇共催 MSD(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎県外科医会夏季講演会 (Web講演会) 8月5日(金) 18:30~20:00 県医師会館 ※受講は現地またはWeb	社保指導 潤和会記念病院  他	15 (1.5)	◇主催 ※宮崎県外科医会 ☎0982-23-9100
延岡医学会学術講演会 (Web講習会) 8月5日(金) 19:00~20:00 延岡コワーキングスペース ※受講は現地またはWeb  <b>【延期】</b>	肥満糖尿病における摂食と運動, 薬物治療の新たな理解 宮崎大学 フロンティア科学総合研究センター 特別教授 大阪大学 蛋白質研究所 特任教授 中里 雅光	76 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 大正製薬(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
日向市東臼杵郡医師会学術講演会 (Web講演会) 8月5日(金) 19:00~20:10 ホテルパルフォート日向 ※受講は現地またはWeb	心不全診療のアップデート 鹿児島大学医学部 保健学科 教授 宮田 昌明	24 (1.0)	◇主催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 ◇共催 大塚製薬(株) ノバルティスファーマ(株)
第56回宮崎救急医学会 8月13日(土) 13:00~17:30 ホテルシーズン日南	2つの医療の物語 A Tale of Two Medical Cares 神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター長 有吉 孝一	12 (1.0)	◇主催 第56回宮崎救急医学会 (連絡先) 県立日南病院 ☎0987-22-3111

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 8月16日(火) 19:00~21:00 串間市総合保健福 祉センター	看護・介護現場における腰痛の予防と悪化防止 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修: 2単位	6 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5) 60 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 8月17日(水) 19:00~21:00 県医師会館	今日のうつ病の理解と対応 産業保健相談員 中村クリニック 院長 中村 究 生涯研修の現地研修: 2単位	1 (0.5) 4 (0.5) 69 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第13回在宅医療推 進のための連携・ス キルアップ研修会 (Web講習会) 8月18日(木) 19:00~20:30 宮崎市郡医師会館	心不全パンデミックに備える~急性期から在宅まで~(仮) 宮崎生協病院 院長 遠藤 豊	80 (1.0)	◇主催 宮崎市郡在宅医会 (連絡先) 宮崎市郡地域包括ケア推進センター ☎0985-77-9106
延岡医学会学術講 演会 (Web講習会) 8月19日(金) 18:50~20:10 キャトルセゾン・ マツイ ※受講は現地また はWeb	新しいオレキシン受容体拮抗薬を使いこなすための重 要ポイント(仮) 小鳥居諫早病院 院長 久留米大学医学部 神経精神医学講座 非常勤講師 小鳥居 望	20 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 エーザイ(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第166回宮崎心臓研究会 (Web講習会) 8月24日(水) 19:00~20:10 宮崎観光ホテル ※受講は現地またはWeb	心腎連関を考慮した心不全治療 ~攻めと守りで長期予後を獲得する戦略~ 九州大学病院 冠動脈疾患治療部 診療准教授 井手 友美 他	43 (0.5) 73 (0.5)	◇主催 宮崎心臓研究会 ◇共催 アストラゼネカ(株) 小野薬品工業(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101
宮崎県医師会産業医研修会 8月25日(木) 19:00~21:00 県医師会館	がん患者のメンタルヘルス 産業保健相談員 宮崎大学医学部附属病院 精神科 講師 船橋 英樹 生涯研修の専門研修: 2単位	1 (0.5) 4 (0.5) 69 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業医研修会 9月1日(木) 14:00~16:00 県医師会館	職場でみられるうつ病とその対応 宮崎県精神保健福祉センター 所長 精神科専門医・指導医 直野 慶子 生涯研修の専門研修: 2単位	9 (0.5) 11 (0.5) 69 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
令和4年度宮崎県医師会医学会 (Web講習会) 9月3日(土) 15:30~17:40 県医師会館 ※受講は現地またはWeb	【専門医共通講習-感染対策: 1単位】 COVID-19への対応 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 国際感染症センター センター長 大曲 貴夫 ----- 【専門医共通講習-災害医療: 1単位】 災害医療に関して(仮) 東京医科歯科大学病院 救命救急センター センター長 大友 康裕	8 (1.0) 14 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会 9月7日(水) 19:00~21:00 県医師会館	ストレスチェックの効果的な活用法 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治	1 (0.5) 6 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県皮膚科医会 学術講演会 (Web講習会) 9月15日(木) 19:00~20:30 宮崎観光ホテル ※受講は現地またはWeb	当院における生物学的製剤によるアトピー性皮膚炎の 治療経験 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座 皮膚科学分野 助教 西川 陽太郎 ----- アトピー性皮膚炎診療ガイドライン2021改定を踏まえた デュピクセントの位置づけ 日本医科大学大学院 皮膚粘膜病態学 教授 佐伯 秀久	12 (0.5) ----- 26 (1.0)	◇主催 宮崎県皮膚科医会 ◇共催 ※サノフィ(株) ☎080-6778-6526
宮崎県医師会産業 医研修会 9月16日(金) 19:00~21:00 都城市北諸県郡医 師会館	職場における糖尿病対策 産業保健相談員 日南市立中部病院 院長 中津留 邦展 生涯研修の専門研修: 2単位	4 (0.5) 11 (0.5) 76 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第33回ひむか骨関 節・脊椎脊髄疾患 セミナー (Web講習会) 9月17日(土) 15:25~19:00 宮崎観光ホテル ※受講は現地またはWeb	がんロコモに対する整形外科医の役割 久留米大学医学部 整形外科学教室 主任教授 平岡 弘二 ----- 人工股関節置換術の合併症対策 獨協医科大学埼玉医療センター 整形外科 主任教授 神野 哲也 ----- 骨粗鬆症にともなう脊柱変形の病態解明と包括的治療 秋田大学大学院 医学系研究科医学専攻 機能展開医学系整形外科学講座 教授 宮腰 尚久	10 (1.0) ----- 61 (1.0) ----- 59 (1.0)	◇主催 ひむか骨関節・脊椎 脊髄疾患セミナー ◇共催 ※旭化成ファーマ(株) ☎0985-28-2736

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 9月20日(火) 19:00~21:00 串間市総合保健福 祉センター	ストレスチェックの効果的な活用法 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の専門研修: 2単位	1 (0.5) 6 (0.5) 9 (0.5) 10 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 9月22日(木) 19:00~21:00 県医師会館	事例で学ぶ職場巡視のポイント 産業保健相談員 谷山 ゆかり 生涯研修の現地研修: 2単位	1 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 9月30日(金) 19:00~21:00 県医師会館	精神科医から見たメンタルヘルス連携の在り方(I) 産業保健相談員 西都病院 植田 勇人 生涯研修の専門研修: 2単位	1 (0.5) 6 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 10月4日(火) 19:00~21:00 延岡市職業訓練支 援センター	事業者の安全配慮義務と産業医の役割 産業保健相談員 労衛研 延岡健診センター 田中 伸明 生涯研修の専門研修: 2単位	1 (0.5) 3 (0.5) 6 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会 10月5日(水) 19:00~21:00 県医師会館	行動変容理論に基づく健康診断事後保健指導の事例検討 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治  生涯研修の現地研修: 2単位	1 (0.5)  7 (0.5)  9 (0.5)  11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第18回日本小児科 医会生涯研修セミ ナーin宮崎 10月9日(日) 8:50~16:10 宮崎観光ホテル	小児のスクリーニング事業充実を目指して 宮崎大学医学部 看護学科基礎看護学領域 教授 澤田 浩武	11 (0.5)	◇主催 ※宮崎県小児科医会 ☎0985-23-9100
	現場実践に活かす「臨床倫理」の考え方 ~重篤な小児神経疾患の倫理的推論 (ethical reasoning) を中心に~ 宮崎大学医学部 社会医学講座 生命・医療倫理学分野 教授 板井 孝孝郎	2 (1.0)	
	子どもの生活と「メディア」 筑紫女学園大学 人間科学部人間科学科 初等教育・保育専攻 教授 特定非営利活動法人子どもとメディア 専務理事 原 陽一郎	72 (0.5)  82 (0.5)	
	宮崎の強み: 本格焼酎の魅力 (製造からおいしい飲み方そして機能性・アルコール体 質まで) 宮崎大学役員補佐・次世代研究者支援室長 水光 正仁	0 (0.5)	
	小児がん治療の最前線 宮崎大学医学部 発達泌尿生殖医学講座 小児科学分野 教授 盛武 浩	9 (0.5)	
	子どもにとってのCOVID-19, 大人にとってのCOVID-19 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 小児科学 教授 森内 浩幸	8 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 10月11日(火) 19:00~21:00 串間市総合保健福 祉センター	行動変容理論に基づく健康診断事後保健指導の事例検討 産業保健相談員 串間市民病院 院長 江藤 敏治 生涯研修の現地研修: 2単位	1 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 10月17日(月) 19:00~21:00 県医師会館	両立支援の実際(難病を中心に) 産業保健相談員 宮崎大学医学部附属病院 患者支援センター長 鈴木 斎王 生涯研修の専門研修: 2単位	1 (0.5) 4 (0.5) 6 (0.5) 10 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

## 7月のベストセラー (宮崎県)

集計: 2022年7月1日~7月23日

1	80歳の壁	和 田 秀 樹	幻冬舎新書
2	オーバーロード <sup>®</sup> 15 (上)	丸 山 く が ね	KADOKAWA
3	老いの福袋	樋 口 恵 子	中央公論新社
4	新酔いどれ小藤次二十四 八丁越	佐 伯 泰 英	文 春 文 庫
5	禁断の中国史	百 田 尚 樹	飛 鳥 新 社
6	焦 眉	今 野 敏	幻冬舎文庫
7	20代で得た知見	F (エフ)	KADOKAWA
8	70歳が老化の分かれ道	和 田 秀 樹	詩 想 社 新 書
9	今夜, 世界からこの恋が消えても	一 条 岬	メディアワークス文庫
10	私という男の生涯	石 原 慎 太 郎	幻 冬 舎

明林堂書店調べ 提供: 本郷店 (宮崎市大字本郷北方) ☎ (0985) 56-0868

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

# 医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

## 医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

## 医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談  
無料



まずは、お電話ください。

## 宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550 E-mail [iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp](mailto:iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp)

## 診療メモ



## 主治医意見書とロコモティブシンドロームと リハビリテーション診療

宮崎大学医学部附属病院 リハビリテーション部 <sup>あら</sup>荒 <sup>かわ</sup>川 <sup>ひで</sup>英 <sup>き</sup>樹

### 1. はじめに

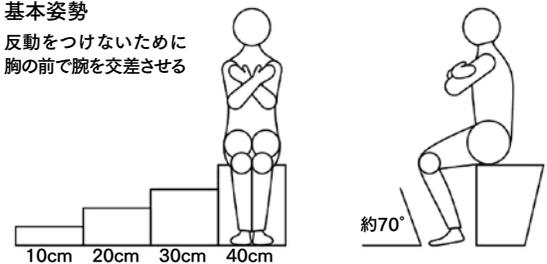
今年2月、県医師会主催の「介護保険に関する主治医研修会」に参加させていただきました。介護保険制度における主治医意見書は、担当患者の適正な介護度認定を得て、住み慣れた地域での安定した生活を続けるために欠かすことのできない重要な書類です。しかし、その記載に際しては、介護度に直接的に影響している傷病の診断に迷われることも多いのではないのでしょうか。特に生活がある程度維持された要支援レベルの方では、初期の運動機能の低下を適切に評価することが難しい場合も多いと思います。そのような場合に、ぜひ考えていただきたいのが「ロコモティブシンドローム（ロコモ）」です。皆様よくご存じかと思いますが、ロコモは運動器の障害によって歩行などの移動機能に低下をきたした状態を示す概念です。類似した概念としてサルコペニアやフレイルがありますが、ロコモは運動機能、移動機能の低下に主眼を置いている点が特徴的です。ヒトの生活の基盤は「歩けること」であり、国民生活基礎調査によれば、要支援・要介護になった原因として第1位は運動器に関連した障害ですので、ロコモ評価は介護保険認定には最も重要な検査と言えるかもしれません。

### 2. 評 価

ロコモは、広く一般に普及し活用するために簡易なテストで評価できるように配慮されています。立ち上がりテスト（図1）、2ステップテスト（図2）、ロコモ25の3つのテストにより判定します。立ち上がりテストは下肢筋力、

#### 基本姿勢

反動をつけないために  
胸の前で腕を交差させる



40cm, 30cm, 20cm, 10cmの台を用いて、片脚もしくは両脚での立ち上がりを評価

図1. 立ち上がりテスト

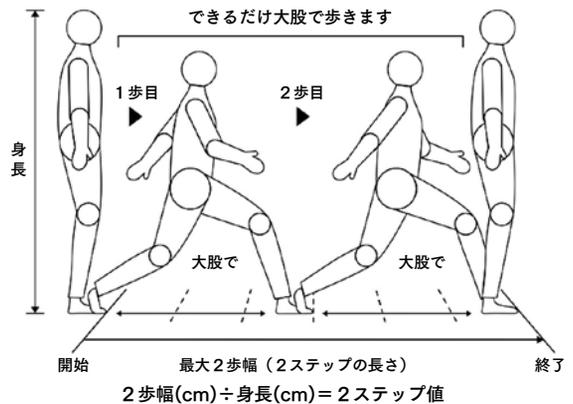


図2. 2ステップテスト

特に身体支持に重要な膝伸展筋力を反映しています。2ステップテストは歩幅を評価することで下肢筋力とバランス能力、柔軟性などを総合的に反映しています。ロコモ25は運動機能に関する自記式質問票で、身体の痛みや日常生活の困難さを25項目、5段階評価（0～4点、100点満点）で判定します。それぞれの判定基準（臨床判断値）をお示しします。

#### 1) ロコモ度1

①立ち上がりテスト：どちらか一方の脚で40

cmの台から立ち上がれないが、両脚で20cmの台から立ち上がる。

②2ステップテスト：2ステップ値が1.1以上1.3未満。

③ロコモ25：結果が7点以上16点未満。

①～③のうち1つでも該当すればロコモ度1と診断し、移動機能の低下が始まっている状態と判断することができます。

## 2) ロコモ度2

①立ち上がりテスト：両脚で20cmの台から立ち上がれないが、30cmの台からは立ち上がる。

②2ステップテスト：2ステップ値が0.9以上1.1未満。

③ロコモ25：結果が16点以上24点未満。

①～③のうち1つでも該当すればロコモ度2と診断し、移動機能の低下が進行している状態と判断することができます。

## 3) ロコモ度3

①立ち上がりテスト：両脚で30cmの台から立ち上がれない。

②2ステップテスト：2ステップ値が0.9未満。

③ロコモ25：結果が24点以上。

①～③のうち1つでも該当すればロコモ度3と診断し、移動機能の低下が進行し、社会参加に支障を来している状態と判断することができます。

このほか、自己評価のための簡便なスクリーニングツールとして7項目の質問からなる「ロコチェック」も作成されています。また、診察室や待合室などに置いているイスをご確認ください。一般のイスでは座面高が40cmくらいに設定されていることが多いと思います。このイ

スからの両脚起立が困難であれば、それはロコモ度3。生活状況の確認が必要かもしれません。

## 3. リハビリテーションアプローチ

ロコモは運動器障害の概念ですから、予防や治療に関しては運動療法が重要です。リハビリテーション治療として筋力増強訓練や歩行訓練などを行うほか、運動習慣の確立を目指した生活指導、運動指導を行うことも重要です。バランス能力を向上する「片脚立ち」、下肢筋力全般を強化する「スクワット」などが基本メニューですが、無理のない範囲で膝を深く曲げない「ハーフスクワット」でも十分に効果があります。また楽しみながら行うことのできるスポーツとして水泳やウォーキングなどのほか、地域の特性に応じた踊りや太極拳などもお薦めで、運動機能の改善のほか運動習慣の確立、継続にとっても有用です。

## 4. まとめ

地域包括ケアを推進し、住み慣れた地域で生き生きと暮らすためには、移動機能の低下にいち早く気づき、早期から適切なリハビリテーション治療を行って改善を図ることが最善です。ロコモ度テストは日常生活では気づきにくい早期の移動機能の低下も高感度で評価できることが実証されており、判定ツールも提供されています（図3、有償、ロコモチャレンジ！推進協議会）。定期的にロコモ度を評価することで、介護保険における要介護の前段階、要支援レベルから活動性や運動機能を向上するための治療、訪問リハビリテーションや通所リハビリテーションの積極的な利用を推奨することなどが重要であると思います。

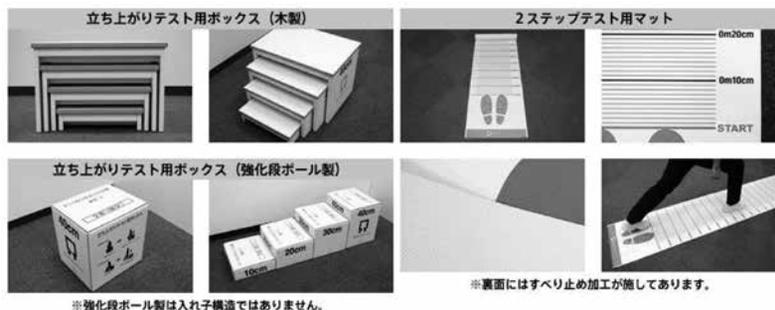


図3. ロコモ度判定ツール

## 宮大医学部学生のページ



## 音楽祭実行委員長よりご報告

第19回宮崎大学医学部音楽祭実行委員会 実行委員長 福元彩乃  
宮崎大学医学部 医学科4年

令和4年6月11日(土)、清武文化会館にて行われました「第19回宮崎大学医学部音楽祭」についてご報告させていただきます。

今回は宮崎医科大学時代より数えまして通算41回目の開催となる音楽祭でした。一昨年より新型コロナウイルスの流行拡大のため、数々のイベントが中止になる中、音楽祭がその歴史を途絶えさせることなく開催できた背景には、さまざまな方のご支援とご協力がありました。本当にありがとうございました。

今年度は、すずかけ太鼓、室内楽部、管打楽器部、合唱部をはじめとした大団体や、ヴァイオリンデュオ、ピアノソロなどの個人出演を含めた総勢11組の出演者を迎え、幹部学年により実行委員会を12月に立ち上げ、準備をしてまいりました。もちろん、音楽祭実行委員会のメンバーだけでは行き届かない部分も多く、清武文化会館の方々にも沢山支えていただきました。毎年、ステージを照明で華やかに彩り、整った環境で演奏できるのも清武文化会館の方々のおかげです。本当に感謝しかありません。また、司会やDVDの映像撮影などで大変お世話になったのが、宮崎大学学生放送局MUSBの方々です。音楽祭を多方面で支えてくれる沢山の方がいるからこそ、私たち出演者もお客様に演奏を

届けることができています。皆様への感謝の気持ちが、練習を頑張る励みになりました。

音楽祭当日は、九州南部が梅雨入りしてしまったことであいにくの雨となってしまいました。なんと300名を超えるお客様が清武文化会館まで足を運んでくださいました。本番は、各出演者が練習した成果を発揮する場となり、どの演目も聴きに來てくださった方々を魅了するものでした。

その中でも、私が所属しているすずかけ太鼓について紹介させていただきます。すずかけ太鼓による演奏は、和太鼓を使うこともあり、力強く、迫力があります。今年も多くの新入生を迎え、彼等の初めてのステージとなるのが今回の音楽祭でした。新入生も含め、今年も息の合った演奏をお届けできるよう、練習を重ねてきました。太鼓を打つというのは想像よりとても体力のいるもので、演奏しながらも疲れを感じることがあります。しかし、聴きに來てくださった方々を見ると「一所懸命に演奏しよう」という気持ちが強くなり、最後まで全力で演奏することができます。すずかけ太鼓はきよたけ郷土祭りなどにも出演させていただいており、地域の方々とのつながりがとても強く、音楽祭でも感謝の気持ちを伝えられるよう演奏しました。

今回の音楽祭は、音楽を通してお客様と触れ合える、そんな空間を作ることが目標でした。現在、当日お配りしたアンケートの集計作業を行っております。「元気をもらいました、また来年もぜひ来たいです」、「コロナで元気のない中とても明るい気持ちになりました」など多くのありがたいコメントをいただきました。音楽祭実行委員長として、また出演者の一人として、そういった言葉をいただけたことが大変嬉

しかったです。新型コロナウイルスの影響で直接交流できる機会は少なくなりましたが、私たちの音楽を通して、お客さまの心を少しでも癒し、元気づけることができたのではないかと思います。

以上、第19回宮崎大学医学部音楽祭のご報告とさせていただきます。今後とも宮崎大学医学部音楽祭をどうぞよろしくお願い致します。



第19回宮崎大学医学部音楽祭実行委員会



すずかけ太鼓本番の様子



管打楽器・軽音楽合同バンドによる本番の様子

## お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
6月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石綿健康被害救済法の改正について</li> <li>・出産育児一時金等の受取代理制度の届出について（令和4年度）</li> <li>・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その14）」の送付について</li> <li>・外来機能報告における紹介率及び逆紹介率の報告について</li> </ul>
7月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度結核予防技術者地区別講習会の開催について</li> <li>・「ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種に関する相談支援・医療体制強化のための地域ブロック拠点病院整備事業」接種医療機関向け研修会の開催について（通知）</li> </ul>
7月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワクチン接種記録システム（VRS）への早期入力のお願について</li> <li>・日本学校保健会が主催する講習会の開催について（依頼）</li> <li>・「風しんの追加的対策」における厚生労働行政推進調査事業への協力依頼について</li> <li>・「介護予防・日常生活支援総合事業のガイドラインについて」の一部改正について</li> <li>・介護医療院の開設状況（令和4年3月31日時点）について（情報提供）</li> <li>・令和3年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査（令和3年度調査）の結果について（最終版・情報提供）</li> <li>・令和4年10月介護報酬改定（介護職員等の処遇改善）に関する通知の送付について（その2）</li> <li>・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則の一部を改正する省令の公布等について</li> <li>・検査料の点数の取扱いについて</li> <li>・「新型コロナウイルス感染症に係るワクチンに関する予防接種後健康状況調査の実施について」の一部改正について</li> <li>・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法令施行規則の一部を改正する省令の公布について（通知）</li> <li>・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について（通知）</li> <li>・新型コロナワクチン接種後の遷延する症状を訴える方に対応する診療体制について（周知）</li> <li>・第53回全国学校保健・学校医大会の参加申込受付期間について</li> <li>・「新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方及びその疑いがある方の処置、搬送、葬儀、火葬等に関するガイドライン」の適切な運用等について（周知依頼）</li> <li>・令和4年度診療報酬改定関連通知及び官報掲載事項の一部訂正について</li> <li>・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その15）」の送付について</li> <li>・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その16）」の送付について</li> </ul>

送付日	文 書 名
7月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（医療分）の新型コロナウイルスワクチンの接種に係る事業の継続について</li> <li>・公立学校等における労働安全衛生管理体制等に関する調査について（情報提供）</li> <li>・「精神保健指定医の新規申請等に係る事務取扱要領の制定について」等の一部改正について</li> <li>・通信障害発生時における通信手段の確保について</li> <li>・サル痘に関する情報提供及び協力依頼について（周知）</li> <li>・啓発資料を用いたサル痘に関する情報の周知について（周知）</li> <li>・新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（パキロビッドパック）の医療機関及び薬局への配分について（別紙及び質疑応答集の修正）（周知）</li> <li>・新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（ラゲプリオカプセル）の医療機関及び薬局への配分について（別紙及び質疑応答集の修正）（周知）</li> <li>・新型コロナウイルス感染症における経口抗ウイルス薬（ラゲプリオカプセル・パキロビッドパック）の医療機関及び薬局への配分について（別紙及び質疑応答集の修正）</li> <li>・新型コロナウイルス感染症における中和抗体薬の医療機関への配分について（別紙及び質疑応答集の修正）（周知）</li> <li>・黄熱の予防接種実施機関の指定について</li> <li>・新型コロナウイルス感染症に係る行政検査におけるPCR検査の取り扱いについて</li> <li>・第2回新型コロナウイルス感染症の罹患後症状を呈する者への自治体における取組の調査結果について</li> <li>・「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」の改訂について</li> <li>・「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その71）」及び「「新型コロナウイルス感染症に係る行政検査の保険適用に伴う費用の請求に関する診療報酬明細書の記載等について」の一部改正について」について</li> <li>・「「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」の一部改正について」等の一部訂正について</li> </ul>
7月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その17）」の送付について</li> <li>・サル痘に関する情報提供及び協力依頼について（一部改正）</li> <li>・「「中小規模調理施設における衛生管理の徹底について」の一部改正について」の周知について</li> </ul>
7月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年賃金構造基本統計調査の実施に係る協力依頼について</li> </ul>
7月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧規格に適合した経腸栄養分野の小口径コネクタ製品を製造販売する場合の取扱いについて</li> <li>・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その18）」の送付について</li> </ul>

送付日	文 書 名
7月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスワクチン接種に係る支援策（集団接種）について</li> <li>・令和4年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（医療分）の新型コロナウイルスワクチンの接種に係る事業の継続に伴う実施要綱等の一部改正について</li> <li>・武田社ワクチン（ノババックス）の配分等について（その4）</li> <li>・「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について（一部改正）」の一部改正（通知）</li> <li>・厚生労働省のセーフティネット保証5号（緊急保証制度）に係る緊急業況調査への協力 のお願い（依頼）</li> <li>・共済組合員証の無効通知について</li> <li>・日本准看護師連絡協議会のオンデマンド研修及び入会について（再周知のお願い）</li> <li>・医療用手袋の備蓄品の再売却に係る公募の実施について</li> <li>・新型コロナウイルス感染症に係る感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する 法律による医療の公費負担の申請手続について（周知）</li> <li>・令和4年7月14日からの大雨による災害により被災した要介護高齢者等への対応および 被災者に係る被保険者証の提示等について</li> <li>・サル痘に関する情報提供及び協力依頼について（一部改正）</li> <li>・令和4年7月14日からの大雨による災害の被災者に係る被保険者証等の提示等及び公費 負担医療の取扱いについて</li> </ul>
7月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年7月14日からの大雨による災害を受けたオンライン資格確認等システムにおけ る「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間 について</li> <li>・「ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種に関する相談支援・医療体制強化のための地 域ブロック拠点病院整備事業」接種医療機関向け研修会オンデマンド配信のご案内（通知）</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の抗原定性検査キットの供給について（通知）</li> <li>・新型コロナワクチン追加接種（4回目接種）に使用する武田/モデルナ社ワクチンの追加 配送等について</li> <li>・オミクロン株の感染流行を踏まえた透析患者の適切な医療提供体制の確保について（再 周知）</li> <li>・令和4年度介護事業実態調査（介護事業経営概況調査）へのご協力依頼について</li> <li>・令和4年度に発生した災害により被災した医療施設等に係る災害復旧費補助金の活用意 向の報告について</li> <li>・「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施について（指示）」の一部改正について</li> <li>・新型コロナウイルス感染急拡大に対するさらなる協力について</li> </ul>

# 医師の求人・求職は 日本医師会 女性医師バンク をご利用ください！

日本医師会女性医師バンクは厚生労働省の委託事業です。  
登録から紹介・成立まで、費用はすべて無料で利用できます。



## 女性医師バンクが選ばれる3つのポイント

ポイント

### 1 登録～成立まで費用はすべて無料

登録料、情報掲載料、紹介手数料、成立手数料、相談・サポートなど、  
すべて無料でご利用いただけます。

ポイント

### 2 専任のコーディネーターによるサポート体制

経験豊富な専任のコーディネーターが、紹介～成立後の相談まで  
きめ細かにサポートいたします。

ポイント

### 3 日本全国、日本医師会の会員・非会員を問わず利用が可能

まずはお気軽にご相談ください！

☎03-3942-6512 (平日10:00～17:00)

詳しくはWebサイトをご覧ください

日本医師会女性医師バンク 検索

日本医師会女性医師バンク 中央センター 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館B1F

## あとかき



ずにはいられませんでした。翌日の報道に関しても、世界のリーダーとして活躍された故人に対する、世界と日本のあまりにもかけ離れた認識の差があったことは、皆さんも感じましたでしょうか？ 表現・報道の自由があるにせよ、重い責任を感じて表現していただきたい。証明することは困難ですが、歪みすぎた情報により、今回の大事件が起きた可能性もあるのではないのでしょうか？ いずれにしても、憲法改正・非核三原則・集団安保体制・積極財政など、日本を存続させるための現実政策の“柱”を、日本人は失ってしまったことを受け止めなければならないと思います。怒りと無念、そしてお伝えつくせない感謝。この損失の大きさを、どれほどの国民が分かっているのだろうか。何十年後に初めて「安倍氏死去」の意味が分かるだろう。 (植田)

\* \* \* \* \*

7月8日、安倍元首相が暗殺されました。持病を抱えながらも海外の指導者と折衝を繰り返し、国際社会での日本の地位を立て直した功績は誰が何と言おうと非常に大きく評価されるべきでしょう。ご冥福をお祈り申し上げます。今回の事件での問題は、ふじみ野の医師射殺事件の鈴木純一先生や北新地ビル放火殺人事件の西澤弘太郎先生を考えるまでもなく、我々医師も不特定多数を相手にする以上ひとごとではなく、どんなに社会に貢献していても、国民としての義務を十全に果たしていたとしても、「無敵の人」に付け狙われると誰も逃れられない現実を我々につきつけております。そろそろ刑罰をリスクだと思わない人たちの対処を本気で考えていただきたいと思います。 (菊池)

\* \* \*

6月5日はアードバック・デーでした。アイラモルトウイスキーのアードバックを楽しむイベントで、日本ではコロナの影響で3年ぶりの開催だったようです。昨年末、同い年のいところが銀座でバーを開業し、祝いのお返しとしてその限定ボトルを送ってくれました。今年のテーマはPUNKだったとのことで、Pistolsを彷彿とさせるデザインのボトルラベルでした。コロナ禍の真っ最中での開業ゆえ、やはり苦戦はしているようですが、最近ではコロナに対する認識の変化もあり、直接の影響は減ってきているとのことでした。学会へのオンライン参加も多く、東京へ行く機会が減りまだ来店できていませんが、近々訪れてみたいと思っています。 (長井)

\* \* \*

本を朗読してくれるアプリを利用しています。通勤中にラジオのように聴くだけで読書気分になって便利です。いつもは手にしない分野を選ぶことがありますが、続きが気になったり自分でも調べてみたくなったりする時があり、読み聞かせを受ける子ども

7月8日、安倍晋三元首相のご逝去は、最愛の昭恵夫人の到着を待って発表されました。この場をお借りし、あらためて哀悼の意を表します。この前代未聞の出来事は、明らかなテロ事件であることを強くみなさまに伝え、強く非難いたします。救命のために尽力された病院での会見を拝聴しましたが、記者の方々の医師に対するあまりにも不適切な質問に、嫌悪感を抱か

たちも同じ気持ちなのかなとふと思いました。子どもたちの聞く力や語彙力を育てるといような読み聞かせで期待される効果も、興味を抱く本や環境を整えてこそだとあらためて感じます。 (横山)

\* \* \*

西医体が今年も中止になりました。今年こそは西医体が開催されるという希望をもって、私の所属する軟式テニス部のみならず各部活が正式に中止が発表されるまで練習に励んでいたため、今回の中止の報告が残念でなりません。特に今年の西医体で引退される予定だった6年生のことを考えると心が痛みます。大会という1つの目標があることが部活の醍醐味だとも思うので、1日も早くコロナが収束し、また以前のように大会が開催できる状況に戻ってほしいと思うばかりです。 (山本)

\* \* \*

大学2年のときに始めた筋トレに、再びハマっています。筋トレをすることの利点はさまざまありますが、ひとつは生活習慣が自然に改善していくことだと思います。筋肥大やパワー向上のいずれを目標としようとも、睡眠や食事の管理は避けては通れない重要な要素となります。筋トレを軸に、食事や睡眠といった車輪が勝手に同期して回ってくれるような感覚になるため、筋トレをしな場合と比べると生活習慣の管理に対する意思やモチベーションが保ちやすいと思います。 (平井)

\* \* \*

6月下旬に開催された学会ではWeb配信はなく、現地開催のみでしたので京都に行ってきました。実に2年8か月ぶりの学会出張です。Web配信とちがい何度も視聴することはできませんので、居眠りもせず真剣に拝聴しました。食事によく通っていた2軒の店がすでに閉店しており、コロナ禍の影響の大きさを実感しました。 (佐々木)

## 今月のトピックス

## 日州医談 『かかりつけ医』制度化の報道に思う

かかりつけ医の制度化について宮崎県医師会副会長の山村善教先生に疑問点などを論じていただきました。国は患者や地域医療を第一に考えたというより、医療の管理統制や包括医療による医療費の削減が目的のように思います。統計の取り方や報道のされ方にも問題はあるかと思いますが、コロナ禍で医師会や開業医に対する世間の目は厳しくなったようにも思います。 4 ページ

## はまゆう随筆

7月号に続き9編の随筆です。デイキャンプいいですね。うちも数年前にテントやコンロまで一式揃えたのですが、物置に眠ったまま一度も日の目を見ていません。トレッキングや散歩、ジム通い、素晴らしい趣味です。若者といのちの電話、悲しい時代です。AI時代、我々はどのように変化していくべきなのか考えさせられます。アンマンを売る、なるほど、座右の銘にしたいです。 6 ページ

## 身近なお困りごと相談室 第10回 職員の解雇について

## 第11回 ネット上の悪質な書き込みや誹謗中傷について

医療機関における身近な疑問について専門家にご回答いただく連載、今回は2編です。ネット社会は便利ですが、顔が見えないだけに攻撃性が増すようにも思います。自分のところのクチコミとか怖くて見られませんよね。本コーナーでは皆さまからの質問を募集しております。皆さんの日常の疑問など、お気軽にご相談ください。 18ページ

## 診療メモ 主治医意見書とロコモティブシンドロームとリハビリテーション診療

ロコモティブシンドロームとリハビリテーション診療について宮崎大学医学部附属病院の荒川英樹先生に教えていただきました。地域の高齢化により、内科医でも主治医意見書を書く機会が多くなってきています。大変参考になりました。 86ページ

日 州 医 事 第876号(令和4年8月号)(毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550

http://www.miyazaki.med.or.jp/ E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 稲倉 琢也

副 委 員 長 菊池 英維

委 員 植田 雄一, 高橋 典子, 石田 康行,

長井 慎成, 早川 学, 横山 晃子

学 生 委 員 平井 昂也, 安藤菜々子, 鍛冶川雄登, 山本 樹

担 当 副 会 長 山村 善教

担 当 理 事 荒木 早苗, 高木 純一, 佐々木 究

事 務 局 学術広報課 弓削 圭介, 牧野 諭

印刷所 有限会社 中川印刷 落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円(但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)